

★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください!

「澁江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受け付けております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

電話 06-6990-3664（直通）、FAX 06-6328-4564（直通）

電話 06-6328-2431（大学代表）

メール okusu@osaka-ue-denko.com



また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス → <https://www.osaka-ue-denko.com/>

大阪経済大学大樟会

検索

● 編集後記 ●

「澁江59号」をお届けいたします。発刊に当たりまして多くの皆様にご協力を賜りましたこと、深く感謝いたします。

さて、3回に亘り連載してまいりました「黒正巖先生の足跡を訪ねる旅」が完結しました。私たちの大恩人である先生は志を遂げることなく早世されましたが、多くの教を残してくださいました。先生と直に接した経験のある大先輩の皆さんは、その教を「黒正イズム」と呼んでおられました。今回の旅は、正にこの「黒正イズム」を探し求める旅でした。

私には、先生が命を削ってまで作り上げようとしていた真の「大阪経済大学」の姿が、霧の向こうにぼんやりと見えてきたような気がします。初代同窓会長でもある先生が思い描かれていた大学に、少しでも近づけるようにするためには、私たちは今何をなすべきかを真剣に考えねばと強く感じております。

編集部では、すでに「澁江60号」の作業に取りかかっております。皆様の更なるご協力を宜しく願います。  
(広報部部长 田中伸治)

表紙の言葉 今号の表紙は頑張る在学生と大樟会の学生支援がテーマです。

大樟会は今後も在学生への支援を続けてまいります。 漫画 風狸けん(47回)

「澁江」の由来 初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澁江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば【澁江】大阪の淀川。澁水（でんすい）、澁河（でんが）。『淀』は『澁（でん）』に通ずる」と記載されています。



でんこう  
澁江  
2024

■発行日 2024年2月28日  
■編集 大阪経済大学大樟会 広報部  
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8  
電話 06-6990-3664(直通)、06-6328-2431(大学代表)  
メール okusu@osaka-ue-denko.com URL <https://www.osaka-ue-denko.com/>  
■印刷 株式会社 広済堂ネクスト  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2F 電話06-7178-0530



経大人のための情報誌  
DENKO

2024年

59号

大阪経済大学大樟会

2023年度 大阪経済大学 ご卒業おめでとうございます





# ごあいさつ

—つなげて、共に創る未来へ—

大阪経済大学大樟会

会長 角脇 忠行 (34回)



大阪経済大学の関係者の皆さま、全国各地でご活躍の大樟会会員の皆さま、こんにちは大樟会会長の角脇忠行です。

平素は大樟会活動にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

まず初めに、「令和6年能登半島地震」により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。この自然災害が引き起こす苦難に立ち向かっていかれる皆さまに、心からの支援と励ましをお送りしたいと思えます。同窓生として、「つなげる力の精神」をもって、被災地の復興に向けて共に歩んでいく覚悟を新たにいたしましょう。

さて、18歳人口が減少していく中で、本学ではこの4月より新学部「国際共創学部」を創設しスタートします。未来を拓く人材を育成し、社会に貢献することを使命としており、魅力的な大学となるため教育改革・大学改革が必要と考えます。知識の深化だけではなく、倫理観や社会への使命感も含まれていると思えます。

大樟会会員の皆さま方もその理念を胸に、専門知識を駆使し、社会に対してポジティブな影響を与え続けておられることに感謝いたします。同窓生の皆さまは、全国でまた様々な分野でご活躍いただいております。その存在が本学の誇りとなっております。未来を拓くためには、各自が自身の経験や知識をもとに、さらに高みを目指すことが重要と考えます。

それでは次に、2024年度大樟会の重点施策を紹介します。

まず一つ目は、各支部会計の会計様式の統一及び会計年度を4月から翌年の3月とし、支部総会を年一回実施するということとあります。組織全体の効率向上や一貫性の確保に寄与する重要なことと考えています。大樟会の運営が円滑に進むだけでなく、情報の整理や管理も容易になると考えます。

重点施策の二つ目は、全国の各支部総会の開催通知53,000人分(住所登録者)を「支部活性化」のため、事務局から全員に発送するというプランです。これらのアクションプランを実行することで、大樟会の目標達成に向けてスムーズな進捗が期待できます。適切な計画とコミュニケーションが重要ですので、関係者との協力を得ながら進めていくことが何よりも大切なことと考えています。

同窓生同士のネットワーク(大樟会のつなげる力)が、新たな可能性を切り拓く力となります。皆さまがリーダーシップを発揮し、協力し合い、共に成長し続けることで、より良い社会、新たな社会の構築に寄与できるものと確信しております。2024年、新たな一歩を踏み出すこの瞬間に、「大阪経済大学」の同窓生としての誇りを胸に、さらなる飛躍を目指し、未来を共に築いていかれることを心より期待しております。

本年も「大樟会」に対しまして、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますとともに、大樟会の皆さま方のご健勝とますますのご繁栄を心からお祈り申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

令和6年1月

# ごあいさつ

学校法人大阪経済大学

理事長 山澤 俱和



2023年7月に理事長に推挙され、大役を仰せつかることとなりました、山澤俱和でございます。大樟会の皆様には、大学や学生に対して、多額の寄付や多くのご支援を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、少しだけ自己紹介をさせていただきます。

1971年に早稲田大学法学部を卒業し、当時の京阪神急行電鉄株式会社、今の阪急阪神ホールディングスに入社をして、車掌や運転士、助役を経て、運輸畑で育ってきました。1995年1月17日の阪神・淡路大震災の時には運輸部にいたため、復旧対策本部の輸送班長を務めました。その後取締役 統括本部長などを経て、株式会社阪急阪神ホテルズ 代表取締役社長、会長を経験し、2012年からは阪神高速道路株式会社 代表取締役社長に就任しました。大阪経済大学には同時期に外部理事として就任させていただき、約10年ちかく、外から見る大阪経済大学について意見などを述べさせていただいておりました。この度、理事長を拝命して、今度は中から見る大阪経済大学を感じながら、来るべく100周年に向けて、しっかりとした基盤づくりをしていきたいと考えております。今後も大樟会の皆様には、一緒になって大学を発展させるためのご助力を頂戴したいと考えておりますので、益々のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大学といたしましても、2019年4月より、新進気鋭の学長を迎え、新しい教学体制のもと、種々教学改革に取り組んで参りました。2022年には大学収容定員増加が文科省に認められ、さらには、グローバル人材の育成に資する学部を22年ぶりに新設し、2023年9月4日に文部科学省から申請を認められ、新しい5番目の学部、「国際共創学部」を開設することになりました。これらを含め、本学全体で、2027年度には7920名の定員を要する大学となり、経営基盤も規模を拡大して参ります。

しかしながら、今後の急激な少子化を前にして、100周年に向けて大学として必要なことは何か、どのような教育を提供していくべきなのか、どのような大学になりたいのか、さらにレベルアップしていくためにやるべきことは何か、などについて、「100周年ビジョン」を実現させるための具体策を、学長を中心に再討議してもらっています。その理想となる大学を実現していくために、法人としてたくさん課題はあると認識しております。その中の一つには経営の安定化、経営基盤の多様化であると考えています。今後、大樟会の皆様にも、いろいろな面でご相談などをお願いする場面もあろうかと思いますが、大学の維持・発展のために、一緒になって課題解決に取り組んでいただければと思っています。

大阪経済大学が、世の中の皆さまに信頼され、愛される大学になるべく、そして卒業生が「次の時代を創る」ことに大いに参画していけるように努力して参りたいと思っておりますので、今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、理事長就任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

## CONTENTS

2 ごあいさつ 角脇会長	10 在学生支援の取り組み	16 記念講演・山本学長	36 支部だより	56 お世話になった先生からのお元氣なお便り	69 大樟会支部長・各種部会会長一覧
3 ごあいさつ 山澤理事長	11 学生支援企画/奨学金制度	17 会則の一部改正について	44 支部活動紹介	58ズームアップ経大人	70 卒回理事一覧
4 特集 黒正巖先生の足跡を訪ねる旅	12 スケッチ&エッセイ 母校周辺・思い出散歩	18 活躍するクラブ活動紹介	46 OB・OGネットワーク	64 特別寄稿・逍遙歌の頃	71 支部会員数
8 大学NEWS・国際共創学部開設	13 経大を陰で支える人々	22 新・北から南から	50 ゼミ短信	65 煎茶道体験教室	
9 在学生の活動紹介	14 2023大樟会総会	34 書籍紹介「中島貞夫監督 映画人生60年を語る」	55 クラブ・企業スポンサー/叙勲・訃報	66 本部だより	



# 黒正巖先生の岡山編 下 足跡を訪ねる旅



黒正巖先生から私たちが頂いたご恩を後世に伝えるための旅もいよいよ最終回となりました。今回もご子息の黒正明さんとお孫さんの黒正洋史本学部長との三人旅となりました。

最初に訪れたのは岡山市内にある中国学園大学の千葉喬三学長です。先生は岡山大学の元学長で、京都大学農学部のご出身ですので黒正先生の後輩に当たられます。



中国学園大学・千葉喬三学長（中央）、左・黒正洋史氏、右・黒正明氏

「岡大に赴任し、黒正賞と関わった時に初めて黒正先生の偉大な業績に触れました。特に現在の津島キャンパス確保時の武勇伝は有名です」。(漫画1) 岡山大学の広報誌「いちょう並木」51号、60周年記念企画「第六高等学校不屈のエリートたち」によると「戦後、政府が新制大学構想を発表したため、岡山に総合大学をとの誘致活動がはじまったが設立決定の決めてとなったのが広大な土地が存在したことであった。当時六高の校長であった黒正は岡山市津島の旧陸軍17師団跡地を敷地とする構想を抱いていた。この地は進駐軍に接収されていたが昭和22年に大蔵省に返還される。



(漫画1) 250名の学生を率いて、岡山大学敷地予定地を警備する黒正先生 (漫画・風狸けん)

大学の敷地とする内諾を得ていたが、戦後の混乱期のこと放置すれば敷地・建物が荒廃することは目に見えていた。そこで黒正校長は六高生250名を率い敷地を「占拠」し「第六高等学校分校」の看板をかけた、岡山県立農専の応援も得て六高の学生、職員が徹夜で警備にあたった。これにより新制・岡山大学は敷地25万坪、建物5万坪という広大な津島キャンパスを確保できた。昭和24年10月に新制岡山大学の開学祝賀会が盛大に挙行された。しかしこの場に黒正巖の姿はなかった。黒正は大学認可を目前にして大阪経済大学学長に就任し、岡山を去っていた。そして昭和24年9月、新制岡山大学の誕生を見ることなく脳溢血で急逝したのである。黒正巖はキャンパス確保のほかにも、組織編制・人事などで多大な貢献を行った。これを称え、現在、本学

のシンボルである時計台の前に黒正像(写真2)が建立されている。また、卒業式において各学部・研究科の成績優秀者に「黒正賞」(注1)を授与しているが、これも氏の功績にちなむものである。最後に「六高マンの不屈の精神を脈々と受け継いでいることに、自信と誇りを持ち続けたい」と結ばれています。(抜粋)



(写真2) 黒正巖先生胸像(岡山大学中央図書館、時計台前)

翻って本学の現状を見たとき、私たちは岡山大学と同じように黒正先生や過去の先輩方の思いを「受け継いでおり、自信と誇りを持ち続けたい」と言えるのでしょうか。「黒正先生が岡山大学に残してくださったものが、もう一つあります。岡山大学の一期生には凄い人材がきら星の如くおられます。彼らは本来、東京大学に進学される秀才たちです。所が先生が岡山に留められました。そして岡山大学卒業後に、中央で日本の国を動かす人材とされました。彼らが先生の思いを汲み岡山に残られたのは師弟関係がとんでもなく濃かったからだと思います。教育とは何なのか、教育者のなすべきことは何なのかを教えていただきました。黒正先生がもう少し生きておられたら、大経大も岡大もちょっと変わっていたかもしれません」。



(写真3) 黒正先生の短歌が書かれた松寿司の湯呑み茶碗



松寿司の店頭で、女将さんとご子息と共に

次に、黒正先生が足しげく通われた名店「松寿司」さんで昼食をいただきました。このお店には今も先生の素晴らしいお人柄についての話が伝わっており、女将さんとそんな話題で盛り上がることも大生の特権です。もし岡山に行かれたらぜひ立ち寄ってください。そして、必ずあがりをお願いください。そのお茶碗に書かれている短歌(写真3)に注目です。「こんにやくに裏も表もなかりけり角はあれどもけがはさすまじ 巖」とあります。何と先生のお歌が今もここで息づいています。(もう二首ありますのでぜひ確かめに行ってください)当時のエピソードの一つ。先生は、岡山一(日本一との評価もあり)のこのお寿司をあまり召し上がりせず、ガリを肴に大好物のビールばかり飲んでおられたそうです。

食後、私たちは次の目的地である岡山県立岡山朝日高等学校を目指しました。この地にはかつて黒正先生が学ばれ、後に第九代校長を務められた第六高等学校がありました。建物の大半は空襲で焼け落ちましたが当時の柔道場(写真4)が現存しており、場内の壁には先生の名札(写真5)が今



(写真4) 柔道場(写真提供=朝日高等学校・後神泉先生)



(写真5) 今も柔道場に掲げられている黒正先生の名札





左から黒正洋史氏、黒正明氏、田中（六高記念館の前で）



六高記念館に展示されている黒正先生の写真



戦死された教え子のご家族へのお見舞い状

も掛かっています。また、六高卒業生によって建てられた「六高記念館」があり黒正先生のお写真や直筆の手紙などが展示されています。大変ありがたいことに管理人の菱川さんのご好意で「第六高等学校同窓会会報」のバックナンバーを頂戴しました。この中に、黒正先生のナンバーワン研究者である黒正部長でさえご存じでなかった事実が掲載されていました。第二号に昭和24年卒業の間野正己さんが投稿された「忘れられぬ言葉」という文章です。戦後、社会運動・学生運動が盛んになり六高でもストライキをやるようになった時、生徒を一堂に集めた黒正校長が生徒の本分を説き「こんにやくに……」の短歌を披露されたそうです。あのお茶碗の短歌の出处と、その背景が明らかになりました。間野さんは

「私はこの『こんにやく哲学』を信奉して『こんにやく人間』になってしまいました」と書かれています。

「『裏も表もない』と言うのは、『白さも白し富士の白雪』に似た心境です。角は『SQUARE』で、頑丈・几帳面・公正・正直を意味します。角は人を傷つけやすく己も壊れやすいので、人を痛めず己も傷つかぬ為には相当の実力が必要です。豆腐の角は人は痛めないが自分も容易に欠けてしまいます。ここが、こんにやくの凄いとこで、こんにやくになる為には人一倍の努力が必要です」とも書かれています。(抜粋) 黒正先生から直に教えを受けた方が語られた貴重な内容です。直弟子の皆さんが口にされる「黒正イズム」の正体が少しずつ浮かんできました。



(写真6) 黒正先生の養父・貝吉氏のお墓

三人旅の最終目的地は妙林寺さんの墓地です。ここには先生の養父である黒正貝吉氏のお墓(写真6)があります。貝吉氏は県下でも有数の資産家であった黒正清吉翁のご養子さんです。清吉翁は家督を継がず優秀な人物を探しておられました。そこで、とんでもない方法で跡継ぎ探しをされました。六高の正門前に椅子を置き、1ヶ月間登校してくる生徒の品定めをされたそうです。そのお眼鏡にかなったのが先生でした。かなり強引に乞われて黒正家に入られました。清吉翁は「受け継ぐ資産は世のため人のために使いなさい」と常々言われていたそうです。黒正先生が私財を投じて建てられた「日本経済史研究所」(瀬江57号P7参照)や浪華高等商業学校再建時の多額の出資も、すべて清吉翁の教えを形にしたものだと思います。

翌日、私は岡山大学の図書館を訪問しました。戦後、京都の日本経済史研究所や黒正先生のご自宅にあった図書の多くは本学に運ばれましたが、蔵書や資料の一部が岡山大学にも黒正文庫として所蔵されています。今回、岡山大学附属図書館の久磨様のご好意で部外者が立ち入れない書庫の映像を入手しました。(写真7) その目録は大樟会のホームページに掲載します。また、図書館では黒正先生に関する展示会も開催されています。2016年の「黒正先生と津島キャンパス」という展示会は「岡山大学の創設にご尽力された黒正巖先生をとりあげ、黒正先生の学問、創設当時の津島キャンパスの様子について紹介する内容」だったそうです。本学の図書館でもぜひこのような企画展をお願いいたします。

黒正巖先生の足跡を巡る旅を三回にわたりお届けしました。私の拙い文章ではとても表しきれない魅力的で素晴らしい人物でした。「飲水思源」という中国のことわざがあります。「井戸の水を飲む際には、井戸を掘った人の苦勞に感

謝せよ」という意味で使われます。本学の歴史をさかのぼると、最初に井戸を掘った人に行き着きます。私たちはその方の苦勞に感謝できているのでしょうか。一卒業生としての思いを述べます。本学は今、少し方向性を見失っているように感じます。その原因は、目標が定まっていないからではないでしょうか。黒正巖先生が作り上げようとしていた「大阪経済大学」は、いったいどんな大学だったのでしょうか。

(旅人=黒正明氏・黒正洋史氏、同行取材=広報部部长・田中伸治)

追記 この「瀬江」には、不思議な「つながる力。」があるようです。「こんにやく人間」間野正己さんをネットで検索しましたら、造船の専門家で後に近畿大学の教授を務められた方だと判明しました。黒正部長にお伝えしますと「その間野さんならお会いしたことがあるし、電話番号も分かる」で、つながりました。20分後「やはり私が過去にお会いした方で、何とバリケードを築いた250人の内のお一人でした」。御年96才でお元気だそうです。私たちは、バリケードは外部からの良からぬ連中の侵入を防ぐために作られたと聞いていましたが、そのバリケードの中はもっと危険な状態だったそうです。そんなレアなお話を聞けるかもしれません。現在取材交渉中、乞うご期待。



(写真7) 岡山大学図書館内の書庫(黒正文庫)

(注1) 本学では成績トップの総代がダブル受賞されますが、岡大では、学業及び人物の優れた学生が別に選ばれます。尚、昭和37年に「黒正記念財団」が設立されており、その基金が費用を負担されているそうです。



# 国際共創学部 2024年4月 開設

【国際共創学部 概要】

学部名：国際共創学部  
(Faculty of International Co-Creativity and Innovation)  
学科名：国際共創学科  
(Department of International Co-Creativity and Innovation)  
開設時期：2024年4月  
募集定員：120名  
学位：国際共創

◆国際共創学部を設置する意図は？

本学は創立以来、建学の精神「自由と融和」、教育理念「人間の実学」を掲げ、社会に貢献し活躍する多彩な職業人の育成に向けた教育に取り組んできた。さらに、2032年に創立100周年を迎える本学では、あらためて、建学の精神、教育理念に立ち返り、新たな大学のミッションを2018年12月に策定した。それが「生き続ける学びが創発する場となり、商都大阪から、社会に貢献する“人財”を輩出する」である。

ここで「創発」とは、自立性と多様性を持った個と個の相互作用のなかから新たな価値が生み出され、その結果がまた個に影響を与えることをいう。そのため、学生が「芯棒」をしっかりと持ち、そのうえで多様な価値観に交わりながら成長できる環境を構築することを使命に掲げた。

また、社会・経済の変化に迅速に対応し、多様性を尊重したうえで、国内外の地域が抱える課題解決に向けた取り組みを実行するためには、「グローバル人材」の養成が急務である。そのためには高等教育機関である大学のさらなる「国際化」と「教育改革」が必須といえる。

以上のことを踏まえ、本学は、国内外の地域が抱える解決困難な社会・経済課題に対応するために、多様な価値観や文化への関心を持ち、地域性を考慮したグローバルな視点とローカルな視点を合わせ持つ「多面的な見方・考え方」を備えた人材の養成を目指し、国際共創学部を設置した。



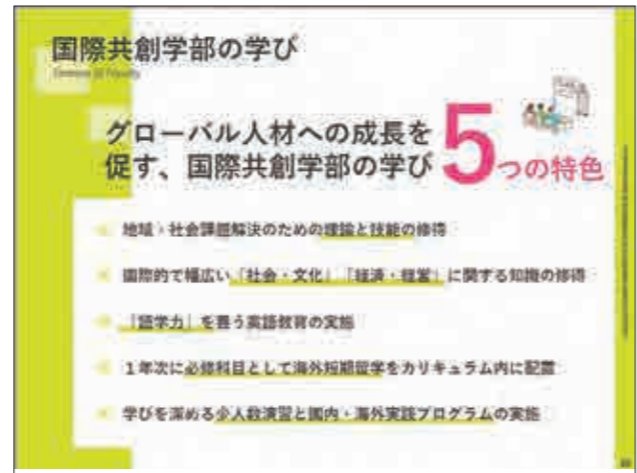
◆国際共創学部はどのような人材を育成するのか？

学びの特徴は？

本学部では、養成する人材像を「国内外の地域が抱える社会・経済課題に対応するために、多様な価値観や文化への関心を持ち、地域性を考慮したグローバルな視点とローカルな視点を合わせ持つ多面的な見方・考え方によって、新たな解決に貢献できるグローバル人材」と定めた。

学生に修得させる能力は、「[社会・文化][経済・経営]分野の知識と、新しい情報や知見を収集・調査・分析する技術を基盤として、グローバルな視点とローカルな視点を合わせ持つ、本質的な課題を発見し(洞察力)、多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組みながら(共感力)、解決に向けて立案し(構想力)、主体的に行動できる(実践力)」である。

特に、専門科目には、「グローバル文化領域」「国際社会領域」「政策デザイン領域」「社会創造領域」の4つの領域からなる領域科目が設定されており、グローバル化した地域・社会の現状および課題と、それらの解決策を探るために必要となる知識や技能を学生は修得することができる。自身の興味や将来の進路等を踏まえて、4つの領域から履修科目を選択することにより、複雑化するグローバル社会において、新たな未来を創り出すために必要な知識や技能を修得させる。



◆国際共創学部卒業後の進路先はどのようなところか？

卒業後の進路としては、以下のような人材が活躍できる場所を目指している。

- ①様々な地域の特性や文化に関する知識とグローバルな視点を持ち国際社会で活躍する人材<ex.企業のグローバル部門/企画部門/営業部門・貿易業・総合商社・旅行代理業 など>
- ②国際社会の仕組みに関する知識と課題解決に向けた方策を学び国際社会に貢献する人材<ex.外資系企業・国家公務員 など>
- ③人々が暮らす社会や地域をデザインするための知識と実現に向けた考え方を持ち地域社会に貢献する人材<ex.NPO/NGO・地方公務員 など>
- ④未来社会に向けた事業を創造するための知識と戦略的な手法を学び社会に貢献する人材<ex.総合商社・外資系企業・総合広告代理店 など>

また「中学校教諭一種免許状(英語)」『高等学校教諭一種免許状(英語)』も取得できる。

在学生の活動紹介

## 学生たちがメタバース市場を創出!

### 福学地域連携による先進的な取り組み



<出席者> 左から  
中村 友哉さん(情報社会学部4年生)  
津村 忠さん(情報社会学部1年生)  
浅田 拓史情報社会学部教授  
司会: 広報部・田島 裕司(46回)

司会 メタバース空間で、福祉事業所の商品を販売する「メタ・マルシェ 2023」に取り組んでおられます。スタートしたきっかけ、概要をお聞かせください。

浅田 例年、学生たちが大樟祭(学園祭)で模擬店を運営し、PDCA サイクル(計画・実行・評価・改善の循環)を実践的に学ぶ創業体験に取り組んでいましたが、2021年はコロナ禍で実現できなくなりました。近隣の福祉事業所も、障がい者が作る商品の販売機会を失っており、それをキャンパス等で販売する「福学地域連携プロジェクト\*」が始まりました。2021~2022年は、学生が福祉事業所からパン・菓子や手芸品などを仕入れ学内外で販売する「くすのきエール・マルシェ」を実現しました。その後、販路開拓に向け「常設店舗を運営できないか」と考え、ネット上の仮想空間「メタバース」に注目。2023年は「メタ・マルシェ 2023」として開催します。(取材後、10月6日~11月30日まで実施。2024年3月現在は終了しています)

司会 学生の方々が、このプロジェクトに加わろうとしたきっかけは？

津村 入学後まもなく、浅田先生の講義でプロジェクトのお話を聞き、メタバースに興味があったので参加しました。「やりたい!」という気持ちだけで飛び込んだのですが、まだ1年生で予算・スケジュールなど組んだ経験がなく「難しく厳しい」と感じることも。一方、自分の考えや発言が評価され、皆さんの協力を得て実現する喜びも味わいました。参加学生は9人です。IT上の作業としては、メタバース空間に店舗(ブース)を作り、広告・看板を立てたり、スクリーンを設置して動画を流したりしています。

中村 私は、米川雅士先生のゼミで、ネットやプログラミングについて学んでいたのですが、4年生になってプロジェクトの話聞き参加しました。予算を獲得するところから学生が関与し、浅田先生の支援で学長・学部長にも話を聞いて

独自性の高い学びを通し、大樟会を含めた学内外の人々となつながら、先進的な活動に取り組む——。母校キャンパスには、そんな学生たちの姿があります。情報社会学部の浅田ゼミと米川ゼミの学生たちが自ら展開する注目のプロジェクトをご紹介します。

(2023年9月21日取材。以下、敬称略)

ていただき、大学から予算を獲得。さらに大樟会にも協力していただき、本当に感謝しています。

司会 活動スケジュールについて。また、在学生・卒業生に伝えたいことは？

中村 2023年6月、メタバース運営会社「Vma plus(ブイマプラス)」が提供する仮想空間「Vマ+」上のイベント「メタ祭り夏の陣」に3ブース出店しました。そして、10月6日から11月30日までの約2カ月にわたり「Vマ+」上で全国14福祉事業所のブースを一般公開し、ビール、牛タン、チーズをはじめブランド商品等を販売。大樟祭当日は、動画中継でキャンパス内(現実空間)の「マルシェ」イベントとメタバース(仮想空間)をリンクします。私は2024年春に卒業しますが、在学生には、この大学でしか学べない貴重な実践として、このプロジェクトへの参加により主体的に行動する契機に思ってもらえれば、と思います。

津村 浅田先生をはじめ、学内外の方々から多くを学び、予算や人の集め方、メタバース空間での出店方法などについて、具体的に考えることができました。メタバースには夢があると思うので、卒業生の皆さん、今後ぜひ応援をお願いします!

司会 浅田先生、今後のビジョンについてお願いします。

浅田 経済と福祉は、一見かけ離れているように見えますが、ビジネスは社会的課題の解決の手段となり、実は明確につながっています。福祉事業所の障がい者が得る収入はまだまだ自立できるレベルに達していません。しかるべき対価を得て、やりがいや満足感を得ていただくためにはどうすればいいのかという問題意識につながります。学生たちは商品の販売を通じて、自ら課題を発見・解決する場を創出しています。メタバースを用いた取り組みは先進的な発想だと思います。大樟会の皆さん、今後ともぜひご支援をお願いします。

司会 学生の行動力に感心しました。どうもありがとうございました。

\*「福学地域連携プロジェクト」とは  
福祉事業所と大学が対等な立場で連携し、課題を解決して新たな価値を創出するプロジェクト。商品力の向上、販路開拓を課題に掲げ、クッキーの商品開発、クラウドファンディングを用いた包装デザインの刷新など多様な取り組みを展開している。



## 大樟会・在学生支援の取り組み

# 卒業式・入学式を華やかに彩り、 後輩学生にエールを送る

2023(令和5)年3月18日、午前・午後の2部制で、卒業式・学位授与式が開催されました。大樟会では、式典を盛り上げるエアアーチや撮影ブースの設置、無料コーヒーサービスなどを実施し、学生たちの新たな門出を祝いました。また、4月1日に入学式が行われ、新入生が緊張した面持ちで大学の門をくぐりました。

色鮮やかな着物と袴、スーツなどに身を包んだ学生・院生が、続々と会場のA館(フレアホール)へ。雨曇りとはいえコロナ禍での規制も緩和され、ホールは華やかな祝賀ムードに包まれました。会場に入場したのは学生のみで、保護者らは、同館3階の控室または自宅から、式の様子をリモート中継で視聴しました。午前には経済学部・人間科学部と、大学院経済学研究科・人間科学研究科、午後には経営学部・情報社会学部と、大学院経営学研究科・経営情報学研究科の式典が行われ、合計1,552名(学部1,489名、大学院63名)が母校を巣立ちました。

式典は、吹奏楽総部によるファンファーレで開幕。山本学長、藤本理事長の式辞に続き、角脇大樟会会長が祝辞を述べ、10万人を超えた大樟会の組織などについて説明し「卒業後は大樟会の『つながる力。』を思い出して」と締めくくりました。



写真撮影ブースをD館1階に設置し、卒業生らに無料でプリント贈呈

次に、ジャパネットたかた創業者・高田明氏(37回)からのビデオメッセージが披露され、全員で学歌を斉唱して閉式となりました。

大樟会では、お祝いの気持ちを込めてキャンパス入口に「エアアーチ」を設置したほか、自由に撮影できる「顔出しパネル」や、その場で記念写真を撮影・プリントして贈呈する撮影ブースをD館に設置。また、学生や保護者などに無料でコーヒーを提供しました。

\* \* \*

桜が舞い始めた4月1日、入学式が行われ、新入生2,037名(学部1,973名、大学院64名)が大樟会の仲間に加わりました。大樟会としては、卒業式と同様、入学を祝うエアアーチを設置し、無料コーヒーサービス提供などを通じて、参加者をもてなしました。

また、歓迎と学生支援の思いをこめて、入学生とその保護者の方々にも「澱江」を配布し、大樟会の存在を在学生にもより認知してもらえるよう活動しました。



入学式にも正門前にエアアーチを設置



新入生・保護者らに無料でコーヒーサービス

厳粛な雰囲気の中にも華やかに開催された卒業式

# 2023年も、 継続して食事支援！

## 学生支援企画

大樟会では、コロナ禍で苦勞する学生を支援するため、2020年度から無料の弁当を配布し、50円で大樟うどんを提供しました。2021年度も同様に50円で大樟和風ラーメンやからあげうどんを提供。続いて、2022年度もベーグルが入ったランチボックスや日替わりランチをいずれも100円で提供しました。

コロナ禍が落ち着きを見せてきた2023年度も同様に、4月10日～4月28日、5月8日～7月28日、10月16日～12月22日の各期間に、生協手作りの弁当5種を100円で本学D館1階で販売しました。



## 大樟会の奨学金制度について



同窓会設立80周年記念事業の一つとして、2016年度の大樟会理事会で承認された大学の奨学金制度の支援が、2017年度から実施に移されました。大学の奨学金制度のうち、「遠隔地学生奨学金制度」について、大学卒とは別に同窓会枠を設け、援助しています。(2024年1月現在)

### ○大樟会遠隔地学生奨学金

遠隔地(近畿圏以外、または近畿圏で通学に2時間以上を要する地域)からの入学者を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
遠隔地からの入学者	新入生 20名	一部生 20万円 二部生 10万円	6月	家計基準 成績基準 (修得単位数)

★大樟会の奨学金制度を末永く続けるため、同窓生からのご寄付をお願いします。  
(同封の振込票をご覧ください)



シリーズ  
スケッチ & エッセイ  
母校周辺  
思い出散歩  
②

# 江口君堂を描く 西行法師の足跡を追って



**人** よりも遅れて大学へ入学したため、卒業し就職したのは25歳になる年の春のことだった。学生結婚をしていたこともあって、二人の生活のことを考えると就職しなければならないことはわかっていたが、出来ればこのまま気楽な学生でいたいという不埒千万な考えを抱き続けたまま社会へ出た。どうかこうにか勤め人暮らしをしながらも、早く自由の身になって好き勝手にあちこちへのさすらい旅をしたいとの願いを捨て切れずにいた。

密かに憧れたのは、若くして北面の武士の身分を放り出し、歌を詠みながら諸国を気ままに放浪した西行法師の生き方である。還暦の頃から西行に関する本を読んだり、あちこちに散在する西行ゆかりの地を訪ねたりしていた。みちのくへも足を延ばしたし吉野山や高野山そして西行終焉の地・河内の弘川寺までスケッチに行った。

やっと3年前に天下晴れての自由人になれた時にはもう古稀になっていたもので、足腰が丈夫なうちに「西行をたどる旅」と思いつつも、コロナウイルス感染拡大の情勢下、つつい怖い気になっていた。

そんな折にたまたまお近づきになった大樟会広報部の田中伸治部長に「西行ゆかりのお寺が母校の近くにあるのはご存知ですよね」と聞かれて愕然とした。西行が天王寺詣の途上で雨宿りを断られ、その時に西行と遊女・妙とが交した問答歌が『新古今和歌集』に収められていることは何かの本で読んだ覚えはある。そんな西行ゆかりの古刹・寂光寺が母校の北にあり、その名を「江口君堂」という……あつ、そうか！僕らが学生時代に一般教養課程で体育実技に通っていたのが「江口橋グラウンド」という名であったことを、その段になってやっと思い出したのだから、何とも迂闊極まりないことだ。

早速、阪急上新庄駅前から井高野車庫行のバスに乗り、江口君堂前で下車、東へ300メートルほど歩いて寂光寺を訪ねた。境内には西行法師と遊女・妙の問答歌碑が建ち、案内板には二人の物語が詳しく書かれており、これが謡曲「江口」の元ネタになっていることも知った。いずれにしても「西行フリーク」を自認しながら、有名史跡がこんな身近にあるとも知らずにいた自分自身の不明が恥ずかしい。昔から「灯台下暗し」という言葉があるくらいだから、まあ「経大下暗し」とでも言うべきかなと、スケッチしながら自嘲するのであった。

帰路はバスに乗らずに、なつかしい母校の立派になった学舎を眺めつつ大隅通を上新庄駅へ向かった。学友たちと青春の日々を闊歩し、半世紀を経た今、西行の足跡をたどって同じ道を歩いている自分自身の歳月をしみじみと感じていた。

スケッチエッセイスト 大森俊次(40回)

## 経大を陰で支える人々 2

### 何より大事なものは 「学生さんの安全」

関電ファシリティーズ株式会社  
大阪経済大学担当 係長  
山田 英明 氏



コロナ禍対応の緩和に伴い、賑わいと活気の戻った母校・大阪経済大学。そんなキャンパスライフの裏方として、学生・大学を支える存在があります。シリーズ第2回は、施設・設備管理担当の山田さんにお話をうかがいました。



#### 催事の準備から、設備故障の応急措置まで

キャンパスが熱く盛り上がる学園祭(大樟祭)の前夜。学生たちと共に、模擬店の仮設電源を準備する施設・設備管理スタッフの姿があります。「ちょっと、これ運んでくれますか、と学生に声をかけると、みんな気持ちよく動いてくれます。作業中、安全・適切に配線が行われることを最優先にしています」と山田さん。

施設・設備管理のスタッフは、大隅キャンパス配属の12人と、茨木キャンパス配属の3人。シフト制で、大隅キャンパスには常時8人が駐在しています。業務内容は大きく2種に分けられ、①「施設管理業務(用務員業務)」は、冒頭のようなイベントでの看板・横断幕などの設置、会議室等の机とイスのレイアウト変更、芝生や植栽の手入れなど。そして、②「設備管理業務」は、空調など多様な機器の点検、故障時の応急処置と専門業者の手配、電力使用量の管理・調整などです。

午前8時から午後9時半までの範囲でシフトが組まれ、夜間の緊急対応にも備えます。夜、遅くまで使っていた大教室を翌朝ま



でレイアウト変更しなければいけないケースもあり、「そんなときは、教職員の方々が手伝ってくださって、とても感謝しています」。ちなみに、イベント準備や会議室のレイアウト作業は、大学だけでなく大樟会も山田さんたちのお世話になっています。

山田さんの所属する関電ファシリティーズでは、社員に向けて毎年、技術や安全に関するプログラム研修が実施されます。そうした知識を活かし、たとえば漏水があればシートで水を溜めて汲み出すなど応急処置を施して、配管業者を手配します。山田さんたちの緊急対応が、日々、キャンパスを守っているのです。

#### 強みは電気関連設備の運用、設備更新の提案も

大学の講義が始まる45分前には、セミナー室の空調設備がオンになり、快適な教育環境が保たれています。山田さんは、学内の電気使用量が契約電量を超えないよう、中央監視盤で操作し省エネに貢献。猛暑の夏は、調整が大変です。出勤後まず、各室の使用スケジュールを調べて、電気使用量の大きい部屋がいつ稼働するかを確認。電力使用のピーク時間帯を避けて、効率よく室内を冷やすなど調整します。

山田さんの会社は関西電力グループに属し、電気設備の経済的な運転方法を選んでコスト低減を図るなど、とりわけ電気関連の提案に強みがあるとのこと。経大の業務を初めて受注したのは11年前で、山田さんは当初から担当しています。B館の空調改修工事にあたっては、大学の管財担当者や相談のうえ、「国への補助金申請から空調更新までを一括して任せてもらい、やりがいを感じた」そうです。

入社後、大手電機メーカーの研究施設や私立の女子小・中学校で施設・設備業務を経験しました。経大の学生の印象を尋ねると、「総じて真面目ですね」。ここ数年、コロナ禍の影響で対面授業やイベントが中止され、山田さんたちも自宅待機した時期がありました。今、活気の戻ったキャンパスを歩きながら、床のプロックなどが破損していないか、危険がないかと自然にあちこちを見回し、破損が見つかるカラーコーンを置いて大学へ報告します。「学生さんたちの安全が一番大事」とのお話でした。

(聞き手=広報部副部長・天野康弘)





# 2023 大樟会 総会

## 2023 大樟会総会を開催！

2023年11月3日(金・祝)、母校D館10教室で大樟会総会を開き、コロナ禍による制限が緩和されるなか、全国各地から307名が参加しました。総会終了後、学生会館2階ホールで懇親会が行われ、会員らが旧交を温めました。



受付風景



会場風景



学歌斉唱・グリークラブ



迫力の備中神楽実演



司会・角庵事務局長



開会のことば・足立副会長

### 総会の後半では、備中神楽や学長講演会も

11時30分、角庵勝巳(43回)事務局長の司会で総会が始まり、足立徳太郎副会長(36回)が開会宣言を行いました。物故者黙祷、グリークラブと参加者による学歌斉唱の後、角脇忠行会長(34回)が式辞(別掲)を述べました。次に、2023年7月に就任した山澤俱和理事長が祝辞を述べ、阪急電鉄取締役、阪急阪神ホテルズ社長などを歴任した経歴について自己紹介したうえで、大学運営の面では、2023年4月の定員増、9月に国際共創学部が設置認可されたことを紹介。そして、「先人の努力で大学経営の安定的な基盤ができています。少子化の流れのなか、100周年ビジョン達成のため具体的に何をすべきか検討し、来年にはご提示したい」と結びました。続いて、山本俊一郎学長が祝辞を贈り、母校・在学生への感謝を表し、さらなる支援を呼びかけました。

大学幹部紹介に次いで、永年にわたり母校・大樟会の発展に尽力し、退任された支部長(別掲)が表彰され、五十棲保彦愛知支部長(32回)、中嶋肇奈良支部長(32回)、青木正道大阪市淀川支部長(36回)、鈴木澄夫香川支部長(36回)(代理・高木新仁・35回)

に感謝状が贈呈されました。

また、クラブ表彰・壮行会を実施。全日本学生弓道選手権大会で優勝して表彰された女子弓道部の主将・水野さららさん(人間科学部4回生)は2023年11月末の日本学生弓道王座決定戦への抱負を述べ、準硬式野球部主将・高山直之さん(経済学部4回生)は「球場へのご来場やYouTube配信でも応援いただき感謝いたします。今後も後輩に声援を」と話しました。陸上競技部の全日本大学駅伝(伊勢駅伝)壮行会では、西本一弘ゼネラルマネージャーが「目標は地方勢でトップをとり、最後までタスキをつなげたい」と意気込みを述べました。さらに、阪神タイガースからドラフト指名を受けた硬式野球部・津田淳哉投手(経済学部4回生)が登場し、「1年目から一軍で活躍できるよう頑張りたい」と応援を仰ぎました。

続いて、三宅貴也さん(42回、岡山県上房社代表)らによる備中神楽が披露され、大蛇退治のクライマックスシーンが会場を盛り上げました。最後に、山本学長による記念講演(別掲)が行われました。



式辞・角脇会長



祝辞・山澤理事長



祝辞・山本学長

式辞(要旨)

### 大樟会は改革を続けていきます

大樟会会長 角脇 忠行

大樟会は、2025年に90周年を迎えます。コロナ禍を契機に変化したライフスタイルを踏まえ、大樟会活動は今後もより一層の改革を続けていきます。

改革の一つ目は、来年度から全国の支部の決算が3月に統一され、決算報告書の様式を統一し、より明瞭な会計を目指します。この提案に関しては、本年9月の全国支部長会議にて全会一致で承認を得ています。さらに、全国各支部の活性化のため、支部総会を年1回実施することとし、会則を改定しました。

次に、改革の二つ目について。従来、支部総会の案内は各支部から会員に送付していましたが、来年度からは本部がその業務を実行します。連絡可能な全支部会員を対象に支部総会の案内を送らせていただきます。本年度はモデル支部を設置し、奈良支部、北河内支部、山口支部などを対象に実施しました。その結果、「返信ハガキが増え、近況も多くもらった」「支部総会に女性や若い方の参加が増え、今後に希望を持つことができた」などの報告をいただいています。来年度以降、全国の支部で実施していきます。

大樟会は「つながる力」をキーワードに、今後も大学・大学生と大樟会の絆をつなぐ活動を続けてまいります。

### <表彰者> ※敬称略

- 愛知支部  
五十棲保彦(32回)
- 奈良支部  
中嶋 肇(32回)
- 池田支部  
松田今朝男(34回)
- 川西・川辺支部  
竹本 勇(35回)
- 宮崎支部  
堀内 健一(35回)
- 香川支部  
鈴木 澄夫(36回)
- 大阪市淀川支部  
青木 正道(36回)
- 阪神支部  
秋山 治信(37回)
- 大学院大樟会  
前田 増蔵(43回)
- 広島支部  
陰山 秀明(44回)
- 池田泉州大樟会  
能多 英明(57回)



五十棲保彦愛知支部長



中嶋肇奈良支部長



青木正道大阪市淀川支部長



鈴木澄夫香川支部長  
(代理・高木新仁・35回)



女子弓道部・  
水野さららさん



準硬式野球部・  
高山直之さん



陸上競技部・西本ゼネラルマネージャー



津田淳哉投手

### 懇親会は、和やかな雰囲気

14時30分、渡辺美幸常務理事(71回)の司会で懇親会がスタートし、檜垣典仁常務理事(38回)が開会のことばを述べました。続いて、角脇会長・山澤理事長・山本学長により恒例の鏡開きを実施、草薨信照副学長が乾杯の音頭を取り、会場は華やかな雰囲気に包まれました。宴もたけなわとなり、ジョン・道阪さん(76回)によるマジックショーが場を盛り上げ、待望の抽選会へ。1等(商品券2万円)、2等(同1万5千円)、3等(同1万円)各1名が当選。ほか、4等(商品券5千円)に17名の方が当選されました。

最後に、応援団OBの糸数勝彦さん(34回)がエールを切り、学歌・道楽歌を斉唱。山本隆造常務理事(37回)の音頭で万歳三唱を行い、足立副会長が閉会を告げました。互いに来年の再会を誓い、会場を後にしました。



開会のことば・  
檜垣常務理事



司会・  
渡辺常務理事



鏡開き・左から、角脇会長、  
山澤理事長、山本学長



乾杯・草薨副学長



マジックを披露する  
ジョン・道阪さん



エールを切る糸数さん

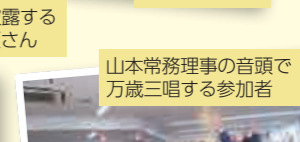


盛り上がる懇親会

抽選で会場全体が沸き上がる



1等当選者



山本常務理事の音頭で  
万歳三唱する参加者



閉会のことば・  
足立副会長



## テーマ 創発 100周年に向けて

—商都大阪から、社会に貢献する“人財”を輩出するために—

講師 大阪経済大学学長 山本 俊一郎氏



総会の終盤、山本俊一郎学長による記念講演が行われました。大阪・関西経済の変遷と予測、大経大100周年にどうあるべきかについて、講演いただきました。

(以下、講演要旨は2023年11月3日現在)

### コロナ禍における本学の主な取り組み

2032年の創立100周年に向けたミッションは「生き続ける学びが創発する場となり、商都大阪から、社会に貢献する“人財”を輩出する」。創発とは、多様な価値観が交じり合うなかで、新たな価値が生まれることで、本学はそうした場の形成を目指しています。

本学の現状ですが、コロナ禍については、大樟会様をはじめ多くの方々からご支援をいただきながら対応を図り、昨2022年に創立90周年記念式典を実施、本年4月にはコロナ前に近い入学式を行うなど、ようやく日常に戻りつつあると実感しました。

コロナ禍の期間、本学では「三本の矢」ともいえる、以下の取り組みを進めてきました。①既存4学部における入学定員の増員(2023年4月実施)、②国際共創学部の新設(2024年4月開設)、③大学認証評価受審に向けた教学マネジメント体制の構築。この3つを達成し、現在の収容定員6,620名が2027年度には7,920名まで増員する計画です。

### 地盤沈下が続く大阪を再び「商都」に

大阪経済は長く「地盤沈下を続けている」と言われますが、近畿経済産業局の資料によると、近畿の域内総生産は1990年代から伸び悩み2011年以降は横ばい、全国シェアで見ると1970年代から下がり続け近年はやはり横ばいです。理由は人口減少の激しさで、三大都市圏の中でも転出が目立ちます。

期待がかけられているのは、2010年頃から急増したインバウンド。コロナ禍で大打撃を受けましたが、今後の回復を目指して関西経済界は動いています。JR大阪駅周辺の「うめきた」では第2期開発計画が発表されました。「グラングリーン」をキーワードとして、中央部に都



市公園、両サイドに商業施設等を造る予定です。これに関連して、大阪駅(うめきたエリア)に地下ホームがすでに開設されました。

本学100周年と時期的に重なり、重要視されるのが新鉄道路線「なにわ筋線」です。大阪駅(うめきたエリア)と中之島、JR難波駅、南海本線新今宮駅をつなぎ、2031年に開業する予定です。中之島は、大阪中之島美術館をはじめとするアート拠点・文化施設の集中する再整備エリアです。また、難波や新今宮の開発・再整備も注目されています。

そして、これらを牽引するのが大阪・関西万博です。近年、批判的な報道も増えていますが、すでに開催が決定しており、学生にとってボランティアなど多様な経験を積む機会となりますので、本学も共創することが必要だと考えています。

### 社会的課題解決に向けた本学の挑戦

先行き不透明な時代、人々は不安から単純な答えを求めるようになり、AかBかという対立思考に陥りがちです。「競争」ではなく、「共生」だけでもなく、新しい価値を生み出す「共創」が求められます。そのため、主体的に学び、多面的に社会をとらえることができる学生を育成していきます。すなわち「<教育ビジョン>自ら学びをデザインできる学生を生み出す」ことが必要です。具体的な方法として、淡路島や南紀白浜など現場で体験的に学び、教室で得た知識と合わせて最適解を模索します。また、ハード面では図書館の環境を整備するなど、学生・教職員が交わる創発の場づくりも進めています。

次に「<社会実践ビジョン>商都大阪の原動力となる」について。これは、中小企業や経済団体、自治体といった学外機関をつなぐハブ機能と、地域課題の解決を担うプラットフォーム機能を強化すること。例えば、中小企業診断士養成課程の修了生で診断士に登録された方は95名になりますが、本学のゼミなどでコンサルティングを実践してもらって循環的関係をつくり上げています。

社会実践ビジョンの具体的な取り組みとして、まず、多面的な見方、考え方、国際的な視点をもつ「グローバル人材の育成」を行うため、その筆頭となる国際共創学部を新設しました。また、社会課題を解決し、利益も上げるスタートアップ企業を支援し、新たな価値を生み出していきます。大阪経済と共に本学も発展したいと考えていますので、引き続きのご支援をお願いします。

## 大阪経済大学大樟会会則及び会則(内規)の一部改正について

### 【会則及び会則(内規)改正の概要】

#### 1. 改正の経緯

会則は昭和63年6月25日より施行され、内規は本会の運営を公正、円滑ならしめるため定めてきた。会員数は現在10万人を超える大きな組織となり、会則及び内規も時代の経過に伴い、現実との乖離が見受けられ、特に支部活動の活性化が求められている。これらを踏まえ、令和3年度に会則・内規改定委員会が設置され、翌年に第7条(会員の資格喪失)等の改正を先行して行い、さらに本会が積極的に事業推進を図れるよう、昨年の理事会総会において会則及び会則(内規)の一部改正の承認を得、改正を行いました。

#### 2. 会則改正の主な内容

項目	内容	備考
第6条 会費	中途退学者が納付した会費の返還を、原則、返還しない	見直し
第12条 会長の任期	3年、連続2期まで	新規
第21条の2 議事録	明文化	新規
第22条 支部の設置	運営・改廃を追加	見直し

#### 3. 支部運営に関する会則(内規)改正の内容

項目	内容
会則第22条 第3項 支部運営費	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部総会は原則、年1回開催する</li> <li>運営費上限10万円、対象科目を明記</li> <li>総会案内状の印刷、郵便料は本部負担</li> <li>開催援助金一人1,000円→3,000円 増額</li> <li>収支計算書、収支予算書等の提出を明記</li> </ul>

4. 施行期日 令和5年5月27日から施行する。会則第22条第3項(支部運営)の内規は令和6年4月1日。

### 支部運営に関する改定案について

#### (会則第22条第3項及び内規)

(現状)

- 支部運営の支援策として内規により通信費(支給額は支部会員数に130円を乗じた額)及び支部総会開催援助金を支給していたが、支部総会の開催状況等により、多額の繰越金のあるところ、また支部役員会の開催費用等の確保に苦慮し、支援金の増額を希望するところがあった。

・支部運営費(通信費の支払額)

2023年度 6,689千円 会員数(実数)51,459人

- 支部総会の開催案内について、全会員に発送できていない支部があり、通信費の残額は支部活動費に流用される状況となっていた。

(改定後)

- 年1回の支部総会開催に伴う案内状の印刷及び郵便料の全額を本部負担とし、本部から支部総会開催案内の発送を可能とした。
- 支部運営費は年間活動費として上限10万円とし、対象となる活動費科目は、役員会開催の会議費、交通費、通信費、支部主催の各行事に係る費用とし、やむを得ず上限10万円を超える場合は事務局が審査の上、超える額を支払うことができるとした。
- 支部運営費を受けようとする場合は、支部活動報告書、会計報告書等を提出する。(後払い)
- 支部総会(地域支部)開催に伴う援助金は出席者一人1,000円から3,000円に引上げ、参加者の費用負担を軽減した。

### 【現在の取組について】

- 今年度、支部運営委員会が設置され、事務的な課題を抽出し、対応を検討している。  
(検討事項)  
  - 本部事務局から支部全会員への支部総会開催案内について、モデル支部を募り、支部、本部事務局、郵便局、印刷業者の事務の流れ。
  - 支部運営費の年間活動費上限10万円について対象となる活動費科目。
  - 支部活動報告書、会計報告書等の様式。
  - 支部総会参加者の増に向けての具体的な提案。
- 令和6年度からの本部の開催案内発送に向けて、支部にとって「わかりやすい手引書」を作成する。

### 【今後について】

会則改定は、卒業生が在学中に終身会費を納付しており、終身会員であることを再認識することができました。本部事務局から支部総会開催案内の全支部会員への発送が、支部活動の活性化に繋がり、あわせて支部役員会の負担を軽減しながら、本部事務局と支部の連携がさらに密になることを期待しています。

(総務部 岡筋政之)



## 2023 年阪神タイガースドラフト指名 津田淳哉さん 硬式野球部 高代監督がこの一年を振り返って



高代延博監督（硬式野球部監督）右  
津田淳哉さん（経済学部4年）中  
司会 山下一佳学生部長

### 一高代監督就任1年目の感想は

(高代)正直、大変なことを引き受けたと思いました。何十年もプロ野球のレベルで見てきたので、学生野球の視線のレベルに合わせて見なければならぬと心配しましたが、この一年間で硬式野球部はかなり変わりました。今年度のリーグ戦は春も秋も二位でした。残念ですが優勝しなければ二位も六位も同じだと思っています。それでも選手は、よく頑張ってくれました。今の学生は学業が第一で、われわれの時代とは考え方や環境が違う。私が学生だった時は、一日練習を休むだけで他の人に差をつけられると思ひ、休むことができず、毎日が野球漬けでした。この一年を振り返ってみると部員自らよく練習をするようになりました。黙って、30分、1時間スイングだけしたら、それだけ効能があり、自然と上達すると思います。そして、一番大事なことは、人として、まず挨拶をきっちりするという、会釈をすることです。人として当たり前のことですが、まず、そのことを徹底したいと考えています。また、部員は100名を超えていますが、全員同じことをしていたら全体のレベルが下がります。練習に対して一生懸命努力している部員を試合で使いたい。最後に、単位を修得していない人は試合では使わないことを強調したい。2024年度の目標は優勝1本！それはいつも同じです。チームとしては優勝以外にないと考えています。



### 一ドラフトに指名されて現在の心境は

(津田)ここからがスタート。「今からやってみよう！」という気持ちです。お祝いもたくさん頂き、また身内の人もすごく喜んでくれました。野球は小学4年から始めました。入学当初はレベルの高さに驚き、一生懸命頑張らないとやっていけないと強く思いました。ですが、2年生になってからは「やってみよう！」と感じるようになり、ウエイトトレーニングも毎日1時間続けました。リーグ戦でダメだった時も高代監督が使ってくれたこともあり、練習も自主的、自立的に進めることができるようになりました。野球以外では、アルバイトに時間を割いていました。授業はコロナ禍の為、オンラインの授業が多かったです。プロに入ってから、怪我なく息の長いピッチャーになりたいです。シーズンを通じて1軍で投げ続けて、最初の目標は新人王です。

### 一津田さんに監督からプロへのアドバイスをお願いします

(高代)とにかく走れ！ 暇があったら走れ！ 阪神はマンモス球団だから、ちょっと活躍したら、周りからチャホヤされる環境にある。自分におごらず、常に上を目指してほしい。そして自分のお金ですごせるようになってほしい、いつまでも謙虚でいてほしい。来年もドラフトを目指せる選手がいますが、大阪経済大学の硬式野球部のプライドを築きあげていく為にも育成選手ではプロに行かせたくはないと考えています。(広報部・田島裕司)

**津田淳哉さん略歴** 2001年8月27日生、22歳。奈良県大和郡山市。片桐小4年から軟式野球を始める。郡山南中では志貴ボーイズに所属。高田商高では3年夏に県大会準V。大経大では1年秋のリーグ戦からベンチ入り。4年秋は最優秀防御率に輝く。最速152キロ。  
**高代延博監督略歴** 1954年5月27日生、奈良県吉野郡出身。智辯学園高校時代1972年春季近畿大会優勝。法政大学進学後、レギュラーとして出場し、2回の優勝に貢献。1975年秋季リーグ首位打者。1976年明治神宮野球大会優勝。卒業後、東芝に入社。1978年都市対抗優勝。1978年日本ハムファイターズドラフト1位指名。1989年引退。その後、広島、中日、日本ハム、千葉ロッテ、WBC日本代表、オリックス、阪神などのコーチを経て、2023年より硬式野球部監督。

## 芸術会◆グリークラブ

### 力強くそして華やかな 男声の奏でる美しいハーモニー

60年以上の歴史があり、今年で59回目の定期演奏会を数え、入学式や卒業式、また地域での演奏会でも現在活躍しているグリークラブを紹介します。

\* \* \*

グリークラブに入部したきっかけは、高校までクラブは何もしてなかったため、大学に入学したら何かクラブに入りたいと思っていたところ、一番最初に声をかけてもらったのがグリークラブで、とてもおもしろくて、楽しそうな感じがしたので入部しました(藤川さん)

僕は、2回生から入部しました。もともと歌うことが好きで、中学生ぐらいからよくカラオケにも行き、習うことも考えたが、大学できっちり歌うことへの指導がしなかったからです(池水さん)

グリークラブの練習は週3日。うち2日は学内にて、1日は外部にて指導者の教えによる練習に励んでいます。

2023年度の活動実績は入学式に参加。6月に大阪府の合唱祭(池田市石橋のアゼリアホール)で外部合唱の一員として参加させて頂き、狭山市(サヤカホール)の単独と他大学との合同祭。7月は尼崎混声合唱団の定期演奏会で、



左・藤川英太郎部長（経済学部3年生）、池水雄史会計（経済学部3年生）、手前・田島



4ステージのうち1つは単独でさせて頂きました(豊中市曾根の文化芸術センターにて)。9月は春学期卒業式(D-10教室)にて学歌斉唱。11月の大幹会総会と伊丹市のバックフェスタにてOBとの合同の演奏会に参加。12月は定期演奏会(池田市アゼリアホールのイベントスペース)で単独とOBとの合同合唱。

3月の卒業式では、学歌プラスもう1曲を考えています。できれば、テスト明けの2月ぐらいに単独ステージができればと思っています。2024年度の活動も2023年度と同じ継続の予定です。

現在グリークラブの課題は部員数が少ないことです。グリークラブの強みは人員増による声量が迫力大になると思っています。やはり大人で歌う方が迫力もあるし、綺麗なハーモニーになるからです。ですから、歌うことに興味を持っている方は、ぜひグリークラブの練習、演奏会に見学に来てください。文科系のクラブは兼部が可能ですので、部を超えて応援していただけたらありがたいです。学内での練習は体育館の2Fの会議室が多いですが、もっと広い場所であればありがたいです。

グリークラブのクラブ員自体の仲は非常に良好です。本質的に歌うことが好きな人間の集まりなので、いろいろな歌の話や、食事会の後の二次会ではカラオケによく行きます。歌うことは間違いなくうまくなります。

グリークラブにはOB会もあって、現役生には非常に協力的で、特に金銭的には援助して頂いておかげで部費も現在なしです。また熱心に指導も頂き、ありがたく思っています。グリークラブは身体一つで特別な技術もいらず、お金もかからず、将来趣味としても長く続けられるクラブです。ぜひ皆さん注目してください。

(聞き手=広報部・田島裕司)

## 体育会◆陸上競技部

### 秋の伊勢路を快走！

2023年11月5日、第55回全日本大学駅伝対校選手権大会に3年連続25回目の出場を果たし、名古屋の熱田神宮から三重の伊勢神宮までの106.8kmを8人のランナーが駆け抜けました。出場25校中16位で、関西勢3校を抑え地方勢トップの成績を収めました。



また、これに先立つ10月9日、第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走に、さらに10月14日、第100回箱根駅伝予選会や11月18日、第85回関西学生対校駅伝(丹後大学駅伝)にも出場しました。



体育会◆バスケットボール部

## 関西学生バスケットボール連盟で初となる スポンサー契約締結

関西学生バスケットボール連盟で初となる、本学ユニフォームにロゴを掲示するスポンサーとして化学品専門商社の安藤パラケミー株式会社様(本社東京都中央区・代表取締役社長：佐久間導人氏)とスポンサー契約を締結したバスケットボール部を紹介いたします。

体育会バスケットボール部の創設は1946年(昭21年)、創部は1952年(昭27年)。現在、関西学生バスケットボールリーグ1部に所属し、部員は37名(マネージャー5名含む)OBの総数も300名を超えるクラブです。練習は体育館3Fで月曜日以外主に16時からしています。(敬称略)



2023年の試合の結果としては、4月～5月に行われた関西学生バスケットボール選手権大会は2回戦敗退。6月の西日本大会は1回戦敗退。9月～11月に行われたリーグ戦においては2勝9敗の最終的には11位でした。下部との入れ替え戦には何とか勝ち切り1部残留です。

今後の課題として、京都産業大学戦(リーグ2位)には勝ったが、その時はみんなの動きがよく、粘りでよい試合ができ、3点シュートもよく決まりました。が、他の大学との試合では特にシュートでのミスが多く、2～3点差で負ける試合が多かったです。今後、全員が役割を全うし、チームプレイで勝てる試合をもっと多くしたいと思います。また、練習時間が短いですがフィジカルトレーニングをもっとおこなっていききたいと思います。

合宿は8月のお盆の時期に3泊4日をかけて、関東遠征をおこない関東の大学と練習試合をおこない2勝1負と勝ち越せました。

今年度から関西学生バスケットボール連盟初となるスポンサー契約を安藤パラケミー(株)様と締結させて頂きました。現在OB会からも支援して頂き、非常に助かっています。スポンサー契約は初めてのことで自分たちが試合でもっと活躍し、勝ち続けることがスポンサー様への一番の恩返しだと思います。もっと頑張って、リーグ戦の優勝、インカレ上位進出をめざして頑張ります。

バスケットボール部の練習は各自課題にむけて厳しく取り組んでいます。先輩が後輩に対していろいろなアドバイスをしてくれ、規律正しいクラブです。

練習後は学年関係なしに非常に仲のいいクラブです。バスケットボールに興味のある方はぜひ一度練習を見に来てください。(取材＝広報部・田島裕司)

―バスケットボールを始めた時期は

喜多海斗さん(主将・経営学部2年)

小学生2年生から兄とスポーツをしたいと思ったのがきっかけでした。中学時代もバスケット部で3年間、高校進学後も続けましたがインターハイ予選の準優勝が最高の戦績でした。国体では1年次で選抜チームに選ばれ、近畿予選は3位でした。本番の国体では1回戦は香川県に勝ちましたが、2回戦で千葉県に負け悔しい思いをしました。大経大に入学したきっかけは監督に声をかけてもらい、練習に参加し、非常に雰囲気良かったので気に入って決めました。

川村晋平さん(副将・経済学部3年)

小学校4年生の時に兄が地元の体育館で行っているバスケのスクールに入っていて、自分も親に勧められて始めました。地域の男女が非常に楽しくバスケットボールをしていて、自分も仲間になれてよかったとおもいました。もちろん中学、高校もバスケットを続けました。大経大には高校の先輩が4回生におり、春休みの時に練習を見に行き自分も大学時代はバスケットを続けようと思い入部しました。



川村さん(左)、喜多さん、田島(右)

体育会◆準硬式野球部

## 2024年の目標はすべての試合で優勝をめざす!



伊藤元翔(主将・経済学部3年) 左から2人目  
 沢田健登(副将・人間科学部3年) 左から3人目  
 丸山 廉(主務・人間科学部3年) 左から4人目  
 森下和貴(副将・経営学部3年) 左から5人目  
 山崎健太(経済学部2年) 左から6人目 (敬称略)

今年は春の関西地区トーナメント大会で優勝、8月の全日本準硬式野球選手権大会で優勝、秋の近畿リーグ戦で優勝と輝かしい戦績を収めた準硬式野球部を紹介します。

まず最初に今年は各試合において大学関係の皆様、卒業生の皆様、そしてOBの皆様に熱い声援をおかって頂きありがとうございました。お陰で8月の全日本選手権大会では2年ぶりに日本一に返り咲きました。部員一同御礼申し上げます。

―準硬式野球を始めた時期、きっかけは

伊藤 小学1年生から、スポーツはサッカーか野球かで迷っていましたが、投げるということが好きで始めました。練習場所の小学校も歩いて3分なので、土・日と練習していました。中学生になると、外部のチームで硬式野球部に所属し、高校でも初芝橋本高校で続けましたが、県大会では智弁和歌山に負けて悔しかったです。大経大には、家の隣に大経大の準硬式のキャプテンがいて、その先輩が誘ってくれて入学しました。

沢田 兄が野球をしていてその影響から小学2年生から始めました。中学は外部のチームで硬式を3年間続けました。高校は京都の西城陽高校で秋の大会ではベスト4、3年の夏は1回戦で負けました。大経大には高校の先生から準硬式のスポーツ推薦を受けてはどうかと勧められて、合格し入学しました。

丸山 小学2年生から親とも双子の兄弟でよくキャッチボールをし、学校も近くて、小学校の名前をとったチームに所属しました。中学は外部のクラブチームで軟式で続けました。桜宮高校では秋季大会でベスト8、夏はベスト16でした。大経大にはひとつ上の先輩や崎山先輩(87回、灘江57号P43参照)がいて誘って頂き入学しました。

森下 小学2年生の時、おじいちゃんにグローブを買ってもらい小学校の野球部に所属してました。中学から外部のチームで硬式を始め、高校は鳥取から青森八戸学院に進学し3年間寮生活をおくりました。秋は1回戦負け、夏は準優勝でした。大経大には高校の監督から勧められ入学しました。

準硬式野球部は昭和24年創設、現在は部員は71名(マネージャー6名含む)OBの総数は480名、OB会からは毎年援助して頂き大変助かっています。練習は土・日は8時～10時半、平日は授業優先ですが8時～10時、火・金は体育の授業がある為8時～9時です。

2023年の試合結果として、3月～4月の春季リーグは3位。5月～6月の関西地区トーナメントは優勝。8月の全日本大学準硬式野球選手権大会優勝。9月～10月秋季リーグ(新チーム)優勝。11月の関西選手権は1回戦敗退。

この後のスケジュールは2月の期末試験まで自主練習。2月20日前後から香川県で合宿を行う予定です。

―2023年の試合から感じた課題と2024年にむけた取り組みは

1番感じたことは11月の関西選手権でバッティングが繋がらなかったこと。接戦で負ける!それを解消する為、打ち込みを増やしたり、ウエイトで力をつける。各自、自分の役割を徹底する。監督から、打てないときはどうしたら1点をとれるかもっと考えるように言われているので、全員の意識を徹底していきたいです。

準硬式野球部は練習時間は短いですが、自分たちでメニューを考えて監督と2人のコーチと共にもっともっとレベルアップをめざしています。もちろん学業優先ですが、アルバイトもでき、資格もとれる時間もあり、充実した学生生活をおくっています。(取材＝広報部部長・田中伸治、広報部・田島裕司)

全クラブ一覧 (2023年12月現在)

- 体育会**  
合気道部  
アイススケート部  
(スピード・フィギュア)  
アメリカンフットボール部  
空手道部  
弓道部(男子・女子)  
競技スキー部(休部中)  
剣道部  
硬式庭球部  
硬式野球部  
ゴルフ部  
サッカー部  
自転車部  
(レース・サイクルサッカー)
- 自動車部  
柔道部  
重量挙げ部  
準硬式野球部  
少林拳法部  
水泳部  
ソフトテニス部  
ソフトボール部  
卓球部  
チャリダー部  
日本拳法部  
バスケットボール部  
バドミントン部  
バレーボール部(男子・女子)  
ハンドボール部
- ボクシング部  
洋弓部  
ヨット部(休部中)  
ラクロス部(男子・女子)  
ラグビー部  
陸上競技部
- 芸術会**  
映画研究部  
演劇研究部  
ギタークラブ(休部中)  
グリークラブ  
軽音楽部  
茶道部  
写真部
- 邦楽部(休部中)  
マンドリンクラブ(休部中)  
落語研究部
- 学術会**  
E.S.S部  
将棋部  
証券研究部  
パソコン部  
文芸部  
簿記会計研究部  
ボランティアクラブ  
ユースホステルクラブ
- 独立総部**  
アルバム委員会  
CBS文化放送局  
吹奏楽総部  
ワンダーフォーゲル部
- 総部会**  
Ⅱ部軽音楽部  
Ⅱ部バスケットボール部(休部中)  
フットサル部





このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字以内にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。(原稿・写真のメール送信を歓迎します)

・締め切り	2024年8月末日必着
・送付先	〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学大樟会「北から南から」係 宛
・eメール	okusu@osaka-ue-denko.com

※以下の原稿は2023年に寄稿いただいたものです。

## 思いつくまゝに

吉田 徹(20回)

昭和29年3月大学卒業で思い出すことは沢山ありますが、一番の思い出は大阪経済大学で学んだことでもあります。戦後の苦しい状況のもとで地方(福井)から大学に進学し、卒業後故郷に帰り教員生活が出来たことは誠に幸運児ということが出来ます。

教員生活の思い出は生徒に「人生の生き方」を教えることで、不十分ながら取り組むことが出来ました。これは4年間の大学生活で学んだものであります。特に経大では先生方と共に学ぶことの大切さを痛感させられました。定年後もその信念は変わっておりません。退職後の生徒との交流は楽しみの一つであります。

大学卒業後、一生教員生活の出来たことを喜んでおります。また大学で学んだことがいかに大切であるかを今更ながら痛感しています。教員生活の一端を思い浮かぶまゝ記しました。(福井県鯖江市)

## 人生九十年に思う

森田 利一(22回)

盛唐の詩人杜甫は曲江と題する詩の中で「人生七十古來稀」と詠んでいるが齢七十を古稀と称するのはこれに由来しているようだ。杜甫本人は名門の出ながら官途に恵まれず酒は愛でたが中国各地を流浪、晩年故郷長安に帰る舟中にて病死、時に五十九才であったと。果たしてその胸中いかげなものであったか、かく言う小生春秋を経て今や満九十の単身高齢者である。(老妻は介護施設に入所)

戦中戦後の厳しい食糧難の中、時には水だけで飢を凌いだこともあったがよくここまで持ち堪えたものと思う。さてどうするこれからである。かつて日本占領連合軍最高司令官であったマッカーサー元帥は任を解かれての離日に際し「老兵は死なずただ消えるのみ」と言う名言を残している。小生もこれにあやかり老後破産を招くような事案から遠ざかり何事も自然体で臨むことをモットーにその日が来るまで感謝の心で日々過ごすようにしたいと思っています。(奈良県奈良市)

## 在学時の思い出～近況

河野 一郎(28回)

大樟会の皆様こんにちは。失礼ながらこの誌上にてごあいさつさせていただきます。昭和33年大阪経済大学入学後応援団に入部し2年生後半に吹奏楽部を立ち上げ中之島中央公会堂での関西学生吹奏音楽祭に出場し応援団の羽織、袴にて指揮をさせていただきました。又軽音楽部で種々バンドにて北野劇場等に出演、私にとって最高の学生生活でした。大学生活4年間のおかげで卒業即九州福岡に就職と同時に音楽バンド結成し今日迄老人ホーム、ダンスパーティ、他種々ライブ生活を楽しんでおります。



左から3人目(サックス)

これも全て大阪経済大学時のお陰と感謝いたして居ります。ありがとうございました。又コロナ前何年間は年1度北九州支部総会にて植田支部長の元皆様に楽しい演奏をさせていただいて居り今後も続く限り北九州ライブを楽しんでいただきたいとおねがい申し上げます。(福岡県福岡市)

## 学園追想と私の近況を詠む

内海 正隆(32回)

原稿依頼に同窓会名簿を開き一瞬60年前にタイム・スリップ。藤田敬三学長以下、商法の田岡嘉寿彦、倫理学の中村九一郎、心理学の後藤金重郎、経済政策の倉辻平治各教授等々個性豊かな先生方の薫陶を受けた記憶が甦りました。手前の市バスを降り本屋、マージャン屋を抜け水路を渡り校門を入ると樟の大木があったことを思い出します。

72才で第2の職場を辞し8年、日曜日は教会の礼拝に出席し野菜作りをし、昨年より短歌会で短歌に勤しんでいます。

①いのち詠む短歌の道を歩みたし五月の空にひとひらの雲

②コロナ禍にスマホで孫にせがまれしタガメさがさむ冬のたんぽに

③コーヒーの香り漂う阿倍野筋三年ぶりに友と歩みぬ

近況を詠んだ三首です。

最後に新進気鋭の若き学長の下、支えるすべての大学人、大樟会の心血注ぐ奮闘ぶりに感謝を捧げ母校の発展をお祈り致します。(奈良県北葛城郡河合町)

## 私の近況

木庭 洋介(32回)

卒業から五十七年、一線を退き十年が経過しました。自信があった身体も節々に痛みを感じ病院通いが多くなって来ました。退職後は町内会、菩提寺、作物評価員等の下命を受け何とか熟しております。一方、経大時代に培った詩吟(吟を以って心を養う)を座右の銘として研鑽しております。多くの人に接し、話し、笑う機会を増やすためスマホにパソコンと柄にもなく挑戦中で在ります。一歩進み二歩下がり時々情けなくなることもありまますがこれも老化防止と思って奮闘しております。ここ数年はボランティアで近所の介護施設を慰問しお年寄りと一緒に詩吟、童謡を唄っております。お年寄りの嬉しそうな満面の微笑みがまた元気を与えて呉れます。後期高齢者となっておりますが健康寿命維持できる限り趣味と友好を大切に頑張ります。秋の大樟会で皆お会いできますことを楽しみにしております。合掌(岡山県岡山市)

## ムダが活きてるホドホドの今、私達が支え変えましょう大学を

原 清(32回)

大阪西天満、京都七条通りで各18年、大手コンサル会社での修行時代を加え、45年間。2019年に彦根に戻り「コンサル経験則」を形にしたいと発意し5冊にまとめたのが75才時でした(内1冊は中文版)。

先生の経営を証しに、蓄積されてきたであろう経営学に息吹を、と学びの場を求め、若い先生に「経営は実践だと言われるが、科学ですよ」と肘を机の高飛車話。実践積み上げの知恵が科学として次代に役立つのに……。経営学は静態、経営は限りなく動態です。流れ動く中で生まれ得る知恵は企業、大学、私達一人ひとりが生き残るための成長の鍵です。近くの県立大学で自然科学入門(視点)を学び、明日は15回、終講です。

自然森羅万象を<自然科学=物理・化学…、社会科学=経済・社会…、人文科学=歴史・哲学…>に分け進歩の過程を数値や言葉にし、プロセスを知り次代への糧に、と言った内容です。「大学は学生・卒業生・社会に役立ってこそその存在価値」。母校の教学・研究を支える経営の核<理念・方針・具策>が見えません。46年前に業界No.1、社員500人、年商380億、無借金会社が私のセミナー参加時は30人、10億、無借金…典型的縮小均衡で消えます。

OG・OBの皆様、明るく甲斐ある日々をお過ごし下さい。<サンライズ出版・彦根・はら・経営書>で拙著大綱をご覧ください。(滋賀県彦根市)

## 80才の奇跡

西田 英行(32回)

人生80才から100才の延命時代。小生78才で胃癌に罹り手術をしましたが転移が有り温熱・免疫治療中です。効果は。

この才まで平和で家族も元気で何の心配も有りませんでした。

家族も私のガンを聞き大変動揺したようですが、今は冷静に見舞って来ています。私も冷静に対処しています。

それにつけて学生時代の思い出、友人のことが浮びなつかしいです。32回生の友人も2人死亡しました。

80才の奇跡をねがい頑張っています。皆様も病気は早めに治療されるのがベストです。経大の発展を楽しみに終わります。(大阪府池田市)



## 80歳の壁

船越 義治(32回)

私は、今年の4月8日で満80歳になりました。先日和田秀樹先生(精神科医)の80歳の壁という本を読みました。心身共に自立して健康でいられる年齢は男性が72歳、女性は75歳と言われています。和田先生は80歳を超えた人は「幸福者」と呼んでいます。男性72歳、女性75歳以上になると誰かの介助が必要になるといわれています。一点目は医者・業・病院の壁を超えていく、二点目は老化の壁を超えていく、三点目はポケ・認知症の壁を超えて、四点目は高い壁を低くする。例えば①長生きが大事なのか。②残りの人生が大事なのか。③寝たきりは終わりではない。だからこそできることもある。④老いや衰えを受け入れる。⑤まだある機能で勝負する。明日死んでも後悔しない人生の時間の過ごし方は三つの無理をやめる。食事は我慢しない。食べたいものは食べる。興味あることは我慢しない。どんどんやりなさい。男性ホルモンは元気の源。したいこととして脳も体も元気に、脳の前頭葉を刺激する。したいことをすると脳は喜び若返る。いくつになっても刺激を持つべきです。とされています。従って、究極的な幸せは、やっぱり楽しむ能力なのだ……。楽しんでこそその「人生100年」です。80歳の壁を超え、あと20年、新たに挑戦する日々を楽しみたいと思います。(茨城県ひたちなか市)

## 人生のアンカーとして

山口 宣勝(32回)

北陸小松から当時は汽車で関西へ、経大入学後62年又、人生60年を遙か以前に迎え2つの還暦を超えた今、タイムカプセルの蓋を開けると往時の学生時代を思い出す事象が詰まりそして、昭和後半に入った社会情勢、学内の環境などが克明に写し出されており、現在が余にも変わり果てているのに驚嘆の限りです。昭和20年代は決して裕福な時代ではなかったが、明るい“NEWS＝東西南北”もあった。

昨年久し振りに学舎を訪れましたが、目を見張る発展を遂げていることに卒業生の一人として本当に嬉しく思いました。

社会人第一線を引退後はシルバー人材として世の為人の為そして、自身の健康維持と社会との連携を大切に、温故知新を銘に活動しております。今春傘寿(80才の壁)を通過し、更なるこれからは地球の壁(屏風)エベレスト最高峰8846mに挑戦すべく(登頂ではない)米寿の暁を目ざし、少ない人生には写経と模型の戦艦大和を製作中です。(兵庫県西宮市)

## 大阪経済大学・100周年に向けての提言

植村 祐三(32回)

黒正蔵博士が示した建学の精神“自由と融和”“道理貫天地”を基に、本学のコアは何だろうかと考えるとき、コアは中小企業・経営研究所であると考え。第3代学長藤田敬三先生が設立した中小企業・経営研究所への思いは、知的知識集約化のモデルを作ることだった。本学は大阪市内に本拠がある大学として、関西経済の基盤の底上げをする絶好のポジションにある。また、実学の情報発信基地としての役割を中小企業・経営研究所が担うべきである。本学は実学をモットーとしている以上、その具体的学部としてのベンチャー(中小企業)学部の創立が必要だと考える。



卒業生10万人を超える同窓会とも接触を深め、卒業生を積極的に利用して頂きたい。

かつて私学の高校・専門学校・大学で6年間教鞭をとったが、大学では勉強しない学生の多いことに唖然とした。高校ではずば抜けた生徒もいた。教師の一言で、学生が人生の方向性を決めることもあり、教育の恐ろしさを身と感じた。

25歳の時、夜間部に入学、松本剛先生に巡り会い充実した学生時代だった。また、8歳の時、広島で被爆。現在86歳だが、原爆の語り部として体験記を執筆・出版準備中です。

大阪経済大学が世界に羽ばたく人材を世に送り出し、中小企業の存続の基盤となることを念じて、ますます発展していくことを心からお祈りしております。(大阪府大阪市)

## 入学時の思い出と近況

高上 安史(32回)

私は現在、老いの体に鞭打って、十数キロ離れた実家に通い、その管理や、又地元の図書館で文字に目を通すのが日課の様になっている。お陰様で80を超えた今も何とか元気で車を運転し、読み書きもまあまあで過ごしています。

最近、経大在学中のことを寝床で思い出すことが多く、特に入学間もなく同じクラスになって出遭い、若くして亡くなった友のことが想い出されます。現在広い敷地に所狭しと建て物が建っているが、当時は体育実技をしていたグラウンドであり、その一角に一棟だけ四階建の校舎が建っていた。その前で、高校時代野球部だったという彼とキャッチボールをした。私も野球が好きだったということもあり、すぐに打ち解けた。彼は小柄ではあったが、当時の松方弘樹に似ていてセンスも良く、私は彼に負けない様気を使い真似ていた。もう一度会いたいものだ。合掌(広島県福山市)



## 母校とのえにし

條 一成(33回)

大阪商工会議所勤務 中小企業振興業務、国際経済交流業務を中心に担当、及び(財)日中経済協会へ出向勤務した。出向期間中2003年5月、協会事業として、外資系現地法人の経営実態をヒアリング、現地調査を行い「対中ビジネスの経営戦略—中堅・中小企業への提言」の編纂出版業務に携わりました。同書籍編纂に際しては、母校の経済学部教授「山本恒人」先生に委員として参画頂き、調査執筆いただきました。当該書籍は母校図書館蔵書となっている筈です。

出向期間終了後、大阪商工会議所を定年退職、同商工会議所から業務委託を受けて「中国ビジネス支援アドバイザー」として勤務、企業の中国ビジネスに関する相談業務を担当、2019年4月大阪商工会議所との委託業務終了。その後、中国ビジネスコンサルタントを始め、現在、大阪府下の中小企業2社の中国ビジネス相談に応じている。

2022年9月15日、大阪商工会議所事業として下記セミナーが開催されたので、小生も受講した。テーマ「中国減速の深層 3つのシナリオで中長期の中国経済を展望する」(講師 大阪経済大学 経済学部教授 福本智之氏) セミナー終了後、早速名刺交換をして本校の卒業者である旨伝えた。後日、同教授の研究室を訪ねご挨拶申し上げ、種々ご指導を仰いだ。これらの事は、卒業後半世紀を経過した今、「母校とのえにし」を深く感じるのである。(兵庫県西宮市)

## 素晴らしき人生

奥田 信雄(34回)

卒業して早や55年、振り返れば年月の経つ事の早いこと早いこと。「殿江」を見てつくづく思い知らされる今日この頃です。

入学した当時はすぐに写真部に入部し、授業もそこそこに撮影会や旅行に明け暮れた事が目の当たりに想い浮かびます。大変有意義で実のある学生生活が送れました。また卒業してからも素晴らしい体験を幾度となく受けた事が今の自分にプラスになっているんだと思います。結婚して子供が出来るまで大阪に住んでいましたが、その後今の名張に移り住みました。そこでまた市や地区の役員等をさせて頂き、今までにない経験をさせて頂きました。そして現在、名張地区防犯協会の会長を承った事です。勿論防犯に関する役員も長年続けて来た結果でもあると思います。今は市だけに留まらず県の行事等にまで









様からは、日本への人気が高いです、日本人のおもてなしの心、和食が安くてもおいしい、街がきれいななどの感想をお聞きします。中日関係がぎくしゃくしていても、一般の中国人は日本が大好きです、これからも引き続き架け橋役として、そういう日本と中国のつながりを大切に育てて行きたいと思ひます。

(大阪府大阪市)

### 米国のアカペラの世界大学に参加

毎年7月23日から1週間、米国のHarmony Universityに出かけている。これはBarbershop Harmony Societyの主催で男声四部合唱アカペラの世界大学だ。今年は会場が南部のNew OrleansのLoyola大学であり、コロナもBarbershop Harmony Society CEO Marty Monsonと楠さん国を中心にカナダ、イギリス、スウェーデン、ドイツ、イタリア、スペイン、オーストラリア、ブラジルなど世界で約30,000人の大組織である。小生もハワイのUS Kinden Corp社長時代からのメンバーで今年で四度目である。Armstrong国際空港ではCEOのMarty Monsonが自らプラカードを持って待っていてくれた。案の定、会場へ行く大型バスを待つほんの数分でも四部の素晴らしいハーモニー(Tenor, Lead, Baritone, Bass)が鳴り響く。カリキュラムは①歌い方のSkill、②Performance、③楽論、など150を超えるパラエリーで教授の説明より生徒の発言の方が多い、物凄参加型授業でこれぞDemocracyの国アメリカと言う感だ。夜は21：30からアイスクリームコーナーで深夜まで歌うタフプログラムで、今年は約500人の参加で、日本からは小生一人であった。今回はZombie Medley (Michael JacksonのThrillerが原曲)を現地結成のコーラスで振付を交え歌った。管理社会の日本を離れ、米国時代を取り戻す瞬間だ。今後も行けるところまで続けたい。(東京都大田区)

### 私の生きがい

55才から再開した剣道を楽しんでおります。今では中学から大阪経済大学時代まで続けたことが、自分にとっては大きな宝となっております。私は上手ではありませんが、R5年の年始とGWに連続してベトナム・ホーチミン市の剣道仲間と交流する機会に恵まれました。現地の剣士は皆日本人剣士と稽古をしたいという思いが強く、必然的に「先生」と呼ばれることになりました。貪欲に学びたい剣士たちと一緒にすごしたことは、あらためて「努力する」「諦めない」日本の文化を認識するとともに、人の優しさに何度も心温まりました。生涯現役を目指し稽古を続け精進し、仲間を大切に、かつての駐在員時代をすごした米国の剣士仲間とも、交流してみたいなと思っております。剣道7段教士 73才 豊橋商業高出身 (愛知県豊川市)

### 卒業 半世紀

1973年大経大卒業後、兵庫県で公務員に就職。1985年文化財担当時、ハバロフスク州から6羽のクワノトリを受贈。永年クワノトリに専心して来た豊岡市の松島興治郎氏と新潟空港に迎え、陸路豊岡へ搬送。野生復帰の胎動であった。アムール川流域のクワノトリは冬季、長江中流域に渡る。琉球弧や対馬を経て本州に飛来する揚力を持つ。水田に共生したのが日本のクワノトリ。農業の影響等により絶滅の危機に瀕していたが、6羽を契機にした野生復帰への本格的取組により、現在300余羽が大空に還っている。2011年定年を機に、在職時端緒に関わったクワノトリ野生復帰について、豊岡などで調査研究、2013年「H24年度豊岡市学術研究奨励論文」2020年父の遺稿を編集発刊「蒼氓の従軍記」2023年「旅研」同期会再開、半世紀ぶり再会も。同級大場君と南紀旅行、南方熊楠邸で熊楠と牧野富太郎との対比談論・上富田で一部復帰の経大サッカー観戦、同志社に勝利し溜飲を下げる。2032年 瑞光の大阪経済大学100周年！ (兵庫県明石市)

### 自治会への関心薄く、災害時に不安

大阪経済大学の卒業生、在校生また大樟会の運営に携わっていただいております。お元気のことと存じます。私は、第37回生で、卒業後、大阪の地方銀行に64才半ばまで勤務し、退職後は年金生活者となり、間もなく75歳を迎えます。最近では一人前にも年相応に色々な病気を持つようになり、病院通いが多くなりました。

現在、71世帯と小さい自治会の会長を連続15年間務めていますが、最近では住民の自治会参加意識は、現行自治会役員に任せておいたら安心という考えがあり、徐々に関心は薄くなりつつあると感じています。災害時は、自治会が窓口になりますので不安を残しています。本件について何か具体的ないい考えをお持ちの方、ご教授願います。

夏休みを利用して、小学1年生となった孫が来ましたが、残念ながら運動量についていけません。体力低下は否めない今日この頃です。皆様、御身大切に過ごしてください。(奈良県奈良市)

### 私の一生の宝物

私、今年で75歳になりました。55年前の大学生活を懐かしく思い出します。その中で池内教授との思い出を大切にしています。池内教授も70歳を過ぎ、最後のゼミとなり、最後のゼミ生となりました。3回生の秋頃、古川君と南浦君と三人で御影の御自宅を訪問する事となりました。昼すぎに訪問し、熱心に話が始まり、薄やんと灯を見ながら「最近やっと夜明け前の行灯の如く、なんとなくわかりかけて来た」と、ボツリと語られました。「謙虚に」「いつまでも求めてやまない心」を学びました。これからも一生探究心を忘れず、謙虚に生きて行きたい。

最後となりましたが、同窓会、同期会(大樟37期会)等で会いたいです。元池内ゼミ、元経営経済研究等の皆様には是非再会したいものです。(大阪府大阪市)

### 毎日元気に過ごしてます

先輩、同輩、後輩の皆様。お世話になっております。お元気でお過ごしでしょうか。私は、只今社会福祉法人(老人・障がい施設)4か所の評議員・理事・監事と文化系任意団体と県人会の役員を4か所しております。毎日、1万歩のウォーキングと脳トレを兼ねて兵庫ラジオカレッジで感想文を月2回ペースで記載しています。それと生涯現役でありたいので国家ライセンス試験勉強をやっておりますが、なかなか手ごわくて大変疲れております。

あと10年弱で大阪経済大学創立100周年ですので、出来れば長生きして総会に出席したいと思っております。時代の要請に応える本大学の益々のご発展と在学生のご活躍をご祈念申し上げます。(兵庫県尼崎市)

### 中国とのつながり

昭和47年に大学を卒業してから、これまで波瀾万丈の人生を歩んで来ました。でも振り返ると、かなり自由にやって来たような気がします。小生は日本生まれの中国人でいわゆる華僑です。物心がつく幼少の頃から、中国人の家庭と社会の中で育ち、血統と文化的にも中国人です。その頃日本には5万人程度の華僑しかいませんでした。それが今や100万人を超す最大の在日外国人集団となっています。しかし残念ながら、近年中日関係もぎくしゃくするようになりました。今は某通訳案内士協会で事務局長をやっています。アフターコロナで回復しつつある、インバウンドツーリストたちをお迎えして、観光スポットを案内しながら、日本の文化や歴史などを幅広く紹介しています。とくに中華圏の皆

学部が始動しました。学長は二代続けて理系です。100周年記念学部増設は是非とも理系学部を望みます。いきなり理工学部はハードルが高すぎるでしょう。2023年2月、文科省は「理工農」分野への転換を促すとして、国の基金3000億円による理系学部設置等の支援は最長10年間、20億円まで、2032年度まで申請を受け付ける、とのこと。この流れを活用しない手はないでしょう。実現すれば総合大学です。トップの英断と全経大の力を結集してほしいです。

(京都府京田辺市)

### 山との出会い

大学を卒業し、早いもので52年、後期高齢者の年になります。半世紀前の当時を思い出すと、下宿先は、淀川堤防敷近く、学校まで歩いて15分程、周りには田畑があり、対岸の千林へは渡し船でよく買物に出かけていました。

同じ下宿に信州出身の先輩がいて、北アルプス表銀座の燕岳に連れて行ってもらったのが最初で、完全に山の魅力にとりつかれてしまい、それが山登りを始めるきっかけとなりました。大学3年間夏休みに裏銀座の烏帽子小屋でアルバイトもしていました。

卒業後は、兵庫県、波賀町、宍粟市に38年間教育行政職として勤務し、その間、友人や職場の同僚達とアルプスの山々、兵庫50名山などに出かけ、山登りが趣味の一つになっていきました。

今年の夏は、友人、孫と一緒に立山に登りましたが、若い時と違い体力の衰えはいなめません。今後も、近場の山を中心に健康維持増進のために、登り続けたいと思っています。最後になりましたが経大の益々のご発展を祈っております。(兵庫県宍粟市)

### 卒業して半世紀！

昭和46年に卒業し、あっという間に経ってしまえば夢の様に半世紀あまりが経過しました。現役時代は創設2年目の洋弓同好会に属しており、当時練習場は淀川の河川敷で的の量をついで堤防を乗り越えて運んでおりました。今は井高野に占用レンジができており、今の部員がうらやましい限りです。

当時の同期6名のうち2名がすでに亡くなり、昨秋の大樟祭に残った4名が徐々に集合したところですが、うち1名がコロナ感染により具合が悪くなり、大学の保健室の保健師さんにお世話になり近くの病院に収容されましたが、1週間後、無事に横浜に帰ることができました。

私はその折り、学校を見てまわったところですが、現役当時の学舎、体育館、学生会館等すべて建て替えられて思い出にひたることができませんでした。しかし大経大の発展をみる事が出来ました。ますますの発展を期待しております。(大阪府三島郡島本町)

### 来年税理士をして60年を迎え今日思うこと

私は税理士を職業として選んだきっかけは私が中学校卒業時に父が失業し高校進学を諦め個人商店で丁稚奉公の仕事をしました。勉強したい気持ちもあり店主の了承のもと夜間高校に進学しそこで教師の岡田先生にめぐり会い当時貧乏していたのでしたら金持ちになれるのか質問し税理士の道を教えて頂きました。大変難しく困難さを聞かされ一時は諦めかけたが頑張ってみようという心不乱勉強に力を注ぎ夜間高校在学4年生の時に税理士試験4科目に合格しその翌年1科目を取得し昭和39年3月(当時20歳)に念願の税理士登録をしました。今思えば苦しい生活があったきっかけが今日に繋がっていると人との縁の有り難さに感謝しています。先生と生徒の関係は親子ではないが人生の先輩として自分の将来の目標等相談すべきと思っています。今日(現在80歳)まで現役として仕事をやっていけることを喜んでいます。若い学生の皆さんもぜひ税理士の職業を目指してください。(大阪府箕面市)

### 卒業して50余年

大学を卒業後は、国税関係の公務員になり、37年間勤務し、定年退職後は税理士として仕事を続けています。学生時代は大学紛争で何かと変則的な学生生活でした。卒業後はバブル拡大と崩壊に続き、平成の経済停滞、これからは少子高齢化社会を迎えています。

さて、自分自身の生活はさほど大きな変化もなく所帯を持ち子供達を育て、いつの間にか歳を重ねてしまいました。まさに日が暮れて道なお遠しです。更にコロナ騒動の時期に大きな病気のため手術を受け、仕事を整理しました。これからの毎日は無理をすることなく過ごしたいと思っています。

最後に母校大阪経済大学が時代の変化に適切に対応して着実に発展することを期待しています。(京都府京田辺市)

### 後期高齢者になって

今年5月誕生日前に「後期高齢者医療保険」に関する通知があった。何とも言えない複雑な思いである。まず、「後期高齢者」の表現だけでも避けてと言いたい。まったくセンスの無い呼称ではないか。令和に入り「老後資金2000万円」が話題に、仕事でクライアント先にお伺いすると、「これから幾らの資金があれば生活できますか?」と聞かれる事が多くなりました。透かさず「幾つまで生きますか」(笑い)と問掛けます。計算が出来ないから皆不安、その様な状態で社会保障の削減・増税に直面し、「消費拡大に協力して下さい」と呼びかけられても……、そんな思いです。

さて、私の所属する大樟会南大阪支部では、今年の総会も無事終了し、11月に支部行事の1つとして「河内ワイン博物館」で懇親会を、役員の方々が企画されています。その前座で「身近な相続税」と題し支部会員の方々に、お話をさせて頂く事になりました。令和5年から6年相続税は大きく変わります。今出来る事・準備する事を中心に、認知症予防のために課題を頂いたと理解し、レジュメを作成しています。この澁江第59号が発行される頃は新税制となっている、と考えながら。(大阪府南河内郡太子町)

### 健康の為にアーチェリー練習

在学中は洋弓部で数々の試合に参加して青春を謳歌していました。昭和46年東証一部建設資材の三洋工業(株)に入社し各地で勤務。岡山には9年間在籍しており、62歳で退職する迄大阪支店に勤務しておりました。現在はしあわせの村アーチェリークラブに所属しており、同志社大OBでモントリオールオリンピック銀メダリスト道永さん、大阪工業大OBの梶川さん、ベアボーで世界大会に行かれた女子の正木さん達と一緒にしあわせの村アーチェリーレンジで健康の為に汗を流して練習しています。

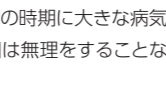
最後にあたり大阪経済大学卒のOBの人達の活躍で益々ご発展を心より願っております。(兵庫県神戸市)

### 卒業から半世紀

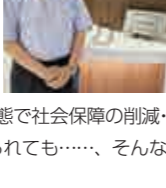
①近況 光陰矢の如し。還暦から15年は特急に乗ってきました。間もなく後期高齢者。何と暗い言葉でしょう。新幹線に乗り換えです。その次はリニア新幹線です。中三の孫が幼稚園の時、「ジジを連れて行って」、と話していましたが…。お陰様で、卓球、スキーそして仕事の三点セット続けています。今日も平穩に過ごせていること、感謝の毎日です。

②大学への要望 国際共創学部増設、期待しています。入学時に藤田敬三学長の特別講義、今でもハッキリ覚えています。将来的には一橋大学のような学部構成にしたいと。2023年4月、文理融合のソーシャル・データサイエンス

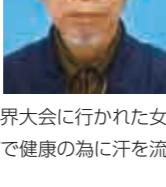
大八木 傳一郎(37回)



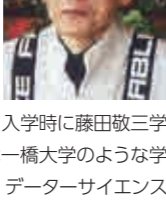
小林 幸一(37回)



松本 義明(37回)



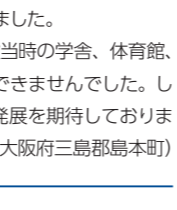
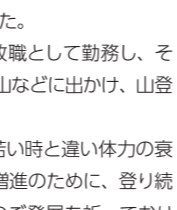
吉本 秀雄(37回)



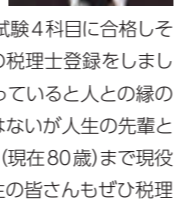
黒田 一博(37回)



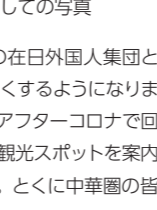
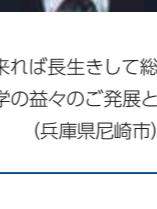
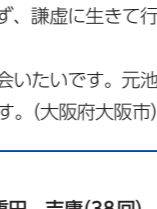
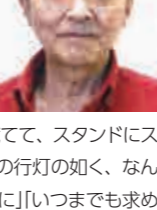
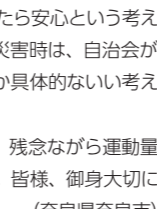
西田 達行(37回)



南中 平八郎(37回)



大倉 等(37回)





<b>出会い</b> は脈々と	
<span></span>	
<b>八島 守孝(41回)</b>	<span></span>
入学式当日に映画研究部に入学部。当時の幹部3回生、準幹部2回生、同期との親交が半世紀以上経った今でも脈々と続いています。1998年より3年に一度、各学年持ち回り幹事でOB会(一泊旅行)を企画し2022年で通算9回開催されています。関西在住が中心ですが岡山、福井、鳥取、埼玉からも参加され現役時代は赴任先の地方から参加した事も。開催地も幹事が色々知恵を絞りそれも楽しみの一つです。毎回珍道中で夜の宴会ではその出来事をネタに大盛り上り!一気に学生時代のコンパ状態へ。集合時から解散時迄呑み続けていますが皆楽しい呑み方でトラブルは一度もありません。	
次回予定は関西西博開催の2025年。何処へ… 楽しみです♪ 経大100周年迄続けたいですね。写真は2022年度北陸の旅加賀温泉でのスナップです。グループLINEは映画研究部らしく大樟会銀幕組。(笑) (兵庫県芦屋市)	

<b>自転車に、落語に、拘りの第2の人生</b>	
<span></span>	
<b>福富 宏三(41回)</b>	<span></span>
卒業後、地元の信用金庫に33年間勤め56歳で退職。早く辞めたのは仕事に飽きてきたのと(笑)定年という「上がり」の言葉も嫌で、第2の人生に拘って生きたかったからだ。	
以来、3つの株式会社で、代表や役員の立場で早16年近く経とうとしている。まだボケる訳にもいかず毎日鈍い頭をフル回転させ粉骨砕身で仕事に遊びにこと励んでいる。	
そういう環境に合わせた体力と精神力の維持向上の為もあって、昨年「70過ぎの手習い」で始めた自転車イベント参加や近場の山川沿いを爽快に走っている。目標は、あわー、琵琶一、しまなみ海道か(笑)	
又澁江第51号(2016年度版)の「ズームアップ経大人」欄に掲載頂いた「落語」も諦めず飽きられず続けており年に数回の高座に上がり続け、これまたボケ防止対策の一環か。	
上手にならないゴルフからGゴルフも始め当面両刀使い。大学時代の趣味の域のギターを最近は手軽なウクレレに持ち替え孤軍奮闘中!長年の米作りや毎年一年生の野菜作りも中々楽しい! 又同窓会でお会い出来ることを楽しみに……。(兵庫県朝来市)	

<b>今の気持ち</b>	
<span></span>	
<b>木村 照代(41回)</b>	<span></span>
私は第41回卒業生で、在学中は英文タイプ部に所属していました。「かっこいいな」と思ったのが入部のきっかけではありますが、同じ部活の同期生たちとタイピングに明け暮れた日々は今でも良い思い出です。	
また、昨年は大学創立90周年の記念式典に出席させていただき久々の母校に最初は少し緊張したものの、楽しい時間を過ごせ、ビンゴ大会でお酒のお土産までいただきました! そのお酒の寄付者が私の同期生であったことにも「縁」を感じずにはいられません。	
卒業して数十年平穩に過ごしていましたが、今回の寄稿依頼はまさに晴天の霹靂でした。(大学の同期生との食事に定期的に参加していますが、そのメンバーの策略ではないかと正直ちょっと疑っています。笑)こういった文章を書くのはすごく苦手で…。期限ギリギリまで頭を悩ませましたが、よい機会をいただいたと今では思っています。ありがとうございました。(大阪府大阪市)	

<b>人脈の大切さと有難味</b>	
<span></span>	
<b>吉田 青弘(42回)</b>	<span></span>
清風高校出身で経営学部卒業後(1976年)キリンビバレッジ(株)に入社、それ以降60歳定年まで勤める。その間主に自販機に携わる営業を担当しました。今年で70歳になりました。定年退職後は【川上川下ビジネスネットワーク事業】でコーディネーターを担当しています(立場的にはフリーランス)。仕事内容は信用金庫経営相談窓口から企業様の要望、案件に対応しています。販路拡大を目指すビジネスマッチング、新聞やTV取材等の支援サポートが主です。仕事先で大経同窓生に出くわす時	

で「絆」を深めることができた。久し振りに87回卒の若い会員の参加があったことは大きな成果だった。	
クラブはなくなったが、同期の仲間との交流は続いている。支部運営もつながりを大事にし、これまで以上に絆を深めていきたい。コロナも5類移行と同時に終息したかのような雰囲気はただよっている。しかし、このウイルスとの戦いはまだまだつづきそう。負けないよう頑張ろうと思う。(大分県速見郡日出町)	

<b>生きています。元気です。仕事しています。</b>	
<span></span>	
<b>佐々木 清貴(40回)</b>	<span></span>
1970年(昭和45年)春、九州・佐世保から経大入学で万博に沸く大阪に来ました。1974年卒業後、八尾市に本社がある会社に就職し、60歳の定年まで勤めました。その間、異動はもちろん、民事再生法申請、再建、合併、出向、転籍、復帰といろいろありました。その後、雇っていただける会社に勤め、健康寿命を少しでも延ばすべく、現在に至っております。	
来春で卒業50年の節目ですが、倉辻ゼミの同期、齊藤さん、飯田さんとは年に1、2度くらい会って旧交を温めています(コロナ禍の時は途切れていました)。添付の写真は、この5月に訪れた、北海道のタウシュベツ川橋梁です。崩落寸前で今のうちに是非見ておきたい、ツアーに参加しました。	
最後にこのような機会をいただきまして、厚くお礼申し上げます。来春には新学部開設と聞いております。母校・経大のますますの発展を祈念いたします。(大阪府八尾市)	

<b>母校で学んだ「宝物」</b>	
<span></span>	
<b>朝比奈 洋(40回)</b>	<span></span>
在学中は、学生運動が吹きさぶ中で、過ぎました。大樟祭・ミュージックフェスティバル(芸術会主催)等の企画、ゼミ活動(濱本ゼミ)を思い出します。	
大学で興味を持った授業は、社会科学で人間の営みを、科学的に理解していく事でした。唯物史観も、1つの方法でしたが、異なった観点より理解は、できないのか? そう思った時に出会えたのが、マックスウェーバー「宗教社会学」。なぜ資本主義は、アジアで生まれず、プロテスタントの国、英国で発展したのか? 観点をえてて社会を理解していく方法を、学んだのです。社会現象を理解する「鍵」を、手に入れた事は、私の宝物です。	
現在、息子のリハビリのサポート、ボーイスカウトの手伝い、去年より椅子バスケのボランティアを行なっています。是非、母校同窓会に足を運び、大学時代に思いをはせて後輩を励まし、大学の発展を応援しましょう。(兵庫県西宮市)	

<b>楽しい1日を過ごして</b>	
<span></span>	
<b>植村 亮介(41回)</b>	<span></span>
大阪経済大学を卒業して50年余り経過しました。その間、多くの方々と触れあってきました。「人の世の幸せ不幸せは、人と人の出会いによって決まる。良き出会いを」という言葉があるように、個人的には、家内や子供、孫たちと出会うことができ、多くの幸せを頂戴しました。さて、大学時代、体育会柔道部に所属していた私は、卒業後すぐに兵庫県柔道連盟傘下の神戸柔道協会という組織に招聘され、現在、顧問という役員をしております。先日、神戸で「自他共栄大会」を冠とした少年柔道大会がありました。子供たちは、日ごろの柔道練習の成果を出そうと一生懸命努力をしておりました。大会終了後、子供たちに表彰状を授与したとき、自他共栄大会の名称である「自他共栄」とは、簡易に言うとう「自身さえよければそれでよい」という心構えは良くない。友達たちを思いやりながら協調し、柔道の練習や学校生活において、楽しく過ごしてほしい、と子供たちに話をしました。話を終え全体をみまわしたとき、子供たちの目が喜びに輝いているように見え、子供たちの達成感を感じました。その時の、さわやかな気持ちを子供たちから受け、楽しい一日を過ごせたことに感謝をしました。有難う。(兵庫県神戸市)	

<b>友とめざした教職の道</b>	
<span></span>	
<b>加藤 進(40回)</b>	<span></span>
私が入学した昭和45年・1970年当時は大阪万博、大阪地下鉄・天六ガス爆発、三島由紀夫氏割腹自殺などがありました。経営学部入学。2年後に転部した仲間である同好会を結成しました。大学の学門、社会の出来事、人生観、今後の生き方、友情などを語り親交を深めていきました。大学祭には同好会のユニフォームを作り、ソフトボール大会に参加して記念品を頂き共に喜びを分かち合いました。こうした様々な活動を通じて絆が深まり、私たちは「教職の道を目指すことになりました。」小学校・中学校、高校の教師として、島根・岡山・兵庫・奈良の各県、大阪・京都の各府で採用されました。私は岡山県公立小学校教員として勤務、退職後は生涯学習センター、地元小学校運営委員、山田公民館職員として小学校連合運動会、夏休み学習会、盆踊り大会、ウォーキング大会、文化祭、とんど祭など保護者や地域住民が一体となり盛り上がる行事をしています。(岡山県小田郡矢掛町)	

<b>退職後の過ごし方</b>	
<span></span>	
<b>二股 成夫(40回)</b>	<span></span>
在学中は学生運動も活発に行われ、入学式も教室でクラス単位で行なわれたと思います。そんなことでパレケードスト等で講義も少なく、アルバイト、バイク旅行等自由に過ごしていた時代でした。そんな中、卒業が近づき就職試験を受け数社から内定をもらい、上場の物流会社に就職し大蔵省の通関士資格を取得し国際部に従事し、大阪通関士部会の役員としてアジア各国の税関、港、空港等に出張し良い経験をしました。退職後は学生時代と同様気の向くまま自由に趣味の登山、旅行、海釣りや日々ぶらぶらと過ごしています。又、地元の崇道神社の総代として今も従事しています。この神社は崇道天皇を奉っています。神社の境内には小野妹子の子供小野毛人の墓も発見され石碑も建立されていますので歴史の好きな方はお立ち寄り下さい。同窓皆様お仕事引退後の過ごし方を今から考えておく必要があると思います。最後に大学のさらなる発展をお祈りしています。(京都府京都市)	

<b>旅行研究会の思い出</b>	
<span></span>	
<b>中井 一夫(40回)</b>	<span></span>
卒業後、全国信用組合連合会に入会、東京、名古屋、札幌等で勤務し、現在も大阪の信用組合で監事として勤務しています。入学当時は学生運動の影響で、学舎も荒れ果て、勉学のできる環境でないことをいいことに、旅行研究会の活動に没頭していました。旅研は旅好きの集まりですが、当時流行したディスカバージャパンの旅志向でなく、ヘルマンヘッセの漂泊の旅のように、徒歩旅行、山歩き等、テントを担ぎキャンプしながら旅するのが常で、高野山から電神温泉までの徒歩旅行等懐かしい思い出です。転勤先で旧友と支部同窓会に出席したこともありますが、先日、大阪で先輩方と同期の有志の同窓会が実現しました。(筆者右下)話題は、学生時代のヒッチハイクや自転車旅行、退職後のインド縦断旅行等の話で盛り上がり、旅への変わらぬ情熱やパワーを感じ、出席者の前頭葉を刺激し合う会合となりました。(大阪府吹田市)	

<b>アフターコロナ</b>	
<span></span>	
<b>阿南 正俊(40回)</b>	<span></span>
学生時代、マンドリン学部在籍と自惚れるくらい部活に励んだ。(もちろん学業も?)その思い出深いクラブが今年廃部となった。この4年余りにわたり、当たり前前の生活を崩壊させたコロナ禍で、思うように部員が集まらず、苦渋の決断となった。何も応援することができなかった私としては、これまで努力してきた後輩諸君に敬意を払うとともに感謝を申し上げたい。	
今年6月3日、コロナ禍で中止を余儀なくされた大分支部の同窓会を開催することができた。空白の4年間で疎遠となった会員の「つながり」が維持できているか不安な要素はあった。大学本部、友好支部からの出席もあり、総勢17名	

<b>在学時代の心の映像</b>	
<span></span>	
<b>惠森 裕康(39回)</b>	<span></span>
思い起こせば半世紀が過ぎています。歩んできた人生で、大学での真の自由な学びの空気を味わったあの「季節」は、忘れることのできない美しい映像と共に残っています。	
ゼミは元濱清海(京大哲学科卒、西田・田辺哲学門下生。ヘーゲル哲学研究者)先生の「哲学」でした。テキストはドイツ語原書でやるという募集文言どおり、3回生時は「空想から科学へ」、4回生時は「ヘーゲル弁証法」。少人数で教授宅や研究室で行われ、「自立の精神」と「卒業後の月5冊の読書習慣」の薫陶を受け、司法書士や西宮市・津山市・和歌山県庁の公務員や事業経営者へと進みました。空き時間を図書館に籠もり、明治以降の文学全集読破の野心に取り掛かるも、1968年の入学生ライブはそれどころではなく、前年から全国に吹き荒れ始めた学園闘争は本学にも及び、ブンド・革マル・民青・フロント等が主導権を争い、各派政治闘争決起集会には他大学の外人部隊も結集のキャンパス。大樟の芝生の緑陰。学食の安くて旨いチャンポンそば。街灯の灯り始めた冬下校時の学友シルエット。夏暑い朝を上新庄駅から大学まで続く人波の群れ。梅田スケートリンク場での恒例の体育学外事業。学生会館講堂での全学決起集会、大学当局とのすり鉢衝突。68年6月、大学管理立法阻止で行われた教授会・学生自治会連帯のキャンパス内反対大決起集会と御堂筋デモ行進、等々どれも光眩い思い出の中に残る映像です。	
今は西宮市を定年退職し、静謐な自適の生活を過ごしております。母校大経大! 豊かで多感な「季節」を多く与えて頂きありがとうございます。(兵庫県芦屋市)	

<b>神戸で出逢おう</b>	
<span></span>	
<b>鈴木 克海(39回)</b>	<span></span>
神戸は大都市でありながら、海、山という自然が近くに有る街です。また郊外には豊かな里山、里地が広がっています。この豊かな自然環境は神戸が誇る財産です。市内には神戸港があり異国的な建物、居留地、元町中華街南京町、三宮上方面の北野坂、少し郊外塩屋地区ジェームス山等々も良い所です。なんとと言っても一番は六甲山の夜景が最高です。<日本一番>食事は米、英、仏、独、伊、中華、韓国、等々の異国豊かな料理を美味しく召し上がれます。大樟会の皆様一度神戸に来られる事をお勧めします。また、57歳以上が学ぶシルバーカレッジが充実しています。カレッジのモットー<再び学んで他のために>1,学びの喜び 2,時代の変化への対応 3,伝統の心の継承 4,社会に貢献 1学年定員440名7コースで、3年間で修業します。実は私今3年生です。神戸支部総会も居留地で開催しています。サブタイトル<神戸で出逢おう>是からも神戸支部宜しくお願いします。追記 NHK連続テレビ小説<らんまん>の植物学者、牧野富太郎が六甲山の森林植物園、六甲高山植物園にも訪問した様です。(兵庫県神戸市)	

<b>郷土史研究とマラソンを楽しんでいます!</b>	
<span></span>	
<b>太田 良一(39回)</b>	<span></span>
昭和48年3月に大学を卒業し、帰郷後、地元の旧南淡町役場に奉職、その後、平成の合併によって南あわじ市役所職員となり、去る平成23年3月に35年10カ月に及び私の公務員生活(主に、土木事業分野担当)を良き上司と同僚に恵まれ、やり切った感をもって終えることができました。	
退職後は、自分自身へのご褒美として、永年の夢であった郷土史研究とマラソンに現を抜かし、遊び楽しんでます。郷土史研究では、7人の仲間たちと立ち上げた「福良学(福良の文化や歴史などを対象とした地域学【公民館講座】)」を中心に「淡路地方史研究会」、「ふるさと探訪の集い」などに加入参加し、楽しみながら勉強をしています。令和3年10月には、現役時代の職場経験を活かし、福良学の仲間たちと現役市役所職員の協力を得て、「福良を襲った昭和南海地震による津波の様子が、今明らか!〜市役所防災担当職員と福良学との連携調査レポート」をまとめ、福良地区自治会に提出することができました。	
マラソンについては、現役時代の35才頃から始めていたのですが、退職後も気分転換と体力維持を兼ねて、夕方の時間帯に1時間程度、仲間たちとしゃべりながらのゆっくり走を楽しみ、年に数回程度ですが、兵庫県内や徳島・香川県内の大会出場を楽しんでいます。(兵庫県南あわじ市)	



<b>我が青春の一ページ ～ユースの時代</b>	<b>山脇 和彦(45回)</b>
<span></span>	<span></span>
昭和50年4月、山陽電車高砂駅から電車に乗り降り立ったのが上新庄駅。あれから約半世紀。大学はまず友人を作らないといけないと思いユースホステルクラブに入部。D館に部屋があり授業がないときは立ち寄り、前の広場で三角ベース。1回生の頃は、学生運動活発でテストはレポート提出。国鉄ストもあり授業はよく休講(学内掲示板で確認)になっていた。YHCといっても旅行クラブではなく、近郊の山を登りキャンピング講習をして登山の知識を身に付けていた。関西女子大との合ハイもあったが、夏・春合宿では東北・信州・四国の山に磁石・登山地図・米・テントなど20kgのキスリングを背負いひたすら頂上を目指す。今となってはよき青春の思い出である。今も同期生と年一回旅行を続けており、当時の思い出を語り合っている。現在も退職後、介護施設で働き利用者様と楽しいひと時を過ごし、地元では農事部長・民生委員と多忙な日々を送っています。	

<b>不孝者</b>	<b>川勝 敏之(45回)</b>
<span></span>	<span></span>
経営学部を卒業後、インテリア関連の会社に就職をいたしました。現在もその会社で勤務して、すでに44年目になります。 <p>在学中は、教職を目指し、当時設置されていた教職特別講義にも参加をしていましたが、結果教職にはつけず、現在の中小企業へ就職をいたしました。在学中は、近藤秀麿先生や、教務部の米田課長様に随分お世話になりました。就職して7年目の頃、その当時の仕事にやりがいを感じる事が出来ず、悩んでいたところでした。仕事の途中、気が付けば大学の事務所棟に居ました。その時に、米田課長様から、突然声をかけられ、事務所の中に迎え入れられてお茶をいただき、話を聞いていただきました。私を良く覚えていただいていたものだとの驚きと共に、悩み迷い込んだことも、すでに悟られていました。話を聞いていただき、「今日は天気もいいから淀川でも散歩してきなさい」というような言葉をいただいたことを覚えています。</p> <p>当時の不熟な私には、本当に大切な1日の出来事でした。その後、そのご恩を忘れて永く社員勤めをしてきました。その時のお礼を申し上げることなく、本当に不幸者だとときずかされる今日このごろです。</p>	

<b>5人の旅行が年中行事に！</b>	<b>豊田 項吉(45回)</b>
<span></span>	<span></span>
経大を卒業して40有余年。月日の経つのは早いものです。卒業後入社した会社も2年ほど前、病気をすることもなく、無事定年退職できたことを大変嬉しく思っております。感謝!! 退職する3年ほど前から、経大の同期5人と旅行するようになった。最近は年2～3回が恒例となっている。旅行するきっかけになったのは、卒業後、年賀状だけの付き合いだった1人からの突然の電話であった。「岐阜に旅行するからランチでもしよう」だった。なんと、ほぼ40年ぶりの再会である。翌年から2～3泊での5人の旅行になっていた。メンバーは大阪2人、富山1人、東京1人、そして岐阜の私である。今では情報交換の場にもなっている。お勧めの本・観光地・株式等、ここでの話題が大いに参考になっている。帰るころには、次回の旅行先がほぼ決まっているのが最近の定番である。	

<b>公務員退職後、同窓会支部事務局長として活動</b>	<b>岸上 芳夫(46回)</b>
<span></span>	<span></span>
こんにちは、大樟会箕面・豊能支部事務局長の岸上です。私は昭和55年3月(46回)に卒業し、そのまま38年間地方公務員として勤め、退職後は地域のお手伝いや趣味、同窓会支部事務に追われ、忙しい毎日を送っています。私と同窓会との出会いは、平成24年に51番目の支部として箕面・豊能支部が設立され、その後支部総会の案内を頂くようになり、当時の支部役員の方から支部運営のお手伝いをしてほしいと依頼され、引き受けたのが始まりでした。令和2年から丸3年間は新型コロナウイルスの影響で支部活動が制限され、やっと令和5年の5月から従前の活動が再開されるようになりましたので、支部行事	

<span></span>	
平成の阪神淡路大震災で家族の絆を、令和のコロナ禍で孫達を心配し、次は何が起きるのやら？ 高齢社会の只中でいずれにしても伴侶との時間がどこまで続けられるのかな？と。	
小市民のささやかな暮らしの安心・安全が保っていけるような世の中でありますよう、現役大学から創発の次代を担う人材輩出を期待しております。	
	(兵庫県神戸市)

<b>創立百周年までは走りたい</b>	<b>沓拔 正夫(44回)</b>
<span></span>	<span></span>
大経大を卒業して45年が過ぎ、今は定年再雇用で短時間勤務をしています。定年間際の58歳でジョギングを始め、大阪マラソンのほか泉州、神戸など近隣の大会だけでなく足を伸ばして徳島、岡山、防府(64歳のとき3h32m57sの自己最高)、北九州、佐賀、金沢、長野、札幌、函館など各地のフルマラソン大会を23回完走しました。100kmのウルトラマラソンにも挑戦し、62歳で「サロマ湖」、63歳で「四万十川」(10h49m7s)、66歳で「柴又」を完走しました。しかし妻からは「体に良くないのでウルトラはもうやめて」と言われています。自分でも何でもこんなしんどいことを…と思うことはありますが、このあとは富山、松阪、初開催の福井にエントリーしています。完走後、ガチランの余韻にひたりながら、その土地のおいしい肴でお酒を楽しむ時間が何とも贅沢で、走る力になっているようです。少くとも創立百周年にあたる77歳までフルマラソンを走るのが当面の目標です。	

<b>幅広い年齢層と、支部活動に参加</b>	<b>西野 博子(44回)</b>
<span></span>	<span></span>
十数年前、「英文タイプ部」の同窓会に参加したことを澱江へ投稿しました。恐らくそれがきっかけか？ 同窓会の北大阪支部立ち上げメンバーに誘われて以来、会計の役を引き受け、13回目の支部総会を終えました。在学当時、女子学生の少ない時代でしたが、それでもいまだに連絡を取り合ったり、ランチをしたりと交流は続いています。夫もやはり経大卒で、学生当時に知り合ったのが縁でした。そして今も経大の近くで仕事をさせて頂いて、どんどん立派になっていく母校を見上げながら、誇らしく思っています。わが支部は、学生当時は一緒だった訳でもない年齢幅のある、しかしなぜか懐かしく笑い合えるメンバーと、ある時はパークゴルフに、またハイキングにと楽しく活動をしています。昨年は支部長宅に呼んでいただいて、ガレージでBBQをさせて頂きました。これからも同窓会活動を通して大学に関わっていきたいと思っております。	
	(大阪府茨木市)

<b>近況</b>	<b>山崎 繁己(44回)</b>
<span></span>	<span></span>
経済学部二部の入学が決まり、昼間の勤務先は電線ケーブルの卸商社で、大阪が本社で、札幌・東京・福岡に支店があり100人弱の会社でした。大学4年時に新たな会社へ就職と思ってましたが留年となった事もありそのまま継続し、何と定年後の67才まで49年間もの長きにわたりお世話になりそれこそ終身雇用のサラリーマン人生でした。創業者・2代目・3代目社長に仕え、総務・経理・財務を担当し、49才より役員にもなりました。今は、体調管理や社会との接点として週休3日制程度のノルマの無いパート勤務をしています。現役時代の車通勤から地下鉄通勤となり、体重も10kg痩せて10年来のメタボが解消され、元気一杯に仕事に、ゴルフに、友人と生涯青春を謳歌しようと頑張っております。現在大阪市住吉支部の会計部長として、大樟会及び母校の充実・発展を願いメンバーの皆さんと楽しく活動しております。	
	(大阪府大阪市)

<span></span>	
入社時は赤字会社でありましたが、三本柱である塩ビ・シリコン・半導体シリコンの拡販で大きく成長し優良会社と言われるまでになりました。令和5年1月96歳で逝去しました信越化学工業「中興の祖」金川千尋会長は旧制六高の卒業生であり、その手記には黒正巖先生は我が恩師であると記載しており、ちょっとした繋がりを感じております。縁あってと書きましたが、中途採用の面接時に趣味は何かと聞かれ「ボディビル」ですと返答したところそれが決め手となり採用したそうです。芸は身を助くと言ったところでしょうか。採用後、大阪支店、広島営業所、福岡支店を渡り歩き65歳(平成30年)で退職しました。現在は、20歳から始めたウェイトトレーニングで汗を流すのが日課であり、これからも大いに健康寿命を延ばしたいと思っております。	
	(兵庫県神戸市)

<b>恍惚の爺の近況報告に代えて(近況は澱江57号をご参照)</b>	<b>今村 武司(43回)</b>
<span></span>	<span></span>
AI様のご託宣をお伝え致します。CHAT GTPIに聞いてみました。「大阪経済大学の将来性は？ 300字以内」 <p>「大阪経済大学は経済学や経営学を得意とする私立大学であり、産学連携や地域との強い連携が特徴です。将来性については、その学問分野の専門性や地域との密接な関係が強みとなり、経済やビジネスの変化に対応できる人材を育成することが期待されます。グローバル化が進む中、国際交流プログラムや留学制度を強化し、国際的な視点を持つ人材を育成することも大きなポイントです。また、教育環境の整備や学生支援体制の充実により、学生の学びや研究環境が向上し、より多様な学生が学びたいと思う環境が整備されています。これらの取り組みによって、大阪経済大学は将来的にも高い教育・研究水準を維持し、社会への貢献を拡大し、輝かしい未来を築くことが期待されます。」</p> <p>当たり障りのない、しかし将来について抑えておくべき点は網羅しているような気がする御託宣です。おりしも国際共創学部が新設されるとのこと。</p> <p>フー！ フー！ 大・経・大！！ 万丈気を吐く大経大であらんことを！！</p>	
	(大阪府池田市)

<b>今年古希を迎えます</b>	<b>森 直彦(43回)</b>
<span></span>	<span></span>
卒業から約半世紀が過ぎ、時の流れの早さに驚いております。近況としては現在97才となる母親の老老介護をしながらシニアライフをエンジョイしています。還暦前には大病を患った事もあり、朝夕合わせて1万3千歩の愛犬との散歩が私の健康法で毎日の日課となっています。すでに退職して数年経ちますが在職中出張で東京方面から帰る新幹線の中で「まもなく新大阪」とのアナウンスがあると同時に左車窓に映る大阪経済大学校舎に思いを馳せるものはあるものの、母校との接点はないままでした。しかし最近は何う機会もあり、特にびっくりする事は当然でありますが校舎がとも立派になったことと、学校周辺上新庄の町並が当時とは変わり綺麗になったことです。大学生時代に立ち寄った店が無くなっているのは寂しい限りですが、青春を過ごした町また進化している町大阪経済大学大隅界限を、同窓生の皆さん、探索しに来ては如何でしょうか。	
	(大阪府大阪市)

<b>一市民の回想</b>	<b>藤山 重正(43回)</b>
<span></span>	<span></span>
大学卒業後、金融機関に就職して定年・囁託を終えて、65歳から県立の職業訓練校に勤務しており、今年古希を迎えます。在学中は「元気な団塊世代」の後の三無主義(学園紛争残り火)世代とも言われ、閉塞感漂う世相(松原和ゼミの景気循環論に学ぶ)に何をしても中途半端な感があり、唯一交友関係だけで通学していたように思います。その仲間も今は他界・音信不通・賀状交換のみ・地方で営む焼鳥屋に数年に一度訪ねるなど、交友人生模様もいろいろに。	

<span></span>	
も有り嬉しく感じます。時々活きのよい若手経営者から元気を頂くことも有ります。それ以外にも、NPO法人理事、母校清風高校同窓会の役員も兼任しています。私は自分のキャリアを通して、人脈の大切さと有難味を痛感しています。これからも大学大樟会、支部総会にも出来る限り出席する予定です。OB、OGの皆様、これからも“健康第一”で頑張っていきましょう！！	
	(奈良県北葛城郡王寺町)

<b>人生下り坂 最高！</b>	<b>小野 隆(42回)</b>
<span></span>	<span></span>
昨年、人生の節目である古希を迎えた。父が56歳の若さで亡くなったので、まさか父より13年も長生き出来るとは思ってもいなかった。ここまで生きられたら日本男性の平均寿命の81歳まで健康で生きて、地域社会に少しでも貢献出来ればと考えている昨今である。さて、大阪経済大学を卒業してから地方公務員→宗教法人職員→社会福祉法人職員→公益財団法人職員と46年間、いろいろな仕事を経験したが、我ながらよく働いたなと思う。一昨年の3月に仕事をリタイアし、現在は妻と一緒に2人の孫の面倒をみながら、友人や知人とゴルフに行ったり、釣りが趣味の弟と瀬戸内海の粟島周辺や日本海の丹後半島(伊根町)付近で船釣りを楽しんでいる。その他、ガーデニング、自宅前の畑で自家野菜の栽培、ソフトバレーボールの練習等、日々、充実した毎日を過ごしている。タレントの火野正平さんではないが、一人生下り坂 最高！ー	

<b>古希の誕生日を迎えて</b>	<b>川畑 憲彦(42回)</b>
<span></span>	<span></span>
私が幼い頃、70歳と聞くとずいぶんお爺さんだなぁ～と思っていましたが、遂にその年齢となってしまいました。これからの人生、健康で楽しく過ごせる様、とにかく身体を動かそうと、朝はウォーキング、午後はゴルフ練習場で打ちっぱなし、そしてゴルフラウンドも月2回は行きたいなぁとドライバーを振り回しても飛距離150ヤード(トホホ)。	
ところで大樟会福井支部のメンバーで3月～11月の間で奇数月の木曜日(年5回)オークスコンペを開催しています。9月に日本女子プロ選手権が開催される芦原ゴルフクラブ(海コース)で7月20日に10名のメンバーでオークスコンペを行ないました。案の定スコアはメロメロ…昔の栄光ははずこ(涙)。まあ健康ゴルフでいいかと慰めています。さあ、次回9月のオークス会ゴルフコンペに向けて練習に行って来まぁ～す。	
	(福井県福井市)

<b>人とつながりを大切に</b>	<b>佐藤 博(42回)</b>
<span></span>	<span></span>
昨年古希を迎えた。心身ともに元気である。60歳定年後、教育相談の仕事も10年間勤め、この春からフリーになった。家事もいくつかが覚え、孫との楽しい時間を過ごすことも大好きである。何より、今までの人生で出会った方たちとのつながりを大切にしている。大学時代の友とも親交を深め、今年の秋も3人で旅行を計画している。元教員の仲間とも飲み会やゴルフコンペを楽しんでいる。飲みながら大いに話が盛り上がるも話題が落ち着いたのはいつも子どもたちの話。何より印象的なのが、初めて参加させて頂いた大樟会。参加したその日に、参加者全員が役員になった。この日が、住吉支部がスタートの日だ。初めて知り合った仲間だったがすぐに打ち解けた。人を信頼することで人から信頼されることを学んだ。人のためという利他の行動が喜びの源になることも学んだ。これからも人とのつながりを大いに広げていきたい。	
	(大阪府大阪市)

<b>芸は身を助く</b>	<b>青木 孝文(43回)</b>
<span></span>	<span></span>
昭和52年に卒業後大阪の繊維会社に就職しましたが、昭和56年に縁あって信越化学工業へ中途採用になり、以降シリコンの販売に従事することとなり	



へより多くの会員がご参加されることを願っています。

事務局長として従事させていただいている間、支部会員の方々、大樽会本部や大阪府・兵庫県下の支部の方々と交流を持たせていただくことができ、大学卒業時には想像もつかなかった経験が出来ました。まさに「つながる力」を実感しています。今後ともよろしく願いいたします。
（大阪府箕面市）

<b>やってやれないことはない</b>	
<span></span>	
<b>中川 雅則(46回)</b>	<span></span>
今年65歳になりました。前期高齢者です(笑)。大経大を卒業後サラリーマンを経験して後独立しました。若い頃は営業を中心にけっこう仕事をしました(?)。60歳過ぎに同窓会である「大樽会」へ初参加しました。最初はどきどきでしたが支部長様達に温かく迎えられて楽しく年間の行事に参加させてもらってます。その頃にピアノを習い始めました。又家内と老後を楽しむために神戸旧居留地に狭いながらも小さな別宅をもうけることが出来ました。子供達家族や孫も遊びに来てくれます。神戸にはいたる所に街ピアノが有り週末には神戸へ出かけてたまに拙いピアノ演奏をしております。今ではショパンなど数曲を暗譜で弾くことが出来るようになりました。けっして上手くはないですが素人として日々楽しみながら練習しております。『やってやれないことはない』『やらず』にできるわけがない』このことばを噛み締めて何か新しいことにチャレンジする気持ちを大切に日々過ごしております〜♪♪ <span>（大阪府大阪市）</span>	

<b>都会から高知に移住してみて</b>	
<span></span>	
<b>岡田 真路(46回)</b>	<span></span>
卒業後、住宅設備機器メーカーに就職し転動で各地の夏祭りを体感できました。博多どんたく・祇園山笠の壮大さ、沖縄エイサー祭の伝統芸能に触れ合えた事などが印象的で特に感動しました。60歳の定年退職を機に、家内の出身地である高知へ神戸から移住しました。過去によさこい祭を観て感激した事もさることながら自然豊かな高知に関心もありました。ただ四国は赴任した事はなく、誰一人として知り合いのいない土地への移住でした。大樽会の存在は知っていたものの一度もコンタクトを取った事の無い私は、高知支部へ連絡してみた所、直近が支部総会の日程で招待され会場にて県外からの移住者OBとしてあたたかく迎えられました。世代の異なる大経大OBの方々を知り合え親睦も深まり、ゴルフや旅行等、高知での新生活を満喫できる様になりました。大樽会は人と人を繋ぐ意義ある組織と痛感しました。 <span>（高知県高知市）</span>	

<b>仕事と支部活動と陸上競技と</b>	
<span></span>	
<b>長崎 諭(47回)</b>	<span></span>
私は昭和56年に卒業、滋賀相互銀行に入行、令和1年10月関西みらい銀行を退職しました。銀行は二回の合併がありましたが、38年7ヶ月も一つの銀行に勤められたことは人生を歩むうえでの自信となっています。銀行退職後、令和2年3月から地元の社会福祉法人美輪湖の家(障害者福祉事業所)おおきな木に事務職員として勤めています。入職後に分かったことですが、経大37回卒の先輩がこの法人の監事の重責を担っておられます。銀行時代も、今の職場でも経大卒が居られることをうれしく思っています。現在の私の公職は大樽会滋賀支部幹事、東近江市陸上競技協会理事をさせてもらっています。「経大大好き人間」「陸上競技バカ」の私は、去る6月11日全日本大学駅伝関西西学連選考会に応援に行きました。母校は見事、二年連続トップで本選出場となり、こんなうれしいことはありません。出雲駅伝、全日本大学駅伝での活躍と、箱根駅伝予選会での健闘を祈ります。もう一つ経大について誇りに思うことは、「ZEMI－1グランプリ」が開催され、学生諸君がゼミでの成果をプレゼンされていることです。経大のゼミは高等商業学校の時代からカリキュラムにあったと聞いています。伝統のある学びの場であります。経大ゼミの益々の発展を祈ります。 <span>（滋賀県東近江市）</span>	

<b>第2の人生も、頑張るでー！</b>	
<span></span>	
<b>長谷中 英昭(47回)</b>	<span></span>
本年1月に自治会長を拝命し、少子高齢化をはじめ様々な課題に直面しています。20年ほど前に婦人会、そして、2年前に子供会もなくなり、地域の団体が消えていく中で、自治会の基盤を揺るぎないものとする為に、役員さんの力を借りながら取り組んでいます。役員の中には、幼馴染や秋祭りの太鼓の教え子たち、消防団時代に苦楽を共にした後輩たちがいて、とても心強い仲間です。高齢化による隣保長辞退の問題、少子化による秋祭りの人集めの問題などは、発想の転換が必要で根本的に変革しなければならない課題です。しかし、時間をかける余裕はありません。走りながら考えているというのが現状です。役員さんや自治会員さんの有志の方々の助けを頂きながら進めています。「楽しい自治会活動」を合言葉に、笑顔で取り組んでいきます。過渡期に会長になったことをご縁と思い、持続可能な団体にすべく頑張ります。 <span>（兵庫県明石市）</span>	

<b>素晴らしき仲間たち</b>	
<span></span>	
<b>岡田 信吾(48回)</b>	<span></span>
同級生からバイト仲間へ輪が広がり、一生付き合っていこうぜと大学卒業間際に6人で結成した阪急服部駅(現服部天神駅)を根城にしたチーム「服部コンプレックス」。2022年に結成40年を迎え、6人で楽しむアニバーサリー企画を実行した。直前に親の介護で1人不参加になったのは残念だったが、30周年では、四天王寺から始まる大阪七福神巡りとプロカメラマンによる6人の記念撮影を企画したので、40周年では、大阪再発見として「落語家と行くなほ探検クルーズ」に乗船し、その模様をプロカメラマンに動画撮影を依頼。その夜は当然宴会で、学生時代から通う服部の居酒屋へ。通い始めたころはスナックだったが、今は老夫婦で営む酒と肴の旨いお店で、全員いまだに「君」付けで呼ばれるのが、なんとも心地よく、昔話に花が咲いた。次は50周年、いつもの店はないかも知れないが、気軽に「おまえ」と呼べる仲間と酒を酌み交わし、語り合いたい。 <span>（大阪府箕面市）</span>	

<b>大阪経済大学を卒業してよかった！</b>	
<span></span>	
<b>峯川 秀之(48回)</b>	<span></span>
1979年三菱銀行北畠事件をテレビで見ながら試験勉強中、母に警官になると言ったら学費止めると言われ、銀行に内定したときは喜んでくれたのを今でも不思議に思い出す。1982年幸福相互銀行入行。八尾・奈良・東京・若江岩田支店に勤務。幸福銀行大樽会発足会では、先輩後輩の数の多さにびっくりした。それまで同期だけの横の繋がりが、縦にも伸び、小さい大学が大きく見えたのを実感した。1999年破綻し、空調機器卸売業の東大阪市にある(株)カナオカ機材で定年まで勤務。この会社のトップの人脈により三菱銀行事件で大阪府警SATとして活躍された佐藤素心先生と運命的な出会いをする。定年後は、公務を経験したかったので、大阪中河内府税事務所、大阪国税局、奈良県庁、東大阪税務署に会計年度任用職員として勤務。現在は東洋テックビルサービス(株)所属で奈良県平群町総合文化センターに夜間警備員として勤務。今年の目標は行政書士試験に合格すること。受験会場はもちろん大経大。目に見え残っているのは、大槻ゼミでの卒論、卒業証書、アルバム、大月書店発行の資本論だが、世の中に出て在学時代身に付けた簿記の技能と大経大を卒業したことは一生の財産とこの原稿を書きながらつくづく思った。長男も大経大を卒業し平群町役場就職。一刻も早く結婚し、健康な体で孫を連れ鉄道旅行をするのが夢だ。 <span>（奈良県生駒郡平群町）</span>	

<b>齢65歳</b>	
<span></span>	
<b>作見 嘉一郎(48回)</b>	<span></span>
経大を卒業してはや40年以上も経ってしまいました。今年5月で65歳となり、一般的には職業人としての人生は一区切りとして第二の人生を模索する年齢になりました。しかし会社経営をする身にとって、リタイアはまだしばらく先のことのようにです。公的な役職はほとんど引退し	

少し余裕ができたので、週に3回程度、早朝仕事前のジム通い、プロによるゴルフレッスンなどで健康維持を心がけています。また最近介護保険被保険者証が送られて来たのにはびっくりし、これはある意味老人認定だと思いつつも、まだ瑞々しい感性を持ち新しいことに挑戦する気力、体力を持ってもう少しがんばっていこうとおもいます。御同輩の皆さん、おけ込まずに頑張ってくださいませよ。（熊本県玉名市）

<b>学業と社会貢献の二足の草鞋生活</b>	
<span></span>	
<b>野村 和男(49回)</b>	<span></span>
一旦、大学を卒業しますと、学習からは遠のく。在宅介護を始めてから、生涯学習(リカレント教育)兼介護疲労回復に通信制放送大学に籍をおく。[心理と教育]で学部公認心理師経過措置科目単位修得後、令和3年3月卒業。[人間と文化]を、令和5年3月卒業。同年4月から、[自然と環境]に在籍。国家資格公認心理師受験資格を得たい為に、第1種大学院進学先模索中。同時並行で、令和5年度では社会貢献と思っている介護サービス相談員(高齢介護課)統計調査員(総務部)わがまちパートナー(都市魅力課)、酒類販売管理協力員(国税庁)、社会福祉協議会いっづく協力会員、大阪いずみ市民生協内産直委員会委員を委嘱。いずれも単発活動。街の本屋さん曰く、「人生には、①学業(知識吸収)②仕事(社会還元)③社会貢献(社会奉仕)で終焉を迎える。」と語っていた。④趣味(一人旅)は、越境面接授業を兼ねて息抜き。①と③で、学割を使いながら我が人生を謳歌しています。 <span>（大阪府富田林市）</span>	

<b>第二の人生ボランティア</b>	
<span></span>	
<b>森村 信治(49回)</b>	<span></span>
私がボランティアに関わるようになってから35年が過ぎようとしています。当初はそんなに長く続くとは思っていませんでした。長く続いた理由はボランティアを始めた時に先輩から掛けられた次の言葉です。「情けは人のためならず」という諺は実は続きがある、それは「自分のため」や。だから人に情けを掛けるとそれに甘えてその人がダメになるから人に情けをかけてはいけない、ではなく「人に情けを掛ける」「助けてあげなさい」それは巡り巡って自分に返ってくるから。休日にボランティアに従事する、時には辛いときもあるかもしれないがその努力を温かく見守ってくれている人は必ずいる。そんな人はあなたが苦しい時には必ず救いの手を差し伸べてくれるから自信と誇りを持ってボランティアに励んで下さい。その言葉があったからこそボランティアを続けてこられたと思っています。ボランティアを始めるのに早い遅いはありません、皆さんもボランティアにチャレンジしてみませんか。 <span>（大阪府大阪市）</span>	

<b>定年を迎えて</b>	
<span></span>	
<b>柴田 正明(50回)</b>	<span></span>
私は昭和59年3月に経営学部経営学科を卒業致しました。ゼミは中国経済論山本恒人名誉教授の2期生でした。卒業旅行は未だ中国赤派が機関銃を携帯し、資本主義の書籍を回収するという隔世の感ひとしお時代で返還前の香港から九龍鉄道で入国しました。未だオ二次世界大戦の反日思想が目に現れていた事を痛切に記憶しています。現在の日中関係とはまた異質の反日感情でありました。旧大阪市信用金庫にパブル前に入庫して2回の大きな合併を経験し、ペーソスも経験しました。定年を前に大病を経験し、あと5年延長することも大事をとって円満退庫致しました。監査部長を2回、コンプライアンス部、審査部副部長を2回、管理部長、資産査定室長を各1回、最後は監査部副部長で終え、その間桃谷駅前、吉田駅前、西、加島、たつみ各支店をも経験し、幸せな金庫生活でした。二男は、大阪府警西成署地域課、直轄警察隊、現在は刑事課で日々修行中です。 <span>（大阪府八尾市）</span>	

<b>元気です！</b>	
<span></span>	
<b>河本 陽介(51回)</b>	<span></span>
卒業して早38年。あっという間に2年前に還暦を迎えました。経営学部在籍、ゼミは大槻弘先生でした。部活は4年間簿記会計研究部に属していました。当時は文化部でも上下関係が厳しく部活動も絶対参加というガチなクラブでした。	

<b>新北から南から</b>	
<span></span>	
<b>野村 和男(49回)</b>	<span></span>
卒業後は、2、3社転職しましたが、九州から北海道迄転勤を経験し、現在の仕事のある静岡に定住しています。静岡には、前職の会社を含めて29年になります。私生活では、6年前に家内を亡くし、息子と愛猫2匹と楽しく暮らしています。健康面では、週末ソフトテニスをクラブチームに入って汗を流しています。20年程続けて、試合も出たりしていますが、健康増進が一番と心がけています。後は野球観戦も好きで、にわか楽天イーグルスファンです。一回限りの人生、楽しく過ごしたいと思います。目指せ100歳！ <span>（静岡県静岡市）</span>	

<b>倅の就職</b>	
<span></span>	
<b>藤田 一郎(57回)</b>	<span></span>
拜啓 皆様お変わりございませんか？私は小学生の頃から「将来は新幹線の運転士になる!」と決め、高校卒業後は国鉄へ就職するつもりでした。ところが分割民営化の影響で新規の採用は見送られ、大学へ進学して、JRに就職するつもりでした。結局JRの社員になることはなく、今に至っています。もともと鉄道には興味が有り倅とよく鉄道で旅行をしました。その倅は鉄道を愛し、夢を追い、今年JR北海道に就職しました。私は彼の将来について特に助言せず、倅は自分の意志で進路を決めました。夢を追い求め、現実にした息子を誇りに思います。2030年に北海道新幹線は札幌へ延伸されます。いつの日か、北海道新幹線の運転席に倅の姿があるならば、息子の運転する一番列車の最前列席に座って、祝杯をあげたいと思っています。 敬具 <span>（三重県松阪市）</span>	

<b>被爆地広島から平和を願って</b>	
<span></span>	
<b>飯田 徹(57回)</b>	<span></span>
G7広島サミットが2023年5月19日から21日まで開催された。サミット期間前から日本全国の警察官が配置され、普段お目にかかれないう都道府県のパトカーが行き交っていた。サミット期間前後は、県民の日常生活に影響を及ぼし、広島市内を中心とした交通量は半減、人も3割減となった。原爆資料館を訪れたG7広島サミットの首脳たちは、被爆資料を見学し、被爆者から被爆体験を聞いた後、芳名録にメッセージを書いた。言語や表現は違うが、被爆地広島で核廃絶を誓い合ったと信じてやまない。私は、毎年広島と長崎の原爆投下時刻に合わせ、平和への祈りを込めて黙祷を捧げている。また、8月6日のとうろう流しボランティアは、コロナ前まで十数年活動をさせてもらった。今後も被爆地広島から核廃絶と平和を願う祈りを捧げていきたい。 <span>（広島県広島市）</span>	

<b>コロナ禍で見た感謝の心</b>	
<span></span>	
<b>郡 正樹(60回)</b>	<span></span>
世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスは、マスクを外すことで落ち着きを見せている。コロナ禍で仕事が激減しお家時間が私は自分自身を振り返り見つめ直す時間が増えた。「まずこの先、私は、いったいどうなるのだから?」と。自身の仕事を振り返ると私は卒業後、東証一部上場企業の「立花エレテック」という商社に入社した。素晴らしい上司(同じ大学の先輩)、そして先輩、同僚にめぐまれ4年半の間営業として社会人としてのありかた、仕事全般のスキル、そして人間関係を学んだ。その後、色々な事情があって、京都にある父のアサヒ宣伝(株)という広告代理店を引き続き今に至っている。コロナの中で激減した仕事を立て直していけない中で私はもがき苦しんだ。その中で一筋の光となって心を支えてくれたのは会社の先輩の言葉だった。その言葉は「営業は個人商店の集まりだから売上(利益)が全て、会社は利益がなければつぶれてしまう。だから電球ひとつでもお客様が欲しいといえれば要望に応えなさい」だった。この言葉はずっと私の心に強く残っていた。コロナ禍でダメージを受けた中で売る商品は変われども、お客様に寄り添った気持ちは変わらないのだということ思い出したとき、自然ともう一度頑張ろうと立ちあがろうと	



思った、そのとき感じたことは、「感謝」だった。

改めて、私を育ててくれた人達、そして今、私に関わってくださっている人達そしてパトンのように引き続いていく言葉という人の絆に感謝の気持ちを持たずにはいられない。  
(京都府八幡市)

新しいスタート

安坂 雄大(85回)



2019年に大阪経済大学を卒業し、2023年7月から法律関係の職場で新しいスタートを切りました。現在の職場に入局し、まだ日は浅いですが、これから頑張っていく次第です。私が現在働いているのは中之島エリアであり、水都大阪と聞くと最初にイメージされる場所かもしれません。すぐ近くには大阪地裁や大阪証券取引所、中之島公園、中央公会堂、大阪市役所等、大阪を代表する施設が多数ございます。平日でも中之島公園を眺めると観光客が多くいらっしゃいます。

さて、私もいわゆる転職を何度かしておりますが、最近、大学の同級生、先輩の話を知っていると、転職するのが当たり前の世の中になっていると感じます。転職をするということは一つの大きな決断をすることになります。私も転職する際は悩むこともありましたが、結果的にはその選択をしたことに後悔はしていません。これからの人生も後悔ないように日々を過ごしていきたいと思えます。  
(大阪府大阪市)

アジアからの留学生と共に学ぶ

森 義晴(77回・大学院修了)

①勤労学生時代(高校)昼間正社員。夜高校生。簿記日商2級取得。大学受験、教員試験、中小企業診断士等で後々生きて来る。

②大学時代も勤労学生。小学校宿直アルバイト。夜寝て収入あり。夜は職員

室で勉強。学生運動興味なし。夏休みは「資本論」読破。

③高校教員時代。簿記人気。会計ソフト出現で頓挫。教科情報に乗り換え。診断士取得。陸上部顧問、インターハイへ。放送大学修士。大経大博士取得し、高校退職。日本語教師へ。



④日本語学校と専門学校非常勤を経て、現在73歳で日本語学校校長。専門学校非常勤継続。マーケティングを教える。校長職はマナーの講義。更に日本語学校希望生の出願書類を入管への提出事務も担当。ベトナム・ネパール生の日本留学への熱き想いをベトナム語・英語翻訳で読んで感動している。あこがれの日本へ寄せる志を大切にしたい。昔の小生の大阪時代を思い出させる。今は留学生達の行動が過去の私と二重写しになっている。  
(兵庫県宝塚市)

知行合一

堀江 悟(85回・大学院修了)

最近特に体を動かすことに意識している。今年1月に大阪ハーフマラソンに参加、2月に大阪マラソン、3月に飛鳥ハーフマラソン、北海道テニススキー、週一のゴルフラウンド、太極拳にボクシング、サーフィン、卓球、毎朝ジムで筋トレ、いつもどこかが筋肉痛だ。体を動かせば動かすほど頭がシャープになっていくのを実感する。汗をかけばかくほど幸福感が満たされていく。生きてる実感を感じる。今年63才。選歴の時に記念に本を出版した。題名は「筆界確定の法的性質と判断のメルクマール」。アマゾン法律部門4位になった。当時運動不足の為、頭のキレが悪かったが今また本を書くとしたらより質の高い本が書けると思う。だから体を動かす。これからは徹底的に。生涯現役を目指しているので体を動かして続ける。又その場その場のコミュニティがありつながらんことをすごく感じる。まさに大経大のつながる力の実践だ。知行合一「知」学ぶこと「行」実践すること。ふたつがひとつになった時、真の大経大の学びを実感する今日頃だ。  
(大阪府大阪市)

書籍紹介

「中島貞夫監督 映画人生60年を語る」

中島貞夫 大森俊次 共著



かもがわ出版、定価2,000円(税別)

本誌連載「母校周辺思い出散歩」の執筆者、大森俊次氏(注1)が中島貞夫監督(注2)との共著を出版されました。監督と20年来の親交がある作者が、ご自宅に100回近く通われ聞き書きされました。

映画史にひとつの金字塔を打ち立てたような素晴らしい一冊で、独特のノスタルジックなスケッチと軽快な文章が醸し出す大森ワールド満載の作品です。

ただ、残念ながら監督は完成直前の6月11日にご逝去されました。大森氏はあとがきに「完成した本書をご覧いただけないまま冥界へ旅立たれてしまったことがひたすら無念であり、悔恨の思いでいっぱいです」と綴られています。

(広報部部長・田中伸治)

注1)本学40回卒、スケッチエッセイスト。他の著書に「スケッチブックの向こうに 僕の旅エッセイ」、「中島貞夫監督と歩く京都シネマスケッチ紀行」、「京都スケッチ帖 郷愁の風景のなかで」等

注2)1959年東映に入社。マキノ雅弘、沢島忠、今井正ら名監督の助監督を務める。「あゝ同期の桜」、「木枯し紋次郎」、「序の舞」、「極道の妻たち」など63本の映画を監督。



中島監督



大森さん

66 大阪経済大学 100%出資会社

経大サービスからのお知らせ INFORMATION 99

大経大オリジナルシルクネクタイ



ボールペン

シャープペン

オリジナルグッズ



UVカット

縦寸 53cm

晴雨兼用折りたたみ傘

各50本限定にゃ!



大経大オリジナルサーモボトル



受注清算

外箱にも個包装にもはてにゃんが入ってるにゃ!

受注清算



ぬいぐるみ



ムレスナティー

お申込方法

他のグッズやお申込み方法は経大サービスWEBページから <http://www.keidais.jp/goods.html> 返礼品や手土産にぜひ!



はてにゃん。だっくわーず

はてにゃん。瓦せんべい

はてにゃん。は大阪経済大学の公式マスコットキャラクターにゃん。

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

在学生向けにアルバイトの募集をしませんか?

- 学内ポスターや手元に届く LINE 配信ができる
- 学生に密着したサービスを展開

資料請求



在学生 1000名以上登録

詳しくはこちらから▶

※掲載には審査があります。

「経大サービスは夢に向かって頑張る学生を応援します。」

大阪経済大学 100%出資会社 株式会社経大サービス 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8 大阪経済大学 B 館 1 階 TEL:06-6990-3723 <http://www.keidais.jp>



# 支部だより

- ① 開催日 ② 開催場所 ③ 出席者(人数) ④ 来賓
  - ⑤ 主要議事、懇親会等コメント(150字以内) ⑥ 執筆者(支部役職)
- ※文字数が多い場合は、編集部で短くする場合があります。ご了承ください。

掲載順不同

2023年・全国の支部からのいきいき活動報告



## 東京支部

①2023年11月17日(金) ②如水会館 ③52名  
④大学・山澤理事長、齋藤事務局長、與世田組織部長、大山事務局次長  
⑤山澤理事長から「国際共創学部」など、齋藤事務局長から本学の近況、與世田組織部長、大山事務局次長からは大樟会の活動等についてご挨拶をいただきました。支部会計収支については松澤会計幹事から報告があり、承認がされました。その後は和やかな雰囲気の中で懇親会となり、初参加者を中心に自己紹介、近況を語っていただきました。さて私ごと、このたび支部長を退任いたしました。後任には木村義美氏(50回)が就任いたしました。 ⑥支部長 森田幸伯(45回)



## 北海道支部

①2023年10月19日 ②JRタワーホテル日航札幌「丹頂」  
③8名 ④大学・崎田洋一顧問、角脇忠行会長 ⑤高齢化と少人数化著しい当支部で役員体制の継続に大きな不安がありましたが、現役員の方々が引き続きお引受けいただけたことを嬉しく思います。懇親会では、新学部創設や学生たちの活躍の話題で盛り上がりました。特にプロ野球ドラフト候補の学生が、ドラフト会議で指名されたことに驚かされました。年に一度、北海道と母校が繋がる唯一の集いです。来年の総会・懇親会を楽しみにしています。 ⑥鶴飼泰正(51回)



## 石川支部

①2023年10月1日(日) ②ホテル金沢 ③20名  
④大学・江島由裕経営学部、角脇忠行会長、田島裕司常務理事、田安敏男福井県支部長、浦辺則一富山県支部長  
⑤総会では、物故者の報告・黙とうの後、役員改選、事業報告、会計報告が行われ、その後の懇親会では、林利彦氏(33回)の挨拶、村中信夫氏(33回)の乾杯発声の後、懇談が始まりました。懇談では、互いの自己紹介や近況報告が行われました。会の終わりでは、笠間孝一氏(42回)の中締め、竹村嘉一氏(49回)の首頭で、全員で学歌・道運歌を高らかに歌いあげ、次の再会を誓い合いました。 ⑥笠間孝一(42回)



## 富山支部

①2023年7月2日(土) ②商工レストラン ③13名  
④大学・森詩恵副学長、角脇忠行会長、渡辺美幸総務部長、石川支部・鍛冶一英支部長、福井支部・川畑憲彦副支部長  
⑤本年度は、長年参加された会員の中から物故された方も多く、残念ながら支部の参加者が少なく、やや寂しい会となりました。しかし、参加された方は久々の交流を楽しみ、次の交流をどのように盛大にするかを意見交換されました。これから、支部独自の交流を企画することで、参加者が増えることを期待しています。 ⑥支部長 浦辺則一(47回)



## 岐阜支部

①2023年11月19日 ②岐阜キャッスルインホテル ③16名  
④大学・黒正総務部長、角脇会長、天野常務理事、河内常務理事、田中愛知副支部長、池山三重支部長、殿城滋賀支部長、柴田京都支部長  
⑤令和4年度大樟会岐阜支部会計報告・会計担当者変更の件、その他近況報告。今回は、コロナ後2回目の開催となりましたが、来賓の方の人数が、支部会員を上回る結果となりました。そのおかげもあり、悲願の3テーブルでの懇親会となりました。71期生という若い世代の参加もあり、今後に期待を寄せる総会となりました。 ⑥支部長 山根一男(46回)



## 福井支部

①2023年6月25日(日) ②ザ・グランユアーズホテルフクイ  
③32名 ④法人・藤本理事長、田中広報部長、岡筋常務理事、浦辺富山支部長、鍛冶石川支部長、山根岐阜支部長、殿城滋賀支部長、田中京都支部相談役 ⑤議事では2022年度事業収支決算報告、2023年度事業計画の審議を満場一致で可決しました。懇親会では新人会員2名を迎え、3年振りに会う会員各々の間で名刺交換の姿があちこちのテーブルで見られ、旧交を深め合い活気ある和やかな楽しい時間を過ごすことができました。来年の総会を福井の嶺南地方会員の活性化を図るという観点から敦賀市での開催の予定であります。 ⑥事務局長 中嶋岡一(43回)



## 静岡支部

①2023年6月10日(土) ②ホテルアソシア静岡 ③8名  
④大学・草薙副学長、大山事務局次長 ⑤(会議の部)支部長挨拶、来賓紹介、2022年決算・事業報告及び2023年予算・事業計画、支部会則改定の審議の了承を得ました。(懇親会の部)乾杯後、静岡支部出席者の自己紹介、草薙副学長から大学の現状と新学部等のお話を頂き、大山事務局次長から大樟会の現状のお話を頂きました。その後は和気藹々と近況報告で盛り上がりました。 ⑥事務局長 河本陽介(51回)



## 三重支部

①2023年10月21日(土) ②和田金 ③27名  
④大学・黒正洋史総務部長、天野康弘常務理事、大山寿久事務局次長 ⑤コロナ禍で中断していた総会を4年ぶりに開催しました。以前より10名弱程度の参加者減が見られましたが、久しぶりに懐かしい顔を見ることが出来て安心したところです。来賓挨拶で、来年度から開設される国際共創学部のこと等、経大の近況をうかがいました。総会では、今年、経大が全日本大学駅伝の出場権を獲得したことを報告、11月5日の沿道での応援者を募り、和気あいあいの中で懇親会を終え、来年の再会を誓いました。 ⑥支部長 池山英典(57回)



## 大阪市淀川支部

①2023年7月9日(日) ②大学E館7階会議室 ③18名  
④大学・小川貴之経済学部長、與世田正雄組織部長、岡筋政之常務理事、大山寿久事務局次長 ⑤総会では、2022年度活動実績、2022年度会計及び監査、2023年度収支予算案、2023年度事業計画案について報告がなされ、すべて承認されました。また、小生、この度健康上の理由で退任し、杉山幹人氏(76回)が新支部長に承認されました。任期は来年の総会まで。集合写真を撮影後、懇親会を行いました。和気藹々とした雰囲気の中で、各自が大いに語り合い、旧交を温めました。 ⑥支部長 青木正道(36回)

## 愛知支部

①2023年10月22日(日) ②名鉄グランドホテル12階スカイダイニングG ③18名 ④大学・黒正総務部長、角脇会長、河内常務理事、田安福井支部長、殿城滋賀支部長、山根岐阜支部長、豊田副支部長、柴田京都支部長、池山三重支部長  
⑤総会では黒正総務部長より大学の近況として入試状況や国際共創学部についてお話をいただき、角脇会長からは大樟会活動や現状をご説明いただきました。第1号議案では先期の収支報告と今期の予算を行ない、第2号議案では役員改選について承認をいただきました。懇親会では、恒例の自己紹介や近況報告を行いました。終始アットホームな空気の中楽しい時間を過ごすことができました。 ⑥支部長 三津辰雄(65回)



## 京都支部

①2023年11月18日(土) ②ホテル京阪京都グランデ ③33名  
④大学・木下就職課課長、人事課・浪花氏、足立副会長、角庵事務局長、田安福井支部長、三津愛知支部長、城山滋賀副支部長 ⑤足立副会長並びに大学から木下課長、浪花さんより大樟会の現状、大学の就職状況等のお話を頂きました。角庵事務局長の乾杯を皮切りに宴が始まりました。今回初参加6名、25回卒から87回卒まで参加頂き、活発な交流会となりました。今回CBS文化放送局学生がキャンパス内を動画で紹介頂き、皆さん興味深く見入っていました。今後総会も活躍する学生を中心に総会でご紹介し、少しでも多くの皆様にお越しいただくようにしたいと思います。 ⑥支部長 柴田俊彦(50回)



## 大阪市住吉支部

①2023年5月28日(日) ②大学E館7階 ③22名  
④大学・山下理事・総務部長、角脇会長、與世田組織部長  
⑤総会は、議題のすべてが承認されました。総会終了後、社労士大樟会・飯田政信会長に年金について講演していただきました。懇親会は、久しぶりにマスクもアクリル板もない中での歓談となりました。卒業後、年を重ねたシニア層が多いのか、近況報告が病歴紹介になることもあり、話しながら笑いの絶えない時間が流れました。 ⑥橋本 稔(42回)





# 支部だより

- ① 開催日 ② 開催場所 ③ 出席者(人数) ④ 来賓
  - ⑤ 主要議事、懇親会等コメント(150字以内) ⑥ 執筆者(支部役職)
- ※文字数が多い場合は、編集部で短くする場合があります。ご了承ください。

掲載順不同

2023年・全国の支部からのいきいき活動報告



## 北大阪支部

①2023年6月3日(土) ②大学 ③19名 ④大学・山本俊一郎学長、角協会長、與世田組織部長、田中功一豊中支部長、山西喜久北河内支部長、畑岸隆一箕面・豊能支部長 ⑤提出議案は全て承認いただき、副支部長も2名選任いただきました。この役員人事で2023年度の支部活動を行ってまいります。13時から同会場で懇親会を実施。暑い中、冷たいビールで乾杯。テーブルの料理に舌鼓を打ちコロナ禍で開催できなかった各行事を今年度は各支部とも開催しようと確認いたしました。15時には学歌・逍遙歌を全員で合唱し、終了いたしました。⑥支部長 角野 力(41回)



## 箕面・豊能支部

①2023年3月12日(日) ②音羽山荘 ③13名 ⑤以下のとおり令和5年新役員を承認しました。相談役 富山茂樹(19回・留任)、逸見 学(26回・留任)、西川道広(54回・留任)、支部長 畑岸隆一(44回・留任)、副支部長 小林克巳(34回・留任)、幹事 森上 寛(46回・新任)、大塚 弘(63回・留任)、会計 中井正之(37回・留任)、会計監査 菅井基司(44回・留任)、事務局 岸上芳夫(46回・留任) ⑥事務局 岸上芳夫(46回)



## 豊中支部

①2023年6月24日(土) ②千里阪急ホテル ③24名 ④大学・小川貴之経済学部長、角協忠行会長、檜垣財務部長、西本常務理事、箕面豊能支部・畑岸支部長、池田支部・今村副支部長、伊丹支部・本庄支部長、北大阪支部・角野支部長 ⑤本会では、(1) 令和元年度から3年度会計報告及び監査報告。(2) 支部会則改正(会計年度変更)。(3) 令和4年度の会計報告及び監査報告。(4) 大樽会会則(内規)が「支部総会開催に伴う案内状の印刷及び郵送料の全額を本部の負担」と改定。(令和6年4月1日から施行)。よって、当支部での通信協力費は、今期から廃止。(5) 令和5年度の活動計画と収支予算 など全てが承認されました。⑥支部長 田中功一(42回)

## 北摂支部

①2023年11月18日(土) ②つきの井 ③24名 ④大学・小川経済学部長、殿城常務理事、堀田監事、角野北大阪支部長、山西北河内支部長 ⑤小川学部長から学内の報告や将来の展望、殿城常務理事から大樽会90周年に向けての取り組み、学生や母校への支援、近隣の角野支部長、山西支部長から会員集めの難しさ等のお話をいただきました。マジシャンで活躍中のジョン道阪さんが飛び入り参加してくれたお陰で、和気あいあいの楽しい会となりました。懇親会では、38回卒のソプラノ歌手和氣多賀司さんの音頭で、学歌、逍遙歌を皆さんと、また「雨」という歌を独唱され拍手喝采を受けました。⑥支部長 細井三郎(35回)



## 北河内支部

①2023年10月21日(土) ②大阪経済大学E館 ③20名 ④大学・大塚好晴図書館・研究所・社会連携課長、角協忠行会長、與世田正雄組織部長、飯田政信常務理事、角庵勝巳事務局長、角野力北大阪支部長 ⑤大塚課長から大阪経済大学の近況、角協会長から大樽会現在の情報、角野支部長からは北大阪支部の状況などのお話をいただきました。支部総会では、決算・予算、事業計画について報告、承認をいただきました。懇親会は、卒業生のジョン・道阪氏のマジックショーから始まり、会員相互の親睦を広げる会になりました。今回、初参加の方が5名もおられたことは非常にありがたかったと思います。今後は、参加者が1名でも増えることを願い、コミュニケーションをはかる場として広めていきたいと思います。⑥支部長 山西喜久(44回)



## 池田支部

①2023年7月23日(日) ②太郎兵衛寿司 ③26名 ④大学・黒正総務部長、角協会長、足立副会長、與世田組織部長、河内常務理事、竹本川西・川辺支部長、内田伊丹副支部長、田中豊中支部長、畑岸箕面・豊能支部長 ⑤冒頭、前池田支部長、中一正氏の逝去に黙祷を捧げました。その後、各議案の承認を得、全員で記念撮影をし、懇親会に入りました。コロナ禍の長いトンネルを経ての再会で大いに盛り上がった楽しい集いでありました。全員が年を取ったとの感否めませんが、逆境に耐え、前向きな雰囲気を感じました。そして今こそ支部においてもこれ迄とは違った考え方、行動を全員が共有し、前に進めていく必要があると痛切に思いました。⑥支部長 平井裕能(38回)



## 南大阪支部

①2023年6月17日(土) ②道頓堀ホテル ③25名 ④大学・森詩恵副学長、角協忠行会長、岩下義之堺支部長、塩谷善一郎泉南支部長 ⑤議事では、令和4年度の会計報告についてご審議いただき、満場一致でご承認いただきました。令和5年度の事業計画は会員相互の親睦を図るため、「知っておきたい身近な相続税」をテーマに講演会と、新たに「手作りのアクセサリー作り」を開催するなど、多方面に事業の輪を拡大していく予定です。懇親会では参加者の自己紹介、大抽選会に引き続き肩と肩を組み合わせながら来年の再開を期しおひらきとなりました。⑥黒川利明(42回)



## 川西・川辺支部

①2023年10月28日 ②すし半川西 ③23名 ④大学・斉藤裕士事務局長、角協忠行会長、與世田正雄組織部長、田中功一常務理事、平井裕能池田支部長 ⑤総会議事はコロナ禍で、3年のブランクがありましたが、その間の説明をすることで議事案件全ての了承を得ることが出来ました。議題の一つですが、役員人事で私、竹本に代わりまして、新支部長として宮東豊一(55回)氏(猪名川町広根)が就任することと決まりました。その後、総会後の懇親会では会員とご来賓の方々を交え和気あいあいと会話が弾み、明るい楽しいひと時を過ごすことが出来ました。⑥支部長 竹本 勇(35回)



## 阪神支部

①2023年9月9日(土) ②ホテルヒューイット甲子園 ③30名 ④大学・横山財務部長、足立副会長、本庄伊丹支部長、松浦尼崎支部長 ⑤議事報告の後、コロナ化で延期となっていた役員改選を行い、大山寿久支部長、副支部長、会計幹事、事務局長らを選任し次年度の事業計画・予算を承認し議事を終了。その後懇親会で、プロマジシャン・ジョン道阪氏(76回)によるマジックショーが行なわれその演技に全員目をパチクリ! 和やかな雰囲気の中に学歌斉唱を行い、お開きとなりました。⑥支部長 大山寿久(41回)

## 堺支部

①2023年7月2日(日) ②堺市産業振興センター ③41名 ④大学・草薙副学長、角協会長、角庵事務局長、田島常務理事、藤田南大阪支部長、吉岡副支部長、塩谷泉南支部長 ⑤議事では2022年度(初年度)活動収支決算報告、2023年度活動方針予算案他、会則改定の審議を満場一致で可決、続いて堺市産業振興センター経営支援課の増田様より「堺の伝統産業とその魅力」について講演いただきました。懇親会では、世代を越えて旧交を深め、また堺・南大阪の垣根を越えた会員の交流もご提案いただき、会員相互の信頼関係を深めて行ける懇親会になりました。⑥支部長 岩下義之(46回)



## 伊丹支部

①2023年7月8日(土) ②白雪ブルフリービレッジ長寿蔵 ③33名 ④大学・横山稷理事・財務部長、與世田正雄組織部長、檜垣典仁財務部長、神戸・阪神・尼崎・川西川辺・丹有・豊中・池田各支部代表 ⑤支部長から「伊丹支部は来年設立15周年を迎える」とあいさつ。第1部では、来賓祝辞のあと議事に入り、2022年度事業報告・会計報告、2023年度事業計画・予算(案)の2議案を原案どおり可決した。第2部懇親会は、伊丹市の「日本酒で乾杯」条例に基づき、地元の名酒白雪で乾杯してスタート。世代・地域間を超えた「つながる力」を実感しつつ、2時間半にわたる交流の幕を閉じた。⑥支部長 本庄和郎(38回)



## 神戸支部

①2023年10月22日(日) ②レストラン「ボナトリーチェ」 ③49名 ④大学・山下一佳学生部長、足立徳太郎副会長、岡筋常務理事、西本常務理事、阪神支部、尼崎支部、伊丹支部、明石支部、淡路島支部、東播磨支部の各氏 ⑤支部規約の創設、会計報告について承認をいただいた後、平野幸夫様(元毎日新聞論説委員)の講演、立花礼子様(ヴァイオリン)と高橋乗子様(チェロ)のアンサンブル演奏をしていただきました。来賓の皆様から大学を取り巻く状況や大樽会の活動状況、今後の在り方など、ご挨拶をいただきました。今年は参加者の3割が女性となり、懇親会では学生時代の懐かしい話で盛り上がり予定の2時間もあっという間に過ぎ、最後に逍遙歌を全員で斉唱し、閉会いたしました。⑥支部長 正岡健二(36回)







## 但馬支部

①2023年6月10日(土) ②和田山ホテル ③21名  
④大学・横山財務部長、足立副会長、角庵事務局長  
⑤総会では上阪善晴さんに議長を務めていただき、支部会員の拡大や大学への支援について熱心に議論しました。来賓から大学や大樽会を取り巻く状況についてご説明いただき、皆熱心に聞き入りました。卒業してからかなりの年月が経ちますが、母校のことはいつまでも気になります。コロナ禍が5類に移行し、久しぶりに懇親会を持ちました。お互いマスクを取り、笑顔あふれる懇談の場になりました。 ⑥事務局長 垣江重人



## 明石支部

①2023年9月9日(土) ②グリーンヒルホテル明石 ③24名  
④大学・斉藤事務局長、角協会長、與世田組織部長、渡辺総務部長、喜田淡路支部長、鈴木神戸支部長、石原東播磨支部長  
⑤コロナの影響で四年ぶりの開催となりました。開催に先立ち、お亡くなりになりました方々に黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。ご来賓の方々から、大学と大樽会の近況報告並びに将来的な展望を丁寧に説明頂き、会員も聞き入っていました。その後の懇親会では、支部長選りすぐりの商品が当たる「お楽しみ抽選会」を開催し、とても和やかに懇親を深めることができました。 ⑥副支部長 吉本明浩(41回)



## 姫路支部

①2023年10月21日(土) ②ホテルモントレ姫路 ③38名  
④大学・総務人事課・浪花拓也氏、足立徳太郎副会長  
⑤祝辞・挨拶で、山澤俱和新理事長が就任されたこと、来年4月より国際共創学部が開設されること、又、準硬式野球部と女子弓道部がそれぞれ全国制覇したことが報告されました。懇親会に入り、各自が近況報告を行ない大いに盛り上がり、全員で学歌・逍遙歌を合唱し、至福の時間は瞬間に過ぎ、来年度の再会を誓い、一本締めで散会しました。総会の様子はYouTubeにアップしていますので、「坂田史雄」で検索してご覧下さい。 ⑥副支部長 坂田史雄(43回)

## 丹有支部

①2023年10月29日 ②レストラン昭和 ③25名  
④大学・加藤企画部長、角協会長、與世田組織部長、角庵事務局長、本庄伊丹支部長  
⑤加藤企画部長より大学近況、創立100周年にむけてのビジョンを、角協会長より大樽会の規約改正などで各支部の活性化を願う等、90周年にむけての協力をお聞きしました。今回、当支部では、紅葉まじかの丹波市の岩瀧寺と美しく迫力のある独鈷瀧の散策を楽しんでもらいました。懇親会では、ジョン道阪さんのマジックショーで盛り上がり、4年振りに笑いの渦が出来、来年度は三田市での再会を約束しました。次期支部長の藤林靖治君(50回)の逍遙歌斉唱で閉会しました。 ⑥支部長 足立徳太郎(36回)



## 東播磨支部

①2023年10月15日(日) ②加古川プラザホテル4F東京田村 ③11名  
④大学・崎田洋一顧問、角協忠行会長、與世田正雄組織部長、角庵勝巳事務局長、城内喜博神戸支部副支部長、池上照夫明石支部支部長、喜田憲康淡路島支部支部長、坂口壽一淡路島支部役員  
⑤支部総会は第1号議案から第5号議案まで承認されました。終了後、崎田洋一顧問に2024年開設の国際共創学部や2023年の入試状況、就職率、学生の活動やクラブ活動報告をしていただきました。その後、懇親会で近況報告などを行い、余興として江口さん(36回)に能「熊野(ゆや)」を披露していただきました。最後に、福田会計幹事(37回)の演舞による逍遙歌1番と江口さん(36回)の演舞による学歌を2番まで斉唱し、無事終了しました。 ⑥支部長 宮崎善人(43回)



## 奈良支部

①2023年10月8日 ②ホテル日航奈良 ③39名  
④角協会長 ほか6名 ⑤初参加の方が7名もおられました。学生時代の思い出・近況・今の大樽会の躍進状況などの話題に大いに盛り上がりました。また中嶋肇会長より新会長として樋口清二郎氏(79回)が新たに奈良支部長として新任され、若い力で今まで以上に若い方々の参加を促進し活動していくことになりました。世代を問わず大いに有意義な集まりですので、次年度以後、皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。 ⑥事務局 八田耕治(45回)



## 鳥取支部

①2023年6月10日(土) ②ホテルモナーウ鳥取 ③31名  
④大学・崎田常務理事、角協会長、島根支部・伊藤副支部長  
⑤総会に先立ち、参加者は「鳥取砂の美術館観光」と「ゴルフ」の2組に分れ、それぞれ楽しい時間を過ごしました。総会では、決算・予算・事業計画等の議案審議が行われ承認されました。懇親会では参加者の近況報告があり、逍遙歌を斉唱し39回卒の梅林副支部長の中締めで閉会となりました。鳥取支部総会は毎年6月の第2土曜日開催としており、次回は令和6年6月8日(土)に開催します。



## 岡山支部

①2023年7月1日(土) ②岡山プラザホテル ③49名  
④大学・黒正総務部長、角協会長、八尾常務理事、山内監事、藤井津山支部長  
⑤「岡山ならでは」をテーマとした支部総会は、角協会長による来賓代表挨拶、各議案決議の了承、黒正総務部長による、岡山市出身で本学初代学長を務められた黒正巖博士の足跡・本学90年の歴史を辿る記念講演、グリーンクラブの皆様による学歌の斉唱、郷土芸能である「備中神楽」の力強い舞の鑑賞等、後々まで語り継がれる記憶に残る会となりました。 ⑥支部長 岡本紳一郎



## 広島支部

①2023年9月23日(土祝) ②賀茂泉酒造株式会社 ③22名  
④黒正総務部長、飯田総務部副部長、岩下常務理事、二宮愛媛支部長  
⑤79回卒の支部総会において、来賓の方より、現状の報告とこれからの取組み内容を丁寧に説明していただきました。今回は、36回卒の前垣さんの蔵元で、酒蔵と重森三玲氏が作庭した前垣氏庭園「寿延庭」(国登録記念物)を見学させていただいた後、美味しい日本酒と郷土料理をいただきました。今年から広島での地方試験が数年振りに復活しますので、大学及び大樽会並びに広島支部の発展に繋がれるように活動していきます。 ⑥支部長 飯田 徹(57回)

## 島根支部

①2023年9月23日 ②サンラポーむらくも ③20名  
④大学・黒田理事、角協会長、角庵事務局長、本庄鳥取支部長、梅林鳥取副支部長  
⑤角協会長より大樽会本部の活動内容について、大学の現状と将来について黒田理事よりミニ講演をいただき、母校の100周年に向けての躍進に期待を持ちました。議事に入り、会計決算・予算案、出雲駅伝応援案等が全て承認されました。懇親会は、本庄鳥取支部長の乾杯の発声で始まり、角庵事務局長から母校の新旧校舎を拝見し、近代化した校舎や女子学生の多さ等、今昔の違いにしばし感嘆しておられました。和氣藹々と語り合い久しぶりに親睦を深めることができました。 ⑥支部長 山本篤治(42回)



## 津山支部

①2023年11月11日(土) ②津山鶴山ホテル ③17名 ④大学・寺西人事課長、松永常務理事、岩下常務理事、岡本岡山支部長、頼副支部長、平井事務局員  
⑤今年、津山支部設立20年を迎えることができました。総会では、母校の現状や課題についてのお話が寺西様からあり、その後の懇親会では、これまでの20年を振り返るお話や、支部としての課題となる総会参加の減少をどうするかなどのお話がありました。岡山支部とも共通の課題について考えていくことなど、参加者とも活発な意見交換を行うことができました。 ⑥事務局 西元元庸(63回)



## 山口支部

①2023年9月30日(土) ②山口グランドホテル ③18名  
④梅原入試課長、松永常務理事、大山事務局次長、坂本熊本支部長  
⑤県内の公立高校卒業者の進学先の資料を配布しました。進学先は中国48.2%、九州24.2%、近畿15.4%です。母校へは7名が入学。かつては山口県からの主な進学先でしたが、近年は少ないようです。選ばれる大学となるよう大学の一層の充実をお願いしたいものです。出雲駅伝に初めて支部として応援に行くことにしました。 ⑥支部長 藤原俊明(37回)





# 支部だより

- ① 開催日 ② 開催場所 ③ 出席者(人数) ④ 来賓
  - ⑤ 主要議事、懇親会等コメント(150字以内) ⑥ 執筆者(支部役職)
- ※文字数が多い場合は、編集部で短くする場合があります。ご了承ください。

掲載順不同

2023年・全国の支部からのいきいき活動報告



## 徳島支部

①2023年1月28日(土) ②ホテルクレメント徳島 ③29名  
④法人・藤本二郎理事長、角庵勝巳事務局長 ⑤本年度事業報告としては、63回春のコンペ 5月28日(土) 月の宮CC 参加者6名、島村與志和氏(35回)優勝。64回冬のコンペ 12月10日(土) サンピアGC 参加者7名、高木義夫氏(46回)優勝。次年度事業計画案の発表、総会を終了しました。その後、吉田稔光氏(55回)の司会により懇親会へと進み、ジョン道阪(76回)のマジックショーで大変盛り上がり、各自お酒を酌み交わし親交を深めました。 ⑥事務局 川真田博敏(42回)



## 愛媛支部

①2023年11月18日(土) ②今治国際ホテル ③22名 ④大学・徳永光俊前学長、黒正洋史総務部長、宮武記章大樟会常務理事(情報社会学部教授)、高木新仁香川支部長、樫本孝徳島支部長、南宏道高知支部長、飯田徹広島支部長 ⑤創立40周年記念総会・懇親会を開催しました。今治市出身の情報社会学部3回生の阿部凱凌君と井出悠陽君が初参加でした。また、例年参加していた会員の中には、体調や高齢の為今治は無理だが近くなら参加したいという会員が十数名ありました。ゴルフ大会の開催や愛媛の東予、中予、南予の3地区でミニ集会を開催してその地域で少しでも会員の輪を広げたいと思っています。来年の総会は南予で開催したいと思っています。より多くの会員のご参加を心からお待ちしております。 ⑥支部長 二宮克郎



## 大分支部

①2023年6月3日(土) ②トキハ会館 ③17名  
④大学・山下総務部長、足立副会長、八尾常務理事、角庵事務局長、北九州支部、熊本支部  
⑤山下総務部長から大学の現状と展望、足立副会長からは就任の挨拶をいただきました。支部総会では決算報告の承認をいただきました。懇親会では参加者それぞれの現状と初めて参加してくれた87回卒の挨拶、そして次回日は日田で屋形船の話で盛り上がりしました。 ⑥寒田 陽(40回)

## 香川支部

①2023年7月8日(土) ②KANEMITSU CAPITAL HOTEL  
④大学・山本俊一郎学長、同・黒正総務部長、宮武常務理事、樫本孝徳島支部長、平尾俊和高知支部幹事長  
⑤人口減少、少子化の昨今、大学も大変な時期を迎えそうです。我々、大樟会会員も何か協力出来る事はないか、考えて行くつもりです。まずは四国4県大樟会会員の親睦を深め、大学の向上に協力して行きましょう。今総会に於いて、鈴木澄夫前支部長に代わり、私(高木新仁)が大役を仰せつかりました。よろしくお願いたします。 ⑥支部長 高木新仁(35回)



## 高知支部

①2023年11月11日(土) ②土佐の國二十四万石 ③22名  
④大学・坂本ひとみ経済学部准教授、企画部・荒川崇氏、足立徳太郎副会長、田島裕司常務理事、愛媛支部長、香川支部長、副支部長 ⑤4年ぶりの総会・ゴルフコンペを行いました。パシフィックゴルフにて12名3組でスタートしました。当日は天気・気温も申し分なく、皆さんが快適にプレーを楽しめたのではないかと思います。総会で、大学の坂本様、荒川様は高知出身ということで田舎独特の知り合いの知り合いという事で話が大変盛り上がりました。また大学、愛媛支部、香川支部の近況も各来賓からお話いただき、「つながる力」を感じた1日でした。 ⑥支部長 南 宏道(52回)



## 熊本支部

①2023年2月18日(土) ②熊本市ホテル ③15名  
④大学・崎田洋一常務理事、角庵勝巳事務局長、岡筋政之常務理事 ⑤日程の都合で、数人の常連参加会員の欠席があり開催を心配しましたが、その一方で、会員2人の初参加があるなど嬉しいこともあり、おかげさまで少数ながらも、終始和やかで活気ある支部総会になりました。次年度は今回の反省を踏まえ、一層の支部総会への参加促進に努めて、20人以上の出席による開催を目指したいと思います。 ⑥支部長 坂本純夫(39回)



## 宮崎支部

①2023年11月15日 ②ホテルメリージュ ③9名  
④大学・荒川崇様、殿城常務理事 ⑤会員の高齢化及び若年層会員の入会がないなどにより参加者が少なかった。2019年から2023年までの活動状況・決算、及び2024年の活動計画、予算がそれぞれ報告・提案された。前回まで土曜日夜開催を平日夜に変更したが参加者増には繋がらなかったため、今後開催日、時間等を協議することとした。殿城常務理事の滋賀支部を6分割した連絡体制作りを参考にしたい。荒川様の近辺大学の比較などの資料には納得感を得た。 ⑥支部長 富永喜美夫(37回)



## 大樟春秋会

①2023年6月23日(金) ②ホテル阪急インターナショナル  
③30名 ④法人・藤本理事長、大学・山本学長、角協会長  
⑤第1部総会では「2022年度事業報告」並びに「2023年度事業計画」並びに「2022年度会計報告」、「2023年度予算報告」の後、会計監査報告並びに、「春秋会会則変更」等の審議の承認を得ました。記念撮影の後、第2部懇親会を開催しました。春秋会には、2023年度、6名の新会員が入会され、春秋会40回の歴史の中で初めて女性会員を迎える事ができました。 ⑥大樟春秋会 事務局



## 日立大樟会

①2023年9月22日(金) ②ガーデンシティクラブOSAKA ③13名  
④大学・山本学長、望月進路指導部長、角協会長、足立副会長、田島常務理事  
⑤最初に山下より、日立大樟会の発足の経緯、日立グループの再編、本日欠席のこの会の発案者である田中富三様(18回)からのメッセージなどについて説明。山本学長からは「国際共創学部」、中国視察訪問についてお話を頂戴し、角協会長から出雲駅伝や伊勢駅伝等、繋がる力を発揮して是非応援をとのお話がありました。その後、各自近況を報告、恒例の学歌・遣還歌を全員で斉唱し、元・応援団の小坂さんにエールを切って頂きお開きに致しました。 ⑥会長 山下徹男(37回)

## 鹿児島支部

①2023年11月25日(土)  
②鹿児島ワシントンホテル三十三間堂 ③16名  
④大学・黒正総務部長、與世田正雄常務理事  
⑤大学が100年を超えて存続してほしい。地方からの学生獲得に知恵を傾注してほしい。etcの辛口発言が多々発生した。  
⑥支部長 前園博隆(34回)



## 大樟体育会

①2023年6月18日(日) ②大学E館7階 ③39名  
④法人・藤本理事長、大学・山本学長、同・齊藤学生部部长、角協会長、角庵事務局長、体育会本部から2名  
⑤山本会長議長のもと、1. 2022年度活動報告、決算報告 2. 2023年度活動計画、収支予算(案)の議題について賛成多数にて可決されました。2022年度の成績優秀クラブ表彰には、女子弓道部・陸上競技部・準硬式野球部の3クラブが表彰されました。その後、記念撮影を行い3年ぶりとなる懇親会をE館7階のラウンジにておこない、賑やかに歓談を楽しみました。 ⑥副会長 田島裕司(46回)



## 税理士大樟会

①2023年7月7日(金) ②ハートンホテル心斎橋 ③総会参加者28名、懇親会参加者44名 ④大学・小谷融名誉教授、杉田武志教授、黒正洋史総務部長、望月久義進路支援部長、大山寿久事務局次長、太田史郎常務理事、社労士大樟会・飯田政信会長、湊義明同副会長、西平綾大同事務局長  
⑤檜垣先生が議長に選任され第1号議案の令和4年度事業報告では各部の収支報告が平岡事務局長から報告され東監事が監査報告をされました。第2号議案令和5年事業計画案及び収支案及び第3号事案の会則の改定について平岡事務局長から報告され満場一致で可決されました。その後懇親会が開催され参加者は40名超になり会場は盛り上がりしました。 ⑥広報部







## 社労士大樟会

①2023年7月8日(土) ②大学E館7F  
 ④大学・伊藤大一経済学部准教授、足立徳太郎副会長、大山寿久事務局次長、税理士大樟会・堀田治会長、福田重実副会長、山本克彦総務部長 ⑤総会では、令和4年度事業報告並びに令和4年度収支決算及び監査報告、令和5年度事業計画(案)並びに令和5年度収支予算(案)、坂口育生理事を副会長(研修部長兼務)代行に指名の3議案が承認されました。続いて、伊藤准教授より「分断される雇用 世界と日本社会の明日～アメリカのジョブ型雇用と日本のメンバーシップ型雇用の対比で～」と題して講演していただきました。 ⑥事務局長 西平綾太(48回)

## 大樟教育研究会

①2023年11月11日 ②大阪経済大学 ③72名  
 ④大学・山本学長、角脇会長  
 ⑤全体の講演会では、八木武志小学校教員及び草葉康暢高等学校教員が「教師の魅力」のテーマに基づき説明し、学生や卒業生が各校種に分かれる分科会では、学生が聞きたいことを卒業生に相談したり、卒業生から学校の思い出エピソードを伝えたりしました。学生が教員のやりがいや実情などを知る大変尊いとなりました。 ⑥会長 八木大輔(79回)



## 支部活動紹介

ウチの支部、こんなイベント、あんな行事...

支部総会懇親会以外の支部のさまざまな行事、イベント等を紹介します。他の支部の皆さん、参考にしてください。「ウチの支部ではこんなことをやっていますよ」という写真とひと言コメントも募集します。詳細は事務局まで。

### 川西川辺支部



2023年4月1日(土)、一庫ダムハイキングを行いました。8名が集まりました。一庫ダムサイトに設けられた休憩スポットを目指し、現地で見ごろの桜を堪能しました。

### 北大阪支部



2023年5月13日(土)、廃線ハイキングを行いました。旧国鉄福知山線の廃線跡を利用したコースで、心身共にリフレッシュ出来た最高の1日になりました。

### 大阪市住吉支部



2023年11月25日(土)、大阪城公園に12名が集まり、银杏の黄葉や楓の紅葉を楽しみました。

### 税理士大樟会



11月10日(金)に税理士大樟会厚生部主催の屋形船の会が開催され16名の会員が参加しました。

AITは、あらゆる物流ノウハウを持つ総合物流企業です。  
 「コストを下げたい」「速く届けたい」などお客様のご要望に合わせて最良なサービスを提案いたします。  
 海上輸送・航空輸送・通関・国内配送など出荷から納品までをトータルにサポートいたします。  
 貿易・物流のことならAITにお任せください。



国際物流をデザインする  
 株式会社エーアイティ





日本拳法部

66周年OB・OG会総会開催



令和5年2月18日(土)日本拳法部66周年OB・OG会総会をE館7階会議室で開催しました。コロナ禍の為3年間の総会延期での開催となり、物故者への黙祷ではじまり、会計報告、来年度よりの役員組織の若返りを決定、新組織の発表、部員の活動予定を報告いたしました。

第62代吉井蓮主将の第22回西日本学生拳法個人選手権大会優勝、第37回全日本学生拳法個人選手権大会第3位入賞が報告され、OB会より金一封を贈呈いたしました。第62代卒業生4名はOB会に入会、新入生部員の紹介のあと、山本総監督から新入生にはネクタイ、卒業生にはバッジの贈呈がありました。

さらに70周年、クラブの継承と存続を目指して誓い合いました。懇親会は上新庄駅前「珉珉」で開催、乾杯の後、楽しく和気あいの歓談、最後に学歌、逍遙歌で締めくくりました。

会長 山田栄宏(44回)

グリーンクラブOB会

OB会総会開催のお知らせ



6月17日、大阪経済大学グリーンクラブOB会総会、親睦会が大学E館7階にて無事終了しました。その際山本俊一郎学長、田中伸治広報部長、大山寿久事務局次長にご来賓として出席いただきました。また、角脇忠行大樟会会長よりご祝儀が届けられました。ありがとうございました。

当日は、20代から80代のOBが50名ほど集まり、学歌や愛唱歌を歌いグリーンクラブの長い歴史と伝統を感じることができました。その後上新庄で2次会を行いました。20名以上が参加し夜遅くまで大いに親交を深めました。現役部員達も幾つ何十になっても歌とともに人生を謳歌しているOB達を見て何かを感じてくれたことだと思います。

グリーンクラブOB会としてはこれからもお互いの親睦を図るだけでなく、現役グリーンクラブ部員達への支援を一層頑張りしたいと思います。また、大阪経済大学の発展のために尽くしていきたいと考えています。

なお大樟会事務局の皆様には総会当日だけでなく、それまでの準備に多大なるご尽力をいただきました事をお礼申し上げます。

会長 八尾英規

邦楽部OB会

邦楽部第14回OB会



さる令和5年6月24日(土)午後4時より邦楽部第14回OB会(総会・懇親会)が、昨年同様J館3階会議室にて開催されました。今回は初めて大樟会(同窓会)より事務局長の角庵氏・渉外副部長の八尾氏を迎えてのOB会となり、コロナ禍におけるサークル・サークルOB会のあり方等々大変楽しく議論させて頂きました。ありがとうございました。

さて出席人数は昨年同様11名と小人数ではありましたが、1年に1回の懇親会でしたので、あっという間に時間が過ぎてしまい、二次会での懇親延長となりました。

芸術会では我々邦楽部の他にマンドリンクラブ・ギタークラブが休部されたとのことですが、我々邦楽部OB会は昨年より再開し毎年開催することを確認し閉会としました。

会長 尾上真己(36回)

簿記会計研究部同窓会

9年ぶりに開催



9月16日(土)13:00より、本学E館7F階にて、コロナ禍を乗り越えて、9年ぶりに開催しましたところ、44～49回卒業の39名が集まりました。岡本紳一郎さん(47回卒・大樟会岡山支部長)が司会・進行を進め、始めに近年の物故者黙祷を致しました。

佐竹 薫さん(44回)の開会の挨拶で開演となり、続いて大樟会本部より角脇忠行会長のご挨拶をいただきました。その中で国際共創学部の新設を紹介され、在校当時の経済学部・経営学部2学部が、新学部を含めて5学部体制になるなど、一同は母校の発展と時代の変化に大変驚きました。

歓談中には、定年後の過ごし方や夢になっていることなどの話題で盛り上がりました。また、余興ではジャンケン大会で豪華賞品を目指して、一層盛り上がりました。

参加者全員での学歌の合唱では、卒業してから40余年の後でも歌詞なしでも全員が歌えることに驚きました。最後に浜田昭久さん(45回)の一本締めで終了致しました。

この記事がお目に止まりましたら、是非、卒回同士で連絡を取り合って親睦の機会を増やしていただければ幸いです。

野田 満(48回)

梅原ゼミOBOG会

2年越しの卒業式



8月11日の夜、2021年3月卒業のゼミ生と大阪・西天満に集まりました。卒業式の朝に緊急入院して式に参加できなかった中川さんの「ゼミ卒業式」を行うためです。卒業後も何回か企画してはつづれ、ようやく預かっていた卒業証書を渡すことができました(私のポロポロの姿は暑い道を道に迷って一万歩(泣)汗だくで到着したため)。山の日のお休みににもかかわらず、関西在住組が集まり、楽しい夜になりました。中川さん、ご卒業おめでとう! 難波さん、日程調整ありがとうございます! 田中君、会場確保ありがとうございます! 松下君、宮田君、買いたしありがとうございます! 石川さん、忙しい中を来てくれてありがとうございます! みんなの恋愛話が一段階進んでました(笑)

名誉教授 梅原英治

経翔会(大阪経済大学ワンダーフォーゲル部OB会)

ワンダーフォーゲル部創部65周年・OB会創立60周年



本年はワンダーフォーゲル部創部65周年・OB会創立60周年という節目の年となります。経翔会では記念行事として経翔会創立60周年記念ワンデイリングを企画し、長野県白馬の大阪経済大学白馬ヒュッテにて実施致しました。当日は30名もの経翔会(大阪経済大学ワンダーフォーゲル部OB会)メンバーが白馬ヒュッテに集結して創立60周年を祝い、乗鞍岳や樽池自然園をワンデイリングして白馬の夏を謳歌致しました。

▶経翔会創立60周年記念ワンデイリング  
日程:2023年8月5日(土)～8月7日(月)  
場所:長野県白馬の大阪経済大学白馬ヒュッテ  
ワンデイリング:白馬乗鞍岳～樽池自然園一帯  
参加人数:経翔会(大阪経済大学ワンダーフォーゲル部OB会)メンバー30名

企画:実行委員長土山晴實・副委員長永井芳隆  
主管幹事:48年卒9名

協力:大阪経済大学山岳部OB会  
上記、ご報告いたします。

経翔会メンバー 53年卒 早野雅之

氣流会(合気道OB・OG会)

総会開催



5月13日(土)14時よりE館7階会議室にて氣流会(合気道OB・OGの会)総会を開催致しました。新入部員への協力、支援を検討し全面的に実施してゆく事を採択し盛会の中、閉会いたしました。

園田ゼミ樟々真情会

大阪にて開催



全員後期高齢者になり、地域巡回シニアゼミ旅行も、アンカー古株氏の企画された滋賀県「近江牛満腹」ツアー2日間で、無事終了しました。各地区での秘策を凝らした企画を計画して頂きました。担当の巡回幹事様、金井・相田(四国)・塩尻・粉川(岡山)・小路(高砂)・木築(豊岡)・門永(川西)・柴崎・古株(滋賀)・伊住(大阪)氏に衷心よりお礼申し上げます。

何処の団体組織も例外なく会員高齢化による会員のボリュームが年々減少傾向にある中、昭和55年頃存在した園田ゼミ「園樟会」の横串の仲間の復活掘り起こし奮起を促す意味もあり、2代目園田ゼミ「樟々真情会」で活動して参りましたが、最終横串の仲間の獲得は、当時事務局の寺本女史の御協力のお陰で、昔のゼミ仲間上記以外の11名と音信が出来る様になり有り難く感謝しております。

さて、今回からは仲間の総意に基づき、最初に戻り大阪にての開催になり5年6月12日JR大阪駅直結の大阪大丸にある「青夏」にて横串の仲間が岡山・滋賀・豊岡からも集まり7名で1年ぶりの再会の3時間を楽しみました。

年々返信葉書に、体調の事が書かれており、詮方無き事かなと思いますが! 次回は、他のゼミの方が出席希望されておりますので楽しみにしております。最後に事務局寺本女史のお陰で判明いたしました仲間を記させて頂いて事務局に厚くお礼申し上げます。藤森(岐阜)、山本(大阪)、東(京都)、高田(神戸)、小路・中川(姫路)、西村(熊本)、常深(神戸)、故立吹(三田)、故小田(山口)、故高柳(大阪)

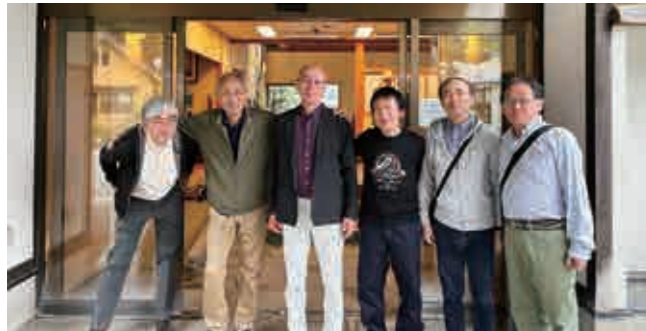
樟々真情会仲間と「17回卒他ゼミの仲間」との邂逅は継続して、一応これにて樟々真情会の幹事として投稿の筆を置かせて頂きます。

幹事 門永(17回)



ユースホステルクラブ

同期の集い



ユースホステルクラブの47回卒(昭和56年卒業)の同期6名で城崎温泉旅行に行きました。リバーサイドMARUYAMA(まると山)荘に到着してから、まず、道を隔てた隣の喫茶まるやま館で美味しいコーヒーをいただきました。

42年ぶりに会うクラブの仲間でしたが、皆さんは取っても老け込まずに前向きな人生を送っていました。卒業してからの皆さんの重ねた歴史を聞きながら、楽しく、そしていつのまにか元気になっていく自分を感じることができました。

この喫茶まるやま館は、46回卒のクラブの先輩である竹内さんがオーナーですので、是非お立ち寄りください。また、リバーサイドまるやま荘は、気分良くゆったりと過ごせる、おすすめの旅館です。最後に、ユースホステルクラブの竹内さんの同期(46回卒)の方々の連絡先をお分かりの方がいらっしゃいましたら、喫茶まるやま館(TEL0796-28-2738)まで連絡をお願いいたします。

第五期寮友会

第五期寮友会の集い(岡山大)



2023年11月19日～20日、岡山プラザホテルにて、総勢21名で開催しました。来年は山陰の地で行うことを約束して散会しました。

軽音楽部OB会

開催のご報告



2023年9月17日(日)にグランドサロン十三(キャバレー)にて軽音楽部OB会が開催されました。

ラグビー部OB会

令和5年度ラグビー部OB総会開催



去る7月1日(土)、令和5年度ラグビー部OB総会が、E館7階会議室で4年ぶりに開催された。総勢19名と例年より少ない人数であったが久しぶりの再会で親睦を深めて前々監督の大住氏や花園近鉄ライナーズで活躍した木村氏も出席され熱心に現役へのアドバイスを送った。今年から指揮を執られる森岡監督に対してOB諸氏から熱い思いと期待を込められた言葉で懇親会も開催された。春の練習試合は例年より内容がよく、秋のリーグ戦の奮闘を願う気持ちで閉会した。

森岡良介(45回)

滝内先生を囲む会

滝内先生傘寿のお祝い



2023年7月29日(土)京都新阪急ホテルにて、「滝内先生を囲む会」を開催いたしました。遠くは新潟・富山・香川からの参加者、卒業以来初めて、あるいは久しぶりにお会いする方等と総勢25人の参加でした。

翌日30日(日)は、先生の80歳のお誕生日ということで、傘寿のお祝いも兼ねており、ゼミ生からは、黄色の花束、傘寿のフィギアを贈り先生に喜んでいただきました。先生には、時間制限で各テーブルを廻っていただき、記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせました。近況報告を一期生から順番に始めましたが、突っ込みあったり、企業の「クレーン対応ミニ講話」があるなど参加者全員、笑ったり拍手が起きたりするなどとても楽しい会でした。3時間はあっという間で、参加者は「滝内先生のゼミだったので、今の自分があります。感謝です。」と異口同音!!

最後に先生よりご挨拶を頂きました。先生のお変わりのない毅然としたお姿、目頭が熱くなりました。また、ゼミ一期生は、卒業以来45年間一度もお休みなく先生に「仲間」を発行していただいております。感謝でいっぱいです。次回は、「滝内先生の米寿の祝いで会いましょう」と約束をし幕を閉じました。

幹事代表 岡 静子(44回)

柔道部OB会

2022年度OB総会を開催



令和5年3月11日(土)、当日は午前中、新入生も入って現役学生の熱のこもった稽古にOB会員も参加、見学し、午後からE館7階会議室において、3年振りにOB総会を開催いたしました。新型コロナウイルスが終息に向かう中、感染防止を優先して会議のみの総会となりましたが、会員22名が出席しました。総会では安田太会長挨拶に続き、議事に入り、事業報告、会計報告、事業計画、会計予算をそれぞれ審議し承認され、また、役員改選では竹本幹事長の補佐として平井康裕(48回)幹事長補佐が選任されました。

その後、桂剛監督から新入生5名の紹介が行われ、途中、大樟会角協会長から激励の挨拶をいただきました。新たに会員となる卒業生5名に記念品の贈呈し、監督挨拶、最後に現役学生のますますの活躍と出席した会員との再会を祈念し、盛況のうちに総会を終了しました。

事務局長 天野康弘(46回)

37期生会

いつものように



今年も総会のあと上新庄駅前の「珉珉」に14名が集まりました。かつて、ここには池田銀行とパチンコ屋がありました。駅の改札は地下にあり、駅員が木枠の中に入って切符にパチパチとハサミを入れていました。ホームには乗客を車内に押し込む押し屋というアルバイトをする経大生もいました。目を閉じると懐かしい56年前の光景が浮かびます。

いつもお世話をしてくれる山本隆造くんの「元気で長生きしよう」の音頭で乾杯をしました。37期生はいわゆる後期高齢者になります。同期生の身体の不調の話も耳にするようになりました。健康に気を付けて、来年もいつものように、いつもの所で会いましょう。

藤原俊明(37回)

自転車部

65周年記念総会開催



2023年11月11日(土)本学E館会議室で5年振りの自転車部65周年記念総会が開催されました。

アイススケート部OB会

OB総会開催



2023年11月25日、西宮市にある六甲保養荘にて14名の参加を得て4年ぶりにアイススケート部OB総会が開催されました。38回卒井田実事務局長の開会宣言で総会が開始されました。最初に、32回卒吉本雅家会長の挨拶があり、多忙の中出席された先輩、同輩、後輩の日頃の努力に労をねぎらい感謝の意を伝えました。また来年1月に80歳を迎えることから、後輩に会長職を譲る決意をされました。続いて石谷治監督から、現役選手の活動状況の報告がありました。最近の低迷から少しでも早く脱却したいと力強い言葉が聞かれました。

高橋一理事の乾杯音頭で懇親会が始まり、例年同様活発な意見が各箇所でも聞かれ有意義な懇親会となりました。参加された方はほとんど大阪府スケート連盟の役員も兼ねており、経大ともども大阪のスケート界の繁栄に協力することを再度確認いたしました。梶村貞男副会長から、次期会長職の選考に入りました。前回一致で人望の厚い、36回卒の山口正憲さんをお願いをしたところ、気持ちよく応諾していただきました。写真撮影後、全員で学歌、逍遙歌を斉唱し、今年の総会も無事終了いたしました。

副会長 梶村貞男(36回)

学生寮 九期生

第六回同窓会 in 尾道



私たちは学生寮で1年間寝食を共にした九期生(昭和44年入寮)の有志です。還暦時に第一回目の同窓会を母校、学生寮跡、下宿先等を訪問することからスタート、その後は数年置きにそれぞれの出身地で開催(能登、湯布院、琴平、鳥取砂丘)し、今回は令和5年10月15、16日に日本遺産の街「尾道」にて第六回目を開催しました。参加者は14名で、石川、福井、兵庫、香川、広島、山口、鳥取、福岡と各地からの参加でした。

約50年ぶりに再会するメンバーもあり、又大村氏が持参した入学時のキャンパス、学生寮の周辺(江口ストア等)、寮内、寮行事(寮祭、キャンプファイヤー、白浜旅行等)のアルバムで青春時代の懐かしさに夜遅くまで盛り上がりしました。

集合後と翌日には尾道市内の西国寺や千光寺を地元愛溢れる田中氏の案内で観光を楽しみましたが、各日約1万歩となり筋肉痛の声も聞かれましたが、千光寺展望台から見た箱庭の景観の尾道市街や尾道水道の絶景で痛みは吹飛びました。

次回は岡山(代表世話役 内田氏)での開催となります。今回は欠席となった長崎、鹿児島からの出席も予定されてますので同期の方奮って参加下さい。

連絡先 脇本まで TEL080-1926-1618

脇本宗興(39回)



## 生存戦略・生態系から戦国日本を考える

高木 久史

2023年に小著『戦国日本の生態系(エコシステム)』を上梓しました。戦国時代の本という織田信長や武田信玄といった英雄たちを主語として語るものが多いですが、小著の主人公は庶民です。彼らが生きていくために営んだ日々の生産・消費活動がいかに社会を動かしていたかを、彼らの生存戦略、そして彼らをとりにまわっていた生態系という観点から考えます。現在の福井県西部を定点観測地点に設定し、戦国大名朝倉氏や織田信長の時代に、山林・海岸での生産や、戦国工業としての業業、生産された品々を地域を越えてもたらした流通業に携わった人びとの活動を通じて、英雄たちが動かした歴史ではなく、英雄たちが動かされていた歴史を描きます。

(経済学部教授)

## 日本のモノづくり、そして中国経済

福本 智之

3年生のゼミ旅行では、北九州のモノづくり企業、TOTO、安川電機、三井ハイテックの会社と工場を訪問しました。各社ともデジタル化と持続可能な社会づくりのために技術を磨いており、学生達は日本のモノづくりの地力を感じてくれたようです。

研究対象である中国経済は、今重大な局面を迎えていると感じています。2022年末、ゼロコロナ政策を撤回して経済再開に舵を切りましたが、家計が消費や住宅購入に慎重です。将来の成長期待、所得増加期待が低下したことや家計の最大の資産である不動産価格が弱含んでいることから家計がバランスシート調整に入ったと感じています。目を凝らしてみたいと思います。

(経済学部教授)

## はじめまして

丸山 亜子

みなさま、はじめまして。2023年4月から大阪経済大学経済学部で労働法を教えています。労働協約の効力や「休み方」をめぐる法制度などを研究しています。宮崎大学で19年間勤務し、出身地である大阪に戻ってきました。学内でもそこかしこで大阪弁が使われているの何かが懐かしい思いがしています。新たなゼミ生たちが一歩を踏み出せるよう励まし、カブけ、そしてともに成長していければと願っています。今後ともどうかよろしくをお願いします。

(経済学部教授)

## ゼミ 1期生とともに

金井 猛徳

2023年4月に着任しました金井猛徳と申します。私の研究対象である空間情報は、現代社会において重要性を増しており、日常生活や産業に大きな影響を与えています。ゼミでは、ICTを駆使し、データ収集から情報処理、そしてその情報を有益な知識や新たな価値に変えるプロセスを学ぶ予定です。具体的なプロジェクトや課題を通じて、現代社会の課題にアプローチし、解決策を見つけるためのスキルを身につけてほしいと思います。また、社会が急速に変化する中で、テクノロジーの進化や社会のニーズに敏感に反応し、革新的なアイデアを共有し合い、実践に移せるようにゼミ生とともに成長し、有意義な学びの場を築いていきたいと考えています。

(経営学部教授)

## 理論と実践の往還を胸に

樋口 太郎

例年、少人数のゼミですが、教職課程履修者が多く在籍してきました。現在も、自身でテーマ設定した卒論の執筆を中心的な課題としながら、公開授業見学などへの参加を通じて、教育の現場に触れる機会も設けています。こうした理論と実践の往還は、私自身の研究においても永遠のテーマであり、日々それを胸に研究に取り組んでいます。

(経済学部准教授)

## はじめての大阪での猛暑

金井 憲一郎

2023年4月に着任して5か月が経ちました。はじめて大阪に住み、学生諸君はもとより、本学に関わる多くの方々へ直接・間接にご指導を賜りながら、教育・研究に励んでまいりました。しかし、大阪の猛暑にはまいりました。朝から晩まで湿気の多い蒸し暑さ。東京・八王子で学生時代を過ごし、暑さは慣れていていると思っておりましたが。

毎年の暑さをもたらしている地球温暖化という気候変動を引き起こした人間の罪は重いと感じます。民法、環境法の観点から、どうすれば今より悪化しない形で住みやすく限りある人生を自己実現できる日本を後世に残せるのか考えていきたいと思ひます。

最後に、私の14年来の趣味の俳句で。

帰宅して 迷ふことなく 冷奴

(経営学部講師)

## ビジネスコンテストへの参加

戸田 信聡

2022年4月に本学経営学部に着任いたしました戸田信聡です。経営管理論における組織行動論を研究しています。ゼミでは産学連携し、様々な業種の企業の人ともやり取りしながら、課題解決のための調査や発表を通じ、経営学を学んでもらっています。今年より学外ビジネスコンテストにも参加し、他大学の学生とも切磋琢磨しながら取り組んでいます。日常の何気ない疑問や、企業組織に対する疑問を、文献のサポートも得ながら研究し、経営学の面白さを知って欲しいと願っています。

(経営学部准教授)

## 学生の「挑戦」を応援！

坂本 ひとみ

赴任して1年半、迷っていた校内では学生が優しく声をかけてくれ、研究室にも皆さんよく訪ねてくれ、その積極性に助けられました。授業を通じて相談された活動では、彼らの「挑戦」を応援する中で、地域の方々からも学生に活躍の場を提供いただき、地域活性化にも繋がりました。「やりたいこと」に試行錯誤し、失敗しながらも「挑戦」し続け成長していく姿は青春そのものです。自身の努力の収穫を後輩に譲る雅量を身に付け、地域との関わりから「報恩感謝」を知り、本学で修めた日々は、社会という多忙で多難な日々の中でも、行く手を照らす光となることでしょう。今後も、本学での修学が彼らの人生の光となるよう関わっていけたらと思っております。

(経済学部准教授)

## ゼミの取り組み

下山 朗

2021年4月に着任以来、下山ゼミではデータによるエビデンスをもとに、様々なプレゼン発表や外部のコンペに参加してきました。2022年には、関西広域連合主催の「関西広域連合協議会大学生等との意見交換会」にて「夜の観光地」による関西活性化～心霊スポットの魅力と可能性～というテーマで、最優秀賞を受賞することができました。今年はさらに、MLBの大谷翔平選手の活躍に刺激を受けて、身体能力だけでない学ぶ意欲や踏み出す力などのいわゆる“非認知能力”のスポーツ成績への影響なども研究テーマにしています。身近なテーマをきっちり科学的に取り扱って学びを深めてほしいと考えています。

(経済学部教授)

## 剣とペンを

山尾 忠弘

2023年4月1日付で着任いたしました、山尾忠弘と申します。神奈川県出身で、県立湘南高校、慶應義塾大学経済学部を卒業、同大学経済学研究科で博士号を取得し、今日に至ります。趣味で剣道をやっておりまして、29歳で六段を拝受し、現在錬士六段です。幸いなことに本学剣道部にご縁をいただき、学生諸君と汗を流す日々を送っております。大阪経済大学では剣道と学問を車の両輪として、片手に剣を、片手にペンを持ちながら研究・教育活動に邁進していく所存です。諸先輩方のご指導をお願い申し上げます。

(経済学部講師)

## 2年目になりました

櫻山 武浩

こんにちは。時間がたつのは早いもので、2年目となりました。もう新任教員だと先輩の先生に甘えてはられませんね。1年目はデータ分析と機械学習の講義を担当しましたが、今年度からデータサイエンスPBL(問題解決型学習)という新しい講義が始まります。学生の皆さんが課題発見、情報の収集・分析・活用能力などの総合的な力を身につけられるように、講義の進め方をあれこれ考える日々を送っています。また、2期生の配属により研究室の体制が30名となりました。研究活動に取り組むのはもちろんですが、レクリエーションなどを通じて、学生が積極的に参加しそうな研究室を作っていきたいです。

(経済学部准教授)

## 着任のご挨拶

矢野 良太

2022年度から経営学部に着任しました矢野です。専門は人的資源管理で、大経大ではそれと同じ人的資源管理論の講義を担当させて頂けるという、とてもありがたい環境で動いております。昨年からゼミも担当しており、あと1年もするとゼミの第1期生が大学を離れ、企業などで活躍するようになります。もし卒業生の皆様にゼミ生がお世話になることがありましたら、よろしく願ひします。着任してからしばらく経ち、遅いご挨拶となり恐縮ではございますが、これからどうぞよろしく願ひいたします。

(経営学部准教授)

## 村本ゼミ近況

村本 顕理

コロナ禍のためこれまでイベントの少ないゼミでしたが、2022年度の秋学期はいくつかのイベントがありました。まず村本ゼミ2期生のZEM-1グランプリへの参加です。自分たちでテーマ決定・アンケートサイト作成及びデータ収集・データ分析・報告準備を行ってもらいました。残念ながら予選敗退でしたが、頑張ってくれたと思います。また、村本ゼミ1期生と南港で泊まり込みのゼミ合宿に行きました。卒業式では、1期生の皆さんに、卒業証書を授与をさせていただきました。今後も、ゼミ生の皆さんの思い出に残るイベントを増やしていきたいなと思っています。

(経営学部講師)

## 初めてのゼミ生

福嶋 幸太郎

2023年4月に着任いたしました。兵庫豊岡市の県立専門職大学での2年間の単身赴任生活を終えて、堺市の自宅から通勤し、久しぶりの大都会・大阪の賑わいを楽しんでいます。私は38年間大阪ガスでビジネスマンとして勤務後に、大学の教員に転職いたしました。社会人のほとんどを民間企業で過ごしましたので、大学の世界を詳しく知りません。新鮮味があって面白い経験をさせていただいています。

大経大では、2023年9月からゼミを持たせていただくことになりました。ゼミ生の募集も終了し、16名を迎えることになりました。今はどんなゼミにしようかと、ワクワクした気持ちになっています。

(経営学部教授)

## よろしく願ひ申し上げます。

篠藤 涼子

2023年度より、本学経営学部でお世話になっております、篠藤です。私の専門科目は、監査論です。簡単に紹介します。私たちが、生活する経済社会を支えている株式会社は、資本市場で多額の資金調達をするために財務諸表を公表しています。しかし、私たちは財務諸表が適正に作成され、不正がないかを確認することができません。そこで、財務諸表監査は、財務諸表の信頼性を担保する仕組みとして資本市場の根幹を支える社会インフラです。近年では、監査の範疇に入る行為は、財務諸表以外にも多用されております。また、卒業生の中には、監査業務に従事されている方もいらっしゃるかと存じます。後輩を輩出するためにも、努力してまいります。

(経営学部准教授)

## ウクライナ避難民へ寄付

岩佐 托朗

岩佐ゼミのみなさんお元気でしょうか。ゼミ募集では、今年度も2倍を超えるゼミ生応募があり、これまでのみなさんの尽力のお陰と感謝しています。相変わらず、心根の優しい学生が集ってくれる伝統は続いています。ゼミとしては大学と協力し、ウクライナ避難民の方々を招いての講演会と募金の実施、そして寄付を行い。ゼミ合宿では、皆でスポーツをし、明石大橋のホテルを拠点に周遊しました。

みなさんからの近況を是非楽しみにしています。連絡は、下記メールアドレスまでお願いします。iwasa@osaka-ue.ac.jp

(情報社会学部教授)

## 誰もが尊重される雰囲気大切に

岡村 香織

本学に着任して、今年で2年目になりました。ゼミも2期生を迎え、賑やかにやっています。数あるゼミの中から、私のところを選んだ学生との出会いは、やはり縁あってのものだと感じます。ゼミは、自由に、そしてコアに考えることができる大切な時間です。ざっくばらんな議論ができるよう、場の安全に配慮し、誰もが尊重される雰囲気を大切にしています。最初の頃はごちない雰囲気だった学生たちが、一年もすると、よそよそしかった自分たちを話のネタにしているのを聞くと、何とも言えない嬉しい気持ちになります。関係性はパフォーマンスを支えるものです。なにより私自身、ゼミ生に無限の可能性を感じ、刺激を受けています。

(人間科学部講師)

## 着任のご挨拶

馬場 智子

この度、2023年4月より経済学部に着任させていただきました。馬場智子(ばば さとこ)と申します。本学では、多文化共生論などグローバル人材育成に関わる講義を担当させていただいておりまして、専門は比較教育学、現在はタイなどの外国につながる子どもの教育保障について研究を進めております。今夏、4年ぶりにタイ(チェンライ県)で現地調査を行うことができ、この間の変化を知ることで日本への示唆を得てまいりました。こうした研究成果を教育等にも還元できるよう、皆さまからご教示いただきながら精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしく願ひいたします。

(経済学部准教授)

## アフター・コロナの学生生活

伊藤 博之

過去1年間、コロナもやや落ち着き、日常生活の正常化が進んだことが大きな変化であったと思います。ゼミでも、課外行事も含めて、コロナ以前の学生生活が可能な状況となって参りました。そうした環境下で、コロナやウクライナ戦争後の新しい社会の変化をリードする担い手となるべく、ゼミ生をはじめとした大阪経済大学諸氏には、大いに活動の幅を拡げて欲しいと願っています。小職の方は、逆に過去の歴史に目を向けることになりませんが、企業統治の思想史のような研究をこれからはしばらくの課題として追究していきたいと思っております。

(経営学部教授)

## 理論を「実際」に活かせるように

船越 多枝

2023年4月から着任しました。私の研究テーマは、ダイバーシティ&インクルージョン、すなわち多様性を活かす職場や組織をいかに創るかです。ゼミでは本テーマを掘り下げます。多様性を活かすには、まず相互理解が不可欠です。そこで、初年度である今年は、「自身と相手を理解する」をテーマに、グループワーク等に取り組み、その理論と実際を学ぶ予定です。例として、ゼミ自体を疑似的な職場と考え、学生にリーダーシップや協働を体験してもらいます。学生には、そのようなゼミでのワークから気づきを得て、自身の行動に生かす力をつけて欲しいと考えています。学生と良い関係を築きつつ、共に学びを深めるゼミを目指します。

(経営学部准教授)



を育成することを目標にしています。実務経験やケース事例を紹介し、ビジネス英語の学習・ディスカッションの中で、皆さんのマーケティング知識、コミュニケーション能力、異文化理解力の向上を図りたいと思います。それぞれの英語レベルに合わせて授業をしますから、是非検討してみてください。Let's all work together!  
(経営学部准教授)

### 社会に生きる人間の意識を考察する

コン アラン

2023年に着任しましたコンアランです。専門は社会学で、ゼミのテーマは「社会構造と社会意識」です。2023年秋学期から、ゼミが開講されますので、ゼミの皆さんと会えることを楽しみにしながら、準備を進めております。ゼミでは、社会の不平等・格差・貧困といった社会問題が、人間の意識にどのように影響するかを、社会調査データを用いて検証し、考えることを課題とします。社会と個人の関係をマクロな視点から眺めることによって、両者の相互作用について理解し、社会をより深く考察することを目指します。これからのゼミを通じて、社会に生起する様々な問題を正しく把握し、諸課題に自ら取り組める人材を輩出していきたいと思ひます。  
(経済学部講師)

### 中国、香港はどうなっていくのか

黒坂 真

卒業生の皆さん、お元気ですか。この夏は厳しい暑さでしたね。最近、私が考えている事を簡単に記します。中国の不動産問題が深刻であることが報道されています。中国は高成長を続けてきましたが、この問題の解決は長引きそうです。日本も不良債権処理が長引いてしまいました。中国では、不動産会社の整理から不良債権処理を進めると、庶民は勿論、不動産取引で大きな利益を得てきた人々も大損をしかねない。中国の不況は、国家安全維持法制定による言論統制と強く関連しているように思えます。不況の原因について、知識層が本音で議論することができなくなっているように思えてなりません。これは香港でも同様です。中国、香港はどうなっていくのでしょうか。  
(経済学部教授)

### 他者を理解することの楽しさと難しさ

坂野 剛崇

「人の話をきちんと受け止め、他の人の自分とは異なる世界を理解する。また、他の人に照らして自己について理解を深める」をテーマに、インタビュー調査とその分析を行っています。学生が検討した結果、今年の課題は「オタクという人たちの世界」となりました。「〇〇オタク」と自称する方から、オタク活動を巡って、その活動の実際、隘路、悩み、成果、学んだことなど話をうかがっています。うかがった話については、質的な分析法を用いて整理し、オタクな人たちの実態を明らかにしています。学生たちは、インタビューに応じてくれた人たちの心情等を読み取るということを通して、他者を理解することの楽しさと難しさを体験的に学んでいます。  
(人間科学部教授)

### ゼミ活動に向けて

山本 直毅

2023年度、本学に着任させていただきました山本直毅です。私の研究領域の専門は、租税法学です。私は、大学生のときに、租税法学のゼミに参加し、指導教授の増田先生との出逢いが、現職の原点にあります。研究者として人の役に立つ研究を心がけています。学生時代には、多くの先生方、先輩・後輩にも恵まれました。ゼミ活動では、学生時代に私が経験したように、学生が自己の可能性を信じ、将来を切り開けるように、学生の自由な発想を尊重し、その主体的活動を中心に、演習を展開していきます。教育・研究活動では、恩師の学恩、そして、両親の愛情に報いることができるように精進したいと思ひます。  
(経営学部講師)

### OB、OGのみなさん、お元気でしょうか？

苦米地 なつ帆

卒業生のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。私は相変わらず元気に生活しておりますが、前期に身体的なトラブルが多発し(歯がとてつもなく痛かったり、人生で初めて肺炎になったり)、健康でいることの大切さを身に染みて感じた次第です。今年度卒業予定の4期生は20名で、みな卒業できるようにと研究

### EBPMによるまちづくりの取り組み

藤本 高志

長かったコロナ禍が開けて、通常のゼミ活動に戻りました。今年の2月には、ゼミ旅行に出かけました。「伊勢神宮鳥居前町の伝統的なまちなみ再生」と「もくもくファームの農業の6次産業化」について勉強しました。

ゼミでは、EBPM (Evidence-Based Policy Making) によるまちづくりに取り組んでいます。3年次には、3～4人のグループにより、ゼミ1に出場します。今年のテーマは、「ものづくりのまちづくり：燕市・三条市、大田区、東大阪市を事例に」「観光まちづくり：金沢市を事例に」「人口減少に耐えるまちづくり：和歌山県日高郡を事例に」です。  
(経済学部教授)

### 経済学に触れ続ける

友田 康信

私はこれまで公立大学、地方国立大学で教鞭を取り、2022年4月に本学に着任しました。本学における私のゼミの第一期生は、現在3年生です。

私の専門は、ミクロ・マクロ経済学に基づく応用経済理論研究です。経済学部の卒業生は在学中、多少なりともミクロ・マクロ経済学に触れたはずですが、経済理論は抽象的で興味を持ちにくいと感じたのではないのでしょうか。経済理論はそれだけで成立してはならず、現実の経済に対する興味・知識やいろいろな教養と合わせて、はじめて役に立つものです。学生時代よりも社会に出た後の方が、経済学は面白くなるはず。みなさんお忙しいとは思いますが、卒業後もぜひ経済学に触れ続けてください。  
(経済学部教授)

### 勇気への敬意

藤田 里実

先日生まれて初めて、エアロピクスを体験しました。そもそも運動嫌い、当然ながら足はもつれ、上げるべき手の右左もわからず、インストラクターさんの明るい声が頭を素通りするばかり。1時間のレッスンですが、心身ともにくたびれ果てて帰宅しました。

翻って、私は経営学部1回生が必ず受講する春学期授業「アカデミックスキル」を担当しているのですが、4月の1回生の気持ちがわかったように思ひます。周りに友人もなく、苦手に感じていることに取り組むのは大変な勇気があること。その場に立ち会っている私は、その勇気に敬意を表し、よりよいプログラムで共に学んでいきたいと思ひます。なお、エアロピクスを続けるかどうかは…検討中です。

### 無題

陳 俊甫

本年4月に他大学から本学に移籍してきました陳俊甫です。専門は経営学です。とくにサービタイゼーション(いわゆる、製造業のサービス化)、新技術の事業化と収益化、および動態的競争に関心を持って研究を進めています。秋学期から14名のゼミ生を迎え、正式に本学でのゼミをスタートしました。ゼミでは、サービスとサービス業にまつわる経営課題に取り組んでいますが、関連する理論知識の修得だけでなく、ゼミ生が主体となるPBL型学習にも注力をしています。試行錯誤する日々が続いていますが、ゼミ生の好奇心と自由闊達な発想を大切にしながら、その成長を全力でサポートしていきたいと思ひています。  
(経営学部准教授)

### 仕事で本当に使える英語を

マルチュケ ダービッド

Hello students! 経営学部のマルチュケです。キャンパスでの対面授業が通常に戻り、留学や海外研修を体験する学生や海外からの観光客も増えてきました。せつかつなので、英会話能力だけでなく、仕事で本当に使える英語力を一緒に身につけませんか？ 私はマーケティングとビジネス英語に特化したゼミを実施しています。専門知識を得ることだけでなく、国際的に活躍できる学生

### 伊藤ゼミ OB・OGの皆さんへ

伊藤 大一



こんにちは、伊藤です。残暑厳しく、ビールが美味しい毎日です。皆さんお元気ですか。伊藤先生は子どもの世話に明け暮れて、結構楽しくやっています。ワングル部の顧問も相変わらずやっていますが、子どもができてから昔みたいに学生とテント担いで山に行くわけにもいかず、こちらは細々と活動している状況です。娘ふたりも中学生ぐらいになったら「お父ちゃん嫌い」と言いだすと思うので、その時が来たら、また、学生に遊び相手になってもらいます。それまでは娘との時間を楽しむつもりです。皆さんも近くに来たら伊藤研究室に来てみて下さい。ほぼ毎日います。残暑厳しいですが、皆さんもお元気でお過ごし下さい。  
(経済学部准教授)

### 変わったり、変らなかつたり

北市 記子

これまで人間科学部メディア・デザインコースで展開されてきた学問領域は、2023年4月から情報社会学部に移管されました。それに伴って、私自身を含むメディア・デザインコースの教員の大半が情報社会学部に所属変更となっています。大経大に赴任する前に勤務していた二つの大学の所属先は何れも情報社会学部でしたので、個人的には古巣に戻ったような気もしていますが、卒業生のみなさんにとっては、少し寂しいような感覚もあるかもしれません。所属は変わりましたが、ゼミの研究テーマや研究室は変わっていませんので、ふと思ひ出したらぜひ大学に遊びに来てください。  
(情報社会学部教授)

### ことばの分析

野間 砂理

初めまして。2023年4月に着任した経営学部の野間砂理です。専門は言語学(音韻・形態・統語)で、分析の対象としている言語はドイツ語です。私のゼミでは文法規則の分析は扱わず、話者の背景知識と聞き手の読み取り方(ロー/ハイコンテキスト)、言葉のアップ/ダウングレード機能を取り上げ、言語と文化や歴史との結びつきを探っていきます。ゼミで学んだ言語分析が後の社会人生活で生かされると良いなと思ひます。  
(経営学部准教授)

### コロナ禍を克服したゼミ生たち

小川 貴之



2020年度秋学期にゼミが始まった時、コロナ禍真っ只中だったこの学年の頑張りには目を見張るものがありました。オンラインで実証方法を学び、独自の分析を進め、論文にまとめて行くプロセスは、多くの困難を伴ったものと想像します。しかし、彼女らが強くモチベーションを保ち、全員が揃って卒業できたことは、私の教員生活の中でも印象深いものとなりました。論文報告会後の打ち上げは楽しかったね!また、行こう! 学習成果は論文に現れ、多くの評価を得ました。学生奨学論文において、川本滯希さん、北川滯梨・藤原萌さんがそれぞれ佳作を、佐々木渚月さんが努力賞を受賞されたことは二重の喜びでした (<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/thesis/>)。  
(経済学部学部長・教授)

### 社会人とリスキング(学び直し)

杉田 武志

(ここ数年の)近況を少しお伝えします。2019年に英国での在外研究を終えたのち、英語による学部生向けの講義「Financial Accounting」を担当し始めました。さらに、以前から担当している大学院での社会人向けの研究指導(会計学)に加えて、ここ2年ほど本学の中小企業診断士登録養成課程における担当講座「財務分析の進め方」を通じて、多くの社会人の方と交流を図っております。英語での講義や養成課程の担当などの準備そのものは、私にとっても学び直しを要する一つの機会となっています。社会人もリスキングないしスキルのアップデートが求められる昨今。動く上で学び直しの必要性を感じたらお声がけください。相談のります。  
(情報社会学部教授)

### 悔しさをバネに団地建て替え問題に取り組む

高津 芳則

2023年度、国内留学で一橋大学の研究員になっています。一橋大学図書館で、腰をすえて研究ができると楽しみにしていましたが、昨年4月、私の住む団地(分譲マンション)が建替え決議を可決してしまったのです。もちろん私は反対しました。団地解体再建の3年間、短期の賃貸生活を強いられることになりました。今年春、引っ越しをしました。引っ越し先の家に積まれた段ボールの山に囲まれて、すでに秋の声です。一橋大学の図書館は、数回通っただけです。この悔しい思いをバネに、いま、団地建て替えに関わる情報開示問題で、行政の不正とたたかっています。  
(人間科学部教授)

### 経営学部ビジネス法学科黒田ゼミご卒業の皆さん

黒田 尚樹

皆さん、ご活躍のことと思ひます。どんなきっかけでこの頁を開いたかわかりませんが、「懐かしいな」とか「行き詰まってるな」等と感じているようなら気軽に連絡ください。愚痴を聞くくらいはできますので。黒田ゼミはこの秋から15期生を迎えます。先日はコロナ明け、久々のゼミ合宿を行いました。来月は新歓コンパです。かつては年に数回実施していた他の大学との法律討論会は無沙汰です。ゼミで学んだ法的思考力が社会人になったみなさんの生活の一部に溶け込んでいることを祈っています。それから、ゼミにもいつでも参加してください。後輩たちに声をかけてあげてほしいと願っています。連絡を待っています。nkuroda@osaka-ue.ac.jp  
(経営学部准教授)

### やっと普通の大学

米川 雅士

大変な3年間を超えてゼミ旅行が全面解禁となり、4年生はナガシマスパーランドから名古屋、3年生は飛騨高山から下呂温泉、2年生は伊勢志摩を周遊し、ゼミ生と様々な体験や話をする事ができ、やっと以前の大学に戻ってきたと実感しています。また、大樟祭などの行事や授業についても普通に実施されてきています。卒業生の皆さんも気軽に大学に遊びに来てください。その際は皆さんの生活や仕事の環境も変わってきたと思ひますので、ぜひ近況を聞かせてください。  
(情報社会学部准教授)

### ゼミ 20周年、学部 60周年

江島 由裕

早いもので、今年の秋、ゼミ20期生を迎えます。そこで、これまでのゼミ活動をトレースしてみました。必死になって取り組んだプロジェクトなど、思ひ出しませんか。経営学部も今年60周年を迎えます。機会があれば、是非、キャンパスにお立ち寄りください!



ゼミのテーマ/対象・協力企業の変遷	
1期生(2005)	創造的中小企業の現場研究
2期生(2006)	創造的中小企業の現場研究
3期生(2007)	お店の解剖(仮想クライアント)
4期生(2008)	お店の解剖(タリーズコーヒー)
5期生(2009)	お店の解剖(オコノミヤキダイニング)
6期生(2010)	人気店の解剖(クリスピークリームドーナツ、時屋、ユナイテッドアローズ)
7期生(2011)	人気店の解剖(テネリタ、シュクレテラス、上新庄周辺ラーメン店、古着店)
8期生(2012)	人気店の解剖(PABLO、FLYING TIGER COPENHAGEN)、CSR研究(パタゴニア、Lee Japan)
9期生(2013)	エシカルなハンカチの調査・企画・デザイン・販売(興和)
10期生(2014)	エシカルなハンカチのPR・販売:大阪コラボ博への参加
11期生(2015)	キラッと光る一品プロジェクト:ポトルシップ&朝来茶(東急ハンズ三宮店)
12期生(2016)	大経大生が見つけた地方創生/キラッと光る一品パネル展(緑活:あべのハルカス)
13期生(2017)	The Stay Osaka心斎橋のマーケティング調査/パイヤープロジェクト(ギフトショーへ参加)
14期生(2018)	The Stay Osaka心斎橋の魅力アップ提案
15期生(2019)	人をいかに動かすか(電通、電通デジタルマーケティング、ベネッセ、平和堂、近鉄不動産、ダイワハウス)
16期生(2020)	西栗倉村の魅力発信(レシビ開発/合奏動画)
17期生(2021)	学生が選ぶ動きがい大賞の審査
18期生(2022)	かちぞう(価値<創>造)ゼミへの参加 with 関大、近大、京産(コクヨマーケティング他)

(経営学部学部長・教授)



に動んでいます。先日みなさんの卒論集を読み返す機会があったのですが、改めて1期～3期生のみなさんが一生懸命に卒論に取り組み、質の高い研究をしてきていたことに気がつきました。4期生もみなさんと同じか、それ以上の高い水準の論文を完成させられるよう一丸となって頑張りたいと思います！  
(情報社会学部准教授)

### 坪田ゼミの皆さんへ

坪田 祐季

本学に着任して5年目、この春で3期生を送り出すことができました。卒業したゼミ生の皆さん、お変わりありませんか。

大学は対面授業も再開され、ゼミ活動でも様々な体験や企画ができるようになってきました。今年度は地域の放課後等デイサービスに訪問して子どもと関わったり、学生が考えたプログラムを行ったりしています。

コロナ禍の様々な制限が緩和されましたが、皆さんの仕事や私生活への影響はいかがでしょうか。まずは心身の健康が一番です。健康に気をつけながら、社会で多様な経験を積み重ねていってください。皆さんの近況をメールでもLINEで知らせてくれると嬉しいです。何かの折に、皆さんに会えることを楽しみにしています。  
(人間科学部准教授)

### わくわくしていますか

高井 逸史

卒業生の皆さん、わくわくしていますか。今年から人間科学部に「社会ライフデザインコース」が開設されました。私もスポーツ健康コースから「社会ライフデザインコース」を担当することになりました。このコースの長は、現代社会の課題解決を探究するため、医療や防災、住まい、SDGsなど幅広い分野を横断的に学べ実践できることです。とってもステキでしょう！高井ゼミは相変わらず、高齢者の健康づくりの演習を進めています。写真は一般社団法人mini light Molky協会の方に来ていただき、ユニバーサルスポーツを体験しました。座学から社会に役立つ学びは得られません。困っている人を見かけたら見てみぬふりをせず、立ち止まり声をかけてください。きっと体内に化学変化が起こりますよ。  
(人間科学部教授)



### 何かの「きっかけ」となる授業を目指して

田村 太一

2023年4月に着任しました田村太一です。本学経済学部での担当科目は「アメリカ経済論」で、主にアメリカ多国籍企業の行動や国際分業について研究しています。私の学部時代を振り返ると、私は世界経済史のゼミに所属し、アダム・スミスの「国富論」を輪読しながら、現代的な意義を議論するというをやっていました。また、現代資本主義論の講義を受講するなかで、現代の経済課題に関心を持つようになりました。いまこうして研究者になっているのも、こうした授業やゼミでの学びが大きなきっかけとなっています。私も授業やゼミでの活動を通して、学生に何かのきっかけを与えることができたらと思います。  
(経済学部教授)



### 5年目のゼミ

稲岡 大志

卒業生のみなさん、お元気でしょうか。今年度で本学に着任して5年目となりました。ゼミ生も今年で第5期です。3期生は現在卒業論文に取り組んでいます。学生が自身の知的関心を論文というかたちにするのはなかなか大変なようです。今年度は4年生に後輩のゼミ学生に就職活動のアドバイスをしてもらうなど、少しずつ上下のつながりが出てきました。(これまでゼミっぽいことをあまりやってこなかったので少し反省しています)

研究面では、4月から日本ライヴニッツ協会の会長を務めています。8月にはドイツで開かれた国際学会に参加して二つ研究発表をしました。今後は海外の出版社から研究書を刊行することを目指します。  
(経営学部准教授)

### 上新庄フィールドワーク

酒井 大策

経済学部の酒井です。現在、少人数でフィールドワークなどを行い、地域を調査する授業を担当しています。この授業では、上新庄を中心とした大学周辺を歩いて調査することを、フィールドワークの一つとして実施しています。大阪経済大学の学生であっても、通学で通るだけで、大学周辺についてほとんど何も知らない学生がたくさんいます。そういった学生たちに、実際に自分の目で見て、上新庄・東淀川区について学び、データ等を組みあわせながら、課題をどのように解決していくべきか提案する授業を行っています。学びに加えて、大阪経済大学のある上新庄・東淀川区に興味を持ってほしいと思いからこのような授業を行っています。  
(経済学部准教授)

### 誰もが適切な医療を受けられる 安心安全の社会の実現のために

石原 礼子

2023年4月に人間科学部に着任しました石原礼子と申します。本年度より新しく開講されたカリキュラムである、社会ライフデザインコースの一員として、「医療社会学」等を担当しています。私の専門は「公衆衛生」で、健診や医療費データを用いて医療政策の評価や健康格差について仮説検証型の研究を行って参りました。誰もが適切な医療を受けられる安心安全の社会の実現のために、何をどうしたら良いかをevidenceで示せるよう、研究、教育に励んで参りたいと思います。  
(人間科学部教授)

### 大樟会ホームページをリニューアル！

本部、支部、OB・OG会などの情報の他、新たなコンテンツも充実。見やすく、使い勝手も改善しました。ぜひ、ご覧ください。

大阪経済大学大樟会

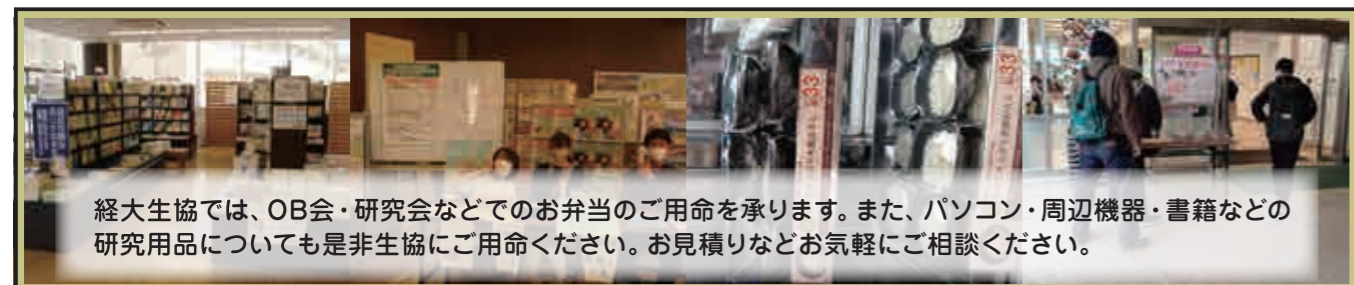


### 「澁江」購読料のお願い

自らの購読料で「澁江」を育てよう！

皆さまのあたたかいご理解とご協力に感謝いたしております。引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。



経大生協では、OB会・研究会などのお弁当のご用命を承ります。また、パソコン・周辺機器・書籍などの研究用品についても是非生協にご用命ください。お見積りなどお気軽にご相談ください。

### 大阪経済大学生協同組合

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐3-16-10  
TEL.06-6379-2230 Fax.6379-2232 URL.https://oue.u-coop.net/  
e-mail oue-coop@univ.coop

## クラブ・企業とのスポンサー契約

### ハブ [陸上競技部]

伊勢駅伝で活躍した陸上競技部と英国風パブを経営する株式会社ハブがユニフォームスポンサー契約を締結し、10月2日に発表会が行なわれました。ハブの太田剛社長は本学陸上競技部OB。西本一弘OB会長(49回・常務理事)の1年後輩で、西本氏からの支援要請に応じていただきました。契約は2023年10月1日から3年間で、合宿や遠征などの費用に充てられる予定です。「HUB」のロゴ入り新ユニホームは、早速、10月9日に行われた出雲駅伝から使用されました。「HUB」のロゴを着けたユニフォームで、2024年も同部のさらなる活躍を応援しましょう！



### 安藤パラケミー [バスケットボール部]

バスケットボール部「DOLPHINS」のスポンサーとして、化学品専門商社である安藤パラケミー株式会社(代表取締役社長:佐久間導人氏)の支援をいただくことになり、2023年9月5日、契約発表会が行なわれました。1952年創部の同部は、関西学生バスケットボール連盟1部に所属で、同連盟では、本学が初めてのスポンサー契約となります。2023年9月2日(土)の関西学生バスケットボールリーグ戦(1部リーグ)から「安藤パラケミー」のロゴ入り新ユニフォームでプレイしています。

同部の2024年のさらなる飛躍を期待しましょう！



### 株式会社エーアイティー、株式会社ピーエス三菱、株式会社OSPホールディングス、タニコー株式会社 [サッカー部]

サッカー部のスポンサーとして各社から支援をいただき、ユニフォームにロゴを表示しています。



### 【叙勲】

おめでとうございます。

旭日小綬章 辰見 登さん(36回)

令和4年春の叙勲で、旭日小綬章を受章されました。辰見さんは、昭和45年、大阪経済大学経済学部卒業。平成9年に茨木市市議会議員に初当選され、平成26年には議長も務められました。このたび、長年にわたる地方自治への功勞に対し、旭日小綬章が授与されました。

### 【訃報】

永年にわたり、大阪経済大学柔道部師範を務められ、現在、大阪経済大学柔道部名誉師範でありました西岡弘先生(講道館九段)が令和5年5月8日享年98歳でお亡くなりになりました。

先生は昭和から平成にかけて五十数年にわたり本学柔道部のご指導にあたられ、350名の部員が師の指導を受けました。関西大会では全国大会出場の快挙を果たし、その後も師の指導と伝統を受け、強豪校として活躍するなど、本学柔道部の発展にご尽力いただきました。その多大なる功績に深く感謝申し上げるとともに心からご冥福をお祈りいたします。

大阪経済大学柔道部OB会

### 【訃報】

令和5年9月6日、新堂友衛氏(21回・本学経済学部卒・92歳)がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみを申し上げます。新堂氏は、大阪市信用金庫(現大阪シティ信用金庫)元理事長・会長。大阪経済大学の評議員、理事も歴任されました。



# お世話になった先生からの お元気なお便り

(敬称略・順不同)

## 60年ぶりの手術・入院

梅原 英治

みなさん、お元気でしょうか？ 私は2021年3月に退職し、いまは名誉教授となって自宅で研究生生活を送っています。在職26年間、健康診断を受けなかった私ですが、昨年8月、気まぐれに人間ドックで診てもらったら、前立腺がんと十二指腸潰瘍の診断。十二指腸潰瘍は薬で治療し、前立腺がんは全摘手術を受けることに。中学時代に盲腸の手術をして以来60年ぶりの入院です。手術後の経過も良好で、いまは普通に生活し、ゼミの卒業生との飲み会などにもホイホイ出かけています。みなさん、健康診断は受けた方がいいですよ（「まあ、遅かれ早かれ、病気になるときはなるけどね」とあまり反省していない私からですが）。みなさんのご健康を祈っています。



## 私の歴史勉強

久保田 諄

昨秋、かつての経大のサークルの諸君が私の卒寿を祝って、私を励ましてくれました。この喜びは終生忘れないでしょう。九十歳を超えた今は唯々、諸君の多幸を祈るばかりです。停年後、私は古文書解読を始め、生涯教育教師の資格を取りました。天文学は勿論やっていますが、昔の人々が書残した日記などを読むと、当時の生活が見えて来ます。専門家の様な厳密な考察はできませんが、多くの本に書いていることがいかに上っ面で勝者の記録に過ぎないことが次第に分りました。また、意外な事実が驚くことがあります。かつて平安時代に上賀茂神社の荘園が三河・遠江にあり、上賀茂から多くの人が移住しました。特に室町時代初期に上賀茂社を二分する紛争があり、その敗者たち多くが三河方面に逃れ、彼らは松平郷や岡崎附近に住みつき、武士団を作りました。徳

川(松平)氏と四天王は決して清和源氏ではなく、賀茂族と同族であったとの伝承があります。彼らは他と違って知的で結束が強かったのは同族のせいです。こんな勉強は面白くて止められません。

## 70代退職後の日々

片山 麻美子

ゼミ生のみなさん、お変わりありませんか。この度、大阪経済大学の勤務を無事終えました。ミカン狩りや、箕面の滝、台湾など、楽しかった合宿や飲み会を思い出します。辛抱強く付き合ってくださいありがとうございます。現在は完全引退後、老夫婦で旅行し、野菜や花を育てながら元気で暮らしています。さて機械音痴の私が、昨年やっとスマホを始めました。ところが旧携帯からの移行が不首尾で、ゼミのライントークが見えなくなっているかもしれません。ゼミ仲間の連絡先は、大学メールkatayama@osaka-ue.ac.jpや当時の携帯の電話番号でお知らせできます。私が認知のトワイライトゾーンに何とかとどまっている間にお試しあれ。

## 「囲む会」に感謝

滝内 大三

私の卒寿を記念して、ゼミ卒業生の方たちが「囲む会」を開催し、京都まで来ていただきました。皆さん立派になられ、こんなにうれしいことはありません。なかには、卒業以来初めて会う人もいて、名札を見てなつかしさがこみあげてきました。新潟、富山、岡山、高松など、近畿地方以外からも来ていただき、身に余るスピーチを頂戴したことは、数々のプレゼント以上の喜びでした。自分の子どもも大経大を卒業させたという方も複数いて、ありがたいことだと思いました。次回は米寿にとのこと、それまで元気でいたいものです。人間関係が希薄になり、こうした会を開催するのは、年々難しくなっていることでしょう。幹事の方々のご苦労に改めて感謝申し上げます。



## ストックの経済

稲場 紀久雄

私は、25年余り前から「本当の豊かさとは何か」という問題を折にふれて考え、「豊かさ方程式」も創った。更に15年余り前から水制度改革運動を起こし、「健全な水循環とは何か」という問題と取組んで来た。今年(2023)の早春のある日、「豊かさ方程式を水循環の健全性に適用してみれば」という着想が浮かんだ。そこで、方程式を水循環問題に適った形に変形して考えてみた。すると、健全な水循環に至る道筋が分かったのだ。要点は、「ホメオスタシス(恒常性)」と「(欲望の)抑制文化の創出」だった。いずれも「ストックの経済」に係る。この発見が嬉しかったが、気付くのがいささか遅すぎたと苦笑したのだった。



## 時の流れるままに

六浦 英文

脳内の「ビッグデータ」は年齢とともに変わっていくものらしい。  
【若い時】「存在」「意識」「自我」「他者」「絶対者」「時間」「空間」「意識下」「構造」「鏡像」等  
【現在I】「無糖」「低塩」「抹茶懐石」「回転寿司」等  
【若い時II】「デカルト」「カント」「ショーペンハウアー」「ヘーゲル」「フロイト」「チューリング」「ナッシュ」「アインシュタイン」「ゲーテ」「ニーチェ」「トーマス・マン」等  
【現在II】「クロピドグレル」「アムパロ」「スーグラ」「アマルエット」等(以上は薬局の薬の名前)

## 卒寿

松原 和男

昨年、満91才になり、「卒寿」を過ぎました。この数年、心不全や脳梗塞で入・退院を繰り返していましたが、さいきんは、やや安定しているようです。もっとも、体のふらつきはひどく、家の中でも杖なしでは歩けませんし、通院の際にも、車で息子に送ってもらっています。そんな状態ですので、ゼミの卒

業生の集まりにも、参加できなくなりました。「卒寿」は、本来の意味では、90年生きた祝いなのですが、私にとっては、人生の卒業のように思われます。そんな訳で、体はダメになりましたが、頭はまだ少しは動くようです。残された時間に経済変動の問題を今少し考えたと思っています。なお、数少なくなった友人たちとは、電話で近況を話し合っています。諸君とも、電話で話すことができればうれしいのですが…。

## 新たなスタート

大橋 範雄

今年4月より名誉教授となり27年間在職した経大を退職し、講義の準備から解放されました。ようやく研究者としての生活をスタートさせたわけですが、予想したように研究三昧の生活というわけにはいかず、整理に追われる毎日です。雑用を片付けドイツ労働法研究、とりわけ労働契約論という視点から派遣労働関係の本質解明を追求し続けようと思っています。先日5月に柔道部OB会による囲む会を開催していただき、共に汗を流した元ゼミ生や卒業生の皆さんと久しぶりに再会し、しかも皆元気にそれぞれの分野で活躍していることを知り当時を思い起こし楽しいひとときを過ごせました。ゼミOBも労働法が実生活で役立っていればとの思いを強くしました。

## すっかりポンコツになりました

渡邊 泉

あつという間に卒寿です。人生まさに泡沫。これまでの研究生生活の総決算として、今年の7月に『会計と倫理—信頼と公平を携えた800年の歴史』(同文館出版)を上梓しました。タイトルには会計とありますが、内容は、哲学なのか経済学なのか、得体のしれないものになりました。よくぞ出版社が引き受けてくれたものです。感謝に堪えません。60年来の口の悪い友人に言わせると「カバーはよかった」とのことです。1度本屋で見せて下さい。東京の代官山の蔦屋書店では、解説文つきで平積みしてくれたそうです。編集者と営業の皆さんのおかげです。一体どれだけの人が読んでくれるやら。それはともかく、さて、残された時間、何ができるのか…。

わたしたちは  
お客様に  
寄り添う  
**シゴトバ  
コンサルジュ**  
で、あり続けるために。

膨大な商品や  
サービスを  
お伝えしたい！

バックオフィス改革のお手伝い

お客様に合う  
次の働き方を  
学びたい！

各地域の事例を  
たくさん  
知っているから  
もっと活かしたい！

もっと  
知りたい！  
お客様のことを

NIKKO  
**株式会社日興商会**

オフィス創りの総合商社 IT 関連商品・オフィス家具・LED照明・事務用品・印刷物

本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06-6487-1401 Fax. 06-6487-1414  
支店 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他

おすすめ商品は  
こちら！

**広済堂ネクスト**

学校経営を支援する  
多彩なソリューションを  
ご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、  
学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、  
学生のキャリア教育、就職支援、同窓会事務局の運営支援等、  
円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください  
**株式会社広済堂ネクスト**  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2F  
Tel. 06-7178-0530  
<https://www.kosaido.co.jp/>



## 「BE ACTIVE」新たな挑戦、改革 私たちは「動」く会社であり続けたい

(上新庄駅設置の看板より)

クリヤマホールディングス株式会社 代表取締役 CEO 社長執行役員  
小貫 成彦 氏 (57回)



浅田真央さんのCMでおなじみの「クリヤマホールディングス株式会社」本社に、小貫社長をお訪ねしました。小、中、高はサッカーに打ち込まれる毎日だったそうです。「大学では良き友人に恵まれ、その交流の中で人間としての視野を広げることができました。また、関西一円の学校が参加するサークルに所属し、テニスや野外活動を楽しみました。そこで経験した多彩な仲間との交流は、私の人間形成にとって大きなプラスとなりました」。

大学最後の試験が終わった後に、高校、本学と共に学んだ友人と1ヶ月半のアメリカ冒険旅行に出発されました。「ところが、帰国すると1科目不可で留年という悪夢のような現実が待ち受けていました。内定が決まっていた会社からは、取り消さないで入社するよう勧めていただきましたが、中途半端なことはしたくないのでお断りしました」。

「1年後、卒業も決まり周りの方の紹介で内定を頂いていましたがやはり、一から自分の力で就職先を決めたいとの思いが強くなり、2月に就職課へ行きました。課長の小池さんが『午前中に、クリヤマさんという会社が来年の就職依頼に来られたが、君の希望通りの会社でした』とおっしゃるので、すぐに電話をして下さいとお願いしました。クリヤマの人事担当者からは『今年の受付は締め切りました』との返事でしたが、電話を代わっていただき猛烈に自己アピールをしたところ『明日、来られるか』との答えが返ってきました。次の日訪問し、再度熱弁を振ったところ『来月の最終面接に来なさい』と言われました。何と、最終面接は1週間後で、見事合格されました」。

「入社時の部長さんは後の3代目社長になられた方で、目をかけていただきましたが、決して温情で人事をされない方でした。私は同期の中でも課長になったのは遅い方で、後輩にも抜かれていきました。『認められる為には結果を出しなさい』と、よく言われました。2007年に、当時普及し始めた人工芝部門の新設課長に就任しました

が、財閥系の会社相手に大苦戦でした。本学グラウンドの受注競争で敗北したことは、今も忘れられない苦い思い出です。入社以来22年



間スポーツ関係の部署にりましたが、2013年に建設資材営業部長に就任しました。畑違いの部署でしたが、翌年にV字回復を成し遂げました。そのすぐ後に、私を導いてくださった恩人は亡くなりましたが、最後に恩返しができました」。

この取材は、8月7日に行いましたが「実は、明日で就任後1年になります」と言われたので、この1年で取り組まれたことをお聞きしました。「当社は海外での事業展開を幅広く行っていますが、海外出向者の年齢が高くなる傾向にあります。若い方が海外勤務を嫌うという思い込みも原因の一つだと考え、アンケートを取ってみました。すると積極的に手を上げる社員が多数おられたそうです。「そのような社員の本気度を確かめる為に、直接会って話す場を設けました。来年には、グローバルにチャレンジできる人事制度を立ち上げます」。それ以外にも、若い社員とコミュニケーションを取ることを大切にしておられ「何回かの座談会で『どうしたら社長になれますか』と、複数の社員に質問されました。ビックリしましたが、とても嬉しかったです」。専門性を高めたいと望む社員や、より高みを目指す社員の為の教育、研修に力を入れたいと力説されました。ホームページにある経営理念の中に「社員の豊かな生活を築き、家族ぐるみで愛される会社」とあります。「インフレ手当ては、アルバイト社員にも支給しました」。小貫社長は「大きくするより、力強い会社にしたい」と言い切られました」。

最後に在学生へのアドバイスをお願いしました。「学生時代は時間に余裕があります。色々なことに興味を持ってチャレンジしてください。そこで得たものは今後の人生にとって大きなプラスになると思います」。また、ご自身の経験から「海外に飛び出してください。きっと素晴らしい出来事が待っています」。その体験は社会に出た時に必ず役立つとも言われました」。

(聞き手=広報部部長・田中伸治、広報部・河内龍澈)

**略歴** 1966年神戸市生まれ。兵庫県立東灘高等学校卒業。1991年3月本学経済学部卒業。同年4月クリヤマ(株)入社。2022年8月クリヤマホールディングス(株)代表取締役CEO社長執行役員就任。クリヤマホールディングスは、北米・欧州・南米を拠点にホームメーカーとしてグローバル展開を加速させる一方、国内では建機・農機メーカーのTier1サプライヤー、商業施設やスポーツ施設の総合床材メーカー、スポーツアパレルの販売と多角的に事業を展開。資本金7億8371万円。東証スタンダード市場上場。

## 成功のチャンス、 偉くなるチャンスは飲食業にあり

KRフードサービス代表取締役社長  
望月 進 氏 (61回)



関西や関東を中心に和食レストランチェーン「かごの屋」「上高地あずさ珈琲」などの店舗の運営を行う株式会社KRフードサービス代表取締役社長望月進さんにお話をお聞きしました。

\* \* \*

祖父、父親ともに公務員、母親は中学校の音楽教師という、堅実な家庭に育ちました。小中学校とも地元の公立校で学び、中学校では学年で上位の成績でしたが、反面、その頃から親の希望と自分の考え方が違うことを感じるようになり、高校進学は親の意向には沿わず、自宅から一番近い、自由な校風の県立高校に進みました。飲食業に興味をもち、将来はオーナーシェフのようなことをして会社を創り大きくしたいと思い、高校卒業後は調理専門学校行きを希望しましたが、親から大学進学を諭され、1年目は受験せず、一浪して本学に入学しました。本学へは、先に行っていた友達から勧められ、また経済を勉強して偉くなりたいという目標もあって、行くことに決めました。大学時代は親に世話になりたくない思いから実家を離れ、下宿生活でした。入学後、卒業までの4年間は大学へ通いつつ、梅田にあるイタリアンレストランの厨房でアルバイトをしていました。学生生活が学業とバイトに明け暮れていたわけでもなく、友達と卓球、麻雀、ビリヤードなどでよく遊びました。大学時代の友人とは今でも付き合いがあり、妻とは1回生時イベントサークルで知り合って付き合い、大学卒業後すぐに結婚しています

就活はアルバイトで学んだ料理の経験を生かしたいこともあり、大阪ガス系で料理もあって、これから一気に伸びそうな今の会社を選びました。当時「かごの屋」は10店舗ほどでした。店舗での勤務を経験し、3年ほどして店長に昇格しましたが、その頃、経営母体が大阪ガスの子会社の関係でプロパーでは社長になれないことに気付きました。ところが大阪ガスが子会社の株をファンドに売却、ファンドによる経営でその結果人事が一新され、部長に昇格しました。ファンドになってから様々な研修で経営学を学び、31歳で東京立ち上げのプロジェクトマネージャーとして東京へ転勤になりました。この時最初の苦難を経験しました。大阪ガスのタガが外れて東京進出を実現、人口が関西の3倍ある東京に行けば、3倍の売り上げがあると見込んでいたところ、全く売り上げは上がりませんでした。色々と試行錯誤を繰り返しましたが結果が出ず顔面神経痛になるくらい悩みました。結果的に近所の主婦をターゲットにしたところ、4年目にしてようやく売り上げを伸ばすことができました。その後、8年



目にして26店舗に拡大させることができ、関西に戻りクリエイティブ・ホールディングスと資本提携、2019年に念願の株式会社KRフードサービスの社

長に就任しました。しかし、就任2年目にして今度は新型コロナウイルス禍の拡大でした。売上がゼロになれば毎月大きな損失です。事務所の移転を敢行したり、各種メンテナンスなど外注していたものを全て内製化することになりました。そうしているうちに政府から助成金が下り、かごの屋の店舗も20店舗ほど閉店させて、何とか危機を脱することが出来ました。お陰で会社の数字を見直すなど、良い経験になったと前向きに捉えています

座右の銘は「ワンライフ」、人生は1回しかないのでやりたいことをやろうということです。若い社員にもやりたいことがあったら自ら手を上げてアピールするように進言しています。今の学生さんには、大学時代は時間があるので海外旅行にも行ってほしい、ネットの時代でもしっかりと本を読んでほしい、他人に依存せずに自分で生きて行く力をつけて将来の道筋を見つけてほしいと思います

これから社長を目指す学生さんへのアドバイスとして、何のために社長になりたいかということをよく考えてもらいたいと思います。私の場合は1軒の店でミシュランの三ツ星をもらうことよりも自分が美味しいと思う料理を出来るだけ沢山作って、沢山の人の味わってもらう、少人数より多人数に知ってもらえる方が世の中に貢献出来ると思っています

かごの屋の店舗が増え、沢山の人が店に来てもらえば、より沢山の人がかごの屋の味を知ってもらうことになり、従業員の労働意欲も高まります。そしてそこで働くお父さんが店長をやっていることで家族に自慢でき、家族の記念日にその店に家族を連れて行って食事を楽しんでもらう。こういうことが社長冥利に尽きます。会社の経営理念に「最高のごちそうさま」という言葉がありますが、これは料理やもてなしに対してだけではなく、前日から部屋や席の配置などあれやこれやと準備してその日を迎える。その手間ひまなどを総合的に感謝していただく意味です。KRフードサービスの店舗数は現在、国内とタイ、合わせて146店舗になりましたが、これから社会的影響力を高めるためにさらに会社の規模を大きくしていきたいと考えています。そのためにも労働力や、従業員の賃金を上げてこの世の中を勝ち抜いていきたいと思っています

最後に大学との関わりとして、飲食業はやりがいのある仕事であり、飲食業界の現役社長として大学での講演依頼があれば、いつでもお受けしたいと考えています。(聞き手=広報部副部長・天野康弘、広報部・松浦雄一郎)

**略歴** 1973年、兵庫県神戸市生まれ。県立星陵高等学校卒業。1996年、本学経済学部卒業後、飲食業を展開する大阪ガスの子会社に就職。以後、大阪ガスの撤退に伴いファンドによる経営に移行。31歳のとき東京進出を果たす。2015年に飲食業大手のクリエイティブ・ホールディングスと資本提携、2019年株式会社KRフードサービス代表取締役社長に就任。



## 「自分の中の内なる声」を大切にし、新しいビジネスモデルを構築する

名央産業株式会社社長  
山口 安彦 氏 (44回)



本日は、名央産業株式会社、山口安彦会長のインタビューを吹田市にある大阪店で行いました。

名央産業さんと聞いてもどんな会社か想像できませんが、店舗名の「無限堂」さんならご存じの方が多いと思います。新聞、テレビ等でよく紹介される厨房機器やオフィス家具、機械工具のリサイクルショップです。本社は名古屋市中区、愛知、大阪、東京に4店舗を展開されています。昭和30年、徳島県神山町のお生まれです。「地元には中学までしか無く、高校は徳島市に下宿して通いました」。子供の頃から絵を描くのが大好きな少年だったそうです。

本学では広告研究会に所属され、部長も務められました。「私が4回生の時、下級生の濱田君(注1)と西村君が漫画倶楽部を立ち上げたいと言ってきましたので応援しました。そこに外部から山田君(注2)が加わりました」。山口さんがおられなかったら、濱田さん、山田さんという二人の漫画家さんは生まれていなかったかもしれません。

卒業後は地元徳島の印刷会社に就職されましたが、本学の同級生で婚約者(現在の奥様)の薦めで彼女の住む名古屋のデザイン会社に転職されました。「所が、大好きな絵に関連したデザインの仕事を続けて年を取った自分の姿がどうしても想像できなくなってきました。私は『自分の中の内なる声』を聞くことを大切にしていますが、そんな時に会社が倒産しました」。同業他社からの誘いもあったそうですが、内なる声に従い奥様のご実家の会社に入られました。その会社は当時、大量に生産され全国に販売されていた名古屋佛壇の出荷用木枠を作る会社でした。「その頃、東京でリサイクルショップという新しいタイプの店ができた」と聞き、興味を持ちました。また、各地に「リサイクル運動市民の会」が立ち上がり、不要品交換の為に冊子を発行されていたそうです。「私も参加して活動していましたが、これを事業化するにはやはりリサイクルショップが必要だと考えました」。



1982年に会社の新部門として愛知県小牧市に46坪のリサイクルショップ「無限堂」を開店されました。「愛知県では初めての店でしたのでマスコミが殺到しましたが、正直なところ答える私の方も素人同然でした。思い起こすと冷や汗ものです」と笑われました。

3年間位の試行錯誤の末に、やっと軌道に乗せることができました。しかし、1990年代に入るとリサイクルショップブームが起り、回りにライバル店が林立しました。それらの店は家電製品などの家庭用品専門でした。そこで、2000年頃から我が社はオフィス家具、厨房機器、機械工具に特化していきました。山口さんのピンチをチャンスに変える柔軟な発想力が、今日の成功の源だと思います。その後、2002年に吹田市に大阪店、2012年に東京町田店、2018年に東京足立店をオープンされました。「初期の頃はタウンページへの広告、1998年には他社に先駆けてHPを立ち上げました。息子が得意だったため、早くにネット環境を整えられたのも勝因でした」。広研で広告の大切さを学んだことが生きたとはい切られました。

実は、濱田さんへのインタビュー時に山口さんを紹介していただきました。濱田さんは「先輩は、学生時代から電気器具の修理をしたり、ガラクタを集めて家具を作ったりするのが得意でした」と言われたと伝えますと「その辺りが『無限堂』の原点かもしれません」とのお答えでした。

最後に在学生へのアドバイスをお願いしました。「人生には必ずターニングポイントがやってきます。先ほど申しましたが、その時に『自分の中の内なる声』を大切にしてください。他人のアドバイスの声は、ほとんどが『現状維持』です」。

(取材=広報部部長・田中伸治、広報部・河内龍澈)

注1 漫画家 ペンネーム「風狸けん」本号より表紙担当(右ページ参照)

注2 漫画家 山田章博氏 在学中に「ぼだんぼだん」でデビュー、小説「十二国記」絵師

**略歴** 1955年徳島県神山町生まれ。徳島市立徳島高等学校卒業。1978年3月、本学経済学部卒業。岡本ゼミにて「多国籍企業論」を学ぶ。印刷会社、デザイン会社勤務の後、名央産業株式会社に入社、現在代表取締役会長。

## 母校で漫画倶楽部を結成、小池一夫劇画村塾で研鑽を積み、プロの漫画家へ

漫画家  
風狸けん (本名: 濱田芳郎) 氏 (47回)



風狸さんは「江戸釣百景 ぶらり百竿(ひゃっかん)」(ビッグコミックス/小学館)をはじめ、数々の青年コミックを手掛けるプロの漫画家。また、早くから漫画制作にデジタルソフトを利用したパイオニア的存在でもあります。そして、今号より3年間、本誌「澱江」の表紙の漫画を担当していただきます。風狸さんに、ご経歴や学生時代の思い出などを伺い、その素顔に迫ります。

\* \* \*

海と山に挟まれた神戸・須磨に生まれ、釣りや昆虫採集が好きな少年として育たれました。「祖父が古書店を営んでいたため、赤塚不二夫先生や横山光輝先生の漫画だけでなく小説なども読み放題の環境でした」。小さい頃から漫画を描いておられましたが、本学に入学してから仲間と一緒に本格的に取り組むようになったそうです。

入学後、最初は広告研究会には入れられ、そこで漫画好きの先輩山口安彦さん(44回、現・名央産業会長、左ページ参照)と出会われます。また、後に漫画家・イラストレーターとなる山田章博さんと「漫画倶楽部 飛行舎」を結成し共に活動。「山田さんは、ずば抜けて絵がうまく、後期試験の真っただ中に『漫画同人誌を作るぞ!』と言い出す突拍子もないところもありました」。漫画同人誌の第1号は大学自治会から輪転機を借りて印刷、第2~3号はオフセット印刷して今のコミックマーケットの前身である即売会に出展。ご本人いわく「漫画、命!」の大学生活でした。

本学に入学された理由をお聞きすると「芸大に行きたかったのですが、親に『絵でメシが食えるか』と将来の心配をされて…。卒業後は電気設備会社へ就職し、約3年間営業職を務めました。神戸支店で勤務していたとき

『小池一夫劇画村塾神戸教室、開設』の告知を知り入塾。漫画原作のオーソリティが東京でプロ養成機関を主催、その神戸校の第1期生となりました。会社・自宅からも



比較的近く、営業の仕事が続けながら1年間、通いました」。

その後、小池先生から「東京に出てこないか」と誘いを受け、上京して氏が主宰する「スタジオ・シップ」の契約社員になられます。小池先生が原作を書き、複数の漫画家が作画をするプロダクションでアシスタントとしてスタート。ここで絵コンテ・コマ割り・ペン入れといった制作工程など漫画家としての基礎を習得されました。

30歳の頃、漫画家としてデビュー。漫画の実力に加え気さくな人柄から人脈が広がり、原作者とタッグを組むなどして多方面で活躍されます。冒頭で触れた「江戸釣百景…」は釣りの達人・百竿が多様な人々に指南をする物語。また「和算に恋した少女」は江戸の少女・律が、日本独自の数学「和算」を使って難事件を解決する作品です。

漫画デジタル化の黎明期、画像処理ソフト「フォトショップ」を自らカスタマイズして漫画制作に使用。「いきなり実践です。練習とか言っていると、いつまでも始められませんから」と意欲的に取り組み、手描き・デジタル共に扱えるため、アナログを知らない若者世代にペンやインクでの制作方法を教えた経験もあるそうです。また、小池先生が教授を務めていた大阪芸術大学で、漫画研究をテーマに特別講義をした経験も。このとき、同大学准教授の林日出夫さん(49回・澱江57号P40参照)と出会い、交流が始まりました。

「オフセット同人誌にせよ、デジタル漫画にせよ、初期に開拓するのは楽しい」と…。在学生へ「とにかく挑戦してください。一歩進んだところから新たな展開が開けます。まず行動してから考えればいい」とのアドバイスをいただきました。(聞き手=広報部部長・田中伸治)

**略歴** 1957年、神戸市生まれ。滝川高等学校卒業。1981年、本学経済学部卒業。在学中、「漫画倶楽部 飛行舎」に所属。卒業後、電気設備会社へ就職。「小池一夫劇画村塾神戸教室」第1期生。1987年、雑誌「吉祥花人(ラクシュミー)」(白泉社)でデビュー。同時期「コミックHAL」(スタジオ・シップ)に作品掲載。単行本「和算に恋した少女」(小学館)、「江戸釣百景 ぶらり百竿」(小学館)、「尾崎豊ヒストリー 卒業まで」(メディアックス)など多数。ほか、企業向け漫画も執筆。ペンネーム「風狸けん」は妖怪の名から。



## 笑いのなかにも感動あり

吉本興業(株) 吉本新喜劇  
太田 芳伸 氏 (70回)



今日は、現在吉本興業(株)に所属し、吉本新喜劇で「おじゃま死にます。」等のギャグで活躍されている太田芳伸さん取材させて頂きました。

僕は子どもの頃から、世間で言う「いちびり」というか「おちょける」タイプの人間でした。高校の文化祭で先生の名前をとって「坂本新喜劇」というのを仲間15人ぐらいでさせて頂いて、とても評判がよかった事を覚えています。高校卒業後、どうするか悩んでいるところ、同級生から「俺と一緒に笑いやってほしい!」と言われNSC(吉本総合芸能学院)に入学しようとしたのですが、母親から「社会はそんなに甘くない。世間は非常に厳しい世界だから大学にいきなさい。そのかわり、卒業したら自分の好きなことをしていいから」と言われ、大阪経済大学の2部(夜間)の経済学部経済学科に入学し、NSCにも入学しました。家は母子家庭で決して裕福ではなかったので、大学の学費は育英会から奨学金を借りて、NSCの費用は全て自分でアルバイトをして稼ぎました。大学時代の1~2年時は、昼間はNSCの授業、その後は大学の夜間の授業、それが終われば夜のバイト、その後朝のバイトと殆ど毎日2~3時間しか寝なくて、今考えても「あのときの大変さが今に繋がっている!」とつくづく思います。その後1年間は休学しましたが、4年生の時はまた大変でした。単位をほぼ全部取らないと卒業できなかったもので、昼間の1部の授業にも出席し、



しかも一番前のど真ん中で先生の講義を聴き、わからない事、質問があれば先生に聞きにいった。どの先生も「わからない事があればいつでも聞きにおいで」と言ってくれたので、本当にお世話になり助かりました。高校時代の部活はハンドボール部に所属し頑張っていました。大阪経済大学のハンドボール部は「強い!」ということは知っていましたが、とてもクラブまでできる余裕はなかったです。

NSCでは、多くのライバルがいて、その人たちを超えたいと必死でした。NSC卒業後は、漫才やコントをやっていましたが、なかなか結果が出ず目標を失っていた時もありましたが、大学の先輩から「新喜劇に入れや!」と言われ、オーディションに受かることができ、現在も新喜劇で頑張っています。入った時は、芝居に対していつも怒られてばかりで、テレビで見る印象とは違っていたけれども、間寛平師匠がGMになられて若手にもチャンスを与えてもらっています。

吉本興業には多くの芸人さんがいますが、一人のマネージャーさんが10数名担当していて、とても親身に世話をしてくれ、またこちらの話も聞いてくれるしとても助けて頂き、愛のある社員さんがとても多い会社です。僕も早く座長になって、もっと、もっと、吉本新喜劇を盛り上げていきたいと思っています。

在校生に対しては、この大学生活の中で何事にも学ぶという姿勢が大事。

そして、若いうちに苦労した事は、後で必ず役に立つ!と力強くアドバイスを頂きました。

(聞き手=広報部・田島裕司)

**略歴** 1981年、大阪市生まれ。幼少期は神戸市内で過ごす。1999年、大阪府立東淀川高校卒業。本学経済学部(2部)入学。2000年、NSC大阪校23期生。2004年、本学卒業。2005年、金の卵オーディション1個目。趣味は筋トレ、格闘技。特技ハンドボール。

## 競馬をギャンブルだけでなく スポーツよりに広めたい

調教授査官  
井内 利彰 氏 (64回)



「皆さん今日はお金儲けに来られたんですか? 無理ですよ(競馬ってそもそも負けますから)(笑)」と競馬場で開催している競馬教室での第一声です。

井内さんが競馬に興味を持ったのは高校生の頃です。同級生から馬の話聞いて「ミホノブルボン」や「ライスシャワー」のレースを見たことがきっかけでした。自身は高校時代小柄ながらサッカー部でキーパーをやっていたこともあり「やろうと思えば、小さい馬でも大きな馬に立ち向かっていけるんだ」と競馬の面白みを感じるようになりました。受験を終え、大学に入ってから週明けは競馬週刊誌を買い込み、週末はワクワクしながらレースを予想するのが楽しみになっていました。そして、今の仕事の礎になったのが大学時代、友達に紹介された大阪ミナミの駐車場でのアルバイトでした。その駐車場には社長さんなど羽振りの良いお客さんが沢山来られて、笑福亭鶴瓶さんやJRAの競馬関係者も常連さんでした。自身の予想を役立たせたいとの思いもあり、その駐車場のお客さんに自作の競馬新聞をパソコンで作成し配布したところ、好評で予想が当たったお客さんから反響が出てくるようになりました。ある建設会社の人から「うちの会社に入って競馬の予想をしてくれないか」と勧誘されました。願ってもない話でしたが、将来のことを考えてその話はお断りしましたが「こんなに競馬の予想が求められるなら、競馬の仕事をやりたい」と思うようになりました。就活は、新聞社や専門雑誌社などを受けましたが、結局、友達から紹介されたJRDBという競馬予想に関する情報を扱う企業に入社しました。この会社には5年間お世話になり、その後、フリーになって今に至っています。

大学のことについてお話ししますと、中学校の頃から大学へ行くことを意識するようになり、高校は進学校に進みました。大学受験では高望みすることなく、自分の学力に見合った学校が大経大で、浪人することなく現役で合格することができました。入学後は、高校でやりたかった野球サークルを作って、自ら代表になり、活動しました。大学は勉強して単位を取らなければ卒業できませんが、時間は豊富にあるので勉強だけではなく、色々なことにチャレンジしてほしいと思います。またクラブ活



動やサークル活動などを通して気の合う友達を作ってほしいと思います。卒業後も大学時代の夢はよく見るようで、大学まではちゃんと卒業しないといけないという思いが強かったのだと思います。また、卒業論文は「SUV車」について書いたことをよく覚えており、父親が自動車会社に勤め、自身も車が好きだったこともあり、その頃から未来を予想することに長けていたと自負していました。

井内さんは栗東トレセンを中心とした取材活動をベースに予想しますが、ただ本命◎対抗○単穴▲などを付けるのではなく、この馬はこうだから良い、悪いと理論的に伝えています。予想が当たることより、予想で感謝されることにやりがいを感じるといいます。競馬場に行った時、幼稚園児ぐらいの男児に「井内君が馬を見ている顔が凄く好きです」と書かれた手紙をもらって感激したり、一方、予想が当たってない時に年配男性から「しっかりせなあかね」と叱咤激励されたこともありましたが、今のネット社会の時代に面と向かって声をかけてもらうことは大変ありがたく嬉しいことです。今自身がモットーにしていることは「自分が経験したことは絶対マイナスではない」ということです。以前なら早めに出たのに渋滞に巻き込まれてイライラしたりしていましたが、これは考える時間を与えてくれているんだと、また予想がはずれている時はもう一度見直せということだと前向きに捉えるようにしたら気分がずっと楽になりました。今競馬は多くの人たちに支持され売り上げも上がっています。競馬をギャンブルとしてだけではなく、歴史のあるスポーツとして広めたい。そしてこれからも人生に求められる人間になっていきたいと思っています。

最後に週末はJRA主催の競馬教室を開催して、講師を務めています。この教室では馬券の買い方から予想の仕方、競馬場の過ごし方まで、ビギナーの方にも分かりやすく解説しています。皆さんから依頼がありましたら、是非大学でも競馬場でも喜んで行かせてもらいたいと約束していただきました。

(聞き手=広報部副部長・天野康弘、広報部・松浦雄一郎)

**略歴** 1976年大阪市生まれ、府立清水谷高等学校卒、1998年本学経済学部卒、卒業後、株式会社JRDB入社、1999年「競馬王」誌上デビュー、2001年調教馬券術「調教Gメン」発表、膨大な調教データを駆使した斬新な分析で「調教適性」の存在を世に知らしめる。以来、調教授査官として「競馬予想TV!」等テレビ、雑誌、インターネットなど、様々なメディアで活躍しており、最近JRA主催のビギナー向け競馬教室で講師を務めている。



【特別寄稿】

# 逍遙歌の頃

中村 行男 (16回)

「SOUHATSU」の取材後、中村先輩より「以前書いた文章と12番までの歌詞が出てきました」と連絡をいただきました。何と、5番の歌詞が誤って伝わっていることが判明、さらに、歌詞の欠落と順番の間違いもあります。大学ホームページ上の歌詞と比べてみてください。(広報部部长・田中伸治)

昭和23年、19才の春まだき、旧制専門学校の特設コートに通じるプラタナスの下を歩みながら、学生の手でわれわれの歌を作ろうという噂を耳にした僕は、親しくしていた級友の陰下君の姿を探した。「僕も応募するよ」彼を見つけると少し心を火照らせながら言った。テニス部の選手が、僕の上擦った声に振り向いた。

陰下君は、府立の名門高津中学の出身である。彼の家には雪国から帰阪した白線帽の連中が常にたむろしていた。二階で酒を飲んで寮歌を放吟した。僕も何度か彼等(三高生や四高生達)と顔を合わせるうちに、寮歌の心を知った。春秋の愁いが歌詞とリズムに宿っていた。青春謳歌とはこのことかと思った。「あんな歌作りたいのや」僕は興奮して言った。学生生活も2年目に入った頃である。

当時僕は演劇部に席をおいた。新劇は新しい時代の文化の象徴であった。森本薫の華麗なドラマツルギー、シリアスな真船豊の脚本に感動し、滝沢修や杉村春子に魅せられた。哲学書や演劇論集を読み漁り、文芸部の芸術至上主義の学生達に対抗していた。彼等も当然ながら、自分達で経専の学生歌を創ると自負していた。全校の生徒が真剣に自己を見つけようとしていた時代でもあった。

歌詞の応募締切が迫ってきた。選考委員に陰下君が入っていたのは幸運だった。何故かその頃、不思議と歌詞が次々に湧いて出た。恋をしていたからである。原稿用紙におよそ二十余の歌

詞を書いて彼に預けた。

旬日して、彼から講堂に呼び出された。確か一年上の松川さんも居るように思う。ピアノが傍らにあった。「文芸部の連中に比べてとにかく量が多いわ。量やったらコレやな」僕の投稿原稿がピアノの上にあった。「そやけど、これ作曲は難しいで、なんせフレーズが六つもあるからネ」と松川さんが首をひねった。

それから数日後、文芸部長の松本君が劇研の部室に入ってくるなり「参った、君にやられたよ」「然し、よく書けてる。参ったな」と参ったを二度聞いたとき、肩の重みがすっと取れた。

当時の学生達は、軍隊帰りも入れ混って血気盛んそのものであった。逍遙歌が学生の手によって選ばれた。新しく生まれたこの歌が晩春の宵にファイヤーストームの大合唱となり校庭で延々と続いた。「中村さんどんな気持やろな」天真爛漫の女専生だった平田和子さんが誰かに声を掛けている。あの頃のカレッジ・ライブは物質的には貧しかったが、誰もが学問を愛し、書をよく読み、熱き友情にかこまれ、青春そのものの中にあった。夏近い午後、アイビーに囲まれた新しい劇研の部室(ぶしつ)では「青春」の読み合せが始まっている。

そして歳月が流れ、昭和29年、恩師秋本吉郎教授から書簡を頂き、歴史の風を感じながら、奈良のお宅を訪ねたのである。先生はその時僕の差し出した原稿用紙の後記に、次のよう誌されている。末尾の毛筆体の箇所である。

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1 此処城北に迎へたる<br>紺碧淀の春の夢<br>惜春の賦のただよへば<br>薫風静かに流れ来て<br>逝きし苦節の十余年<br>歴史は吾等に教ふなり         | 2 水や濁れる人の世に<br>真理求めて遊ぶ子の<br>友愛久遠に変わるまじ<br>汝が悲しみに我は泣き<br>吾が喜びに君や舞ふ<br>惜しみて励め我が青春を | 3 踏めば小草も柔らかき<br>弥生の庭に集ひ来し<br>我が学舎の乙女子は<br>生命新たな此の曲に<br>花咲く野山花の下<br>声麗しく歌うかな       | 4 虫の音すだく秋来れば<br>小川よなく寂たたへ<br>若き愁ひを語りつつ<br>自然したひて逍遙の<br>尋ぬる途は遠くして<br>薙露人生はかなしや     |
| 5 乱るる金剛木枯らしの<br>木立凍れる淀の丘<br>理想に燃えて佇めば<br>無言に教ふ朔風の<br>肌に厳しき鞭なれど<br>懐古楽しや語り草           | 6 霜踏み通うこの朝<br>早や暮れゆかむこの夕<br>理想の書物をふと伏せて<br>淡き光の誘いに<br>汝が故郷を偲ぶとき<br>鐘の音寂し瑞光寺      | 7 小鳥が森に歌ふとも<br>小羊野辺にたはむれど<br>さすらふ旅のこの世には<br>花びら風を待たずして<br>春や心の乙女子は<br>はかなき恋に泣くとかや | 8 はかなきものは若き日の<br>人恋う春の移ろいか<br>そも露草の情けにて<br>明日は何処の人なるや<br>友に問う身の悲しさよ<br>さまよう心の苦しさよ |
| 9 今宵かたみに君と我<br>君に目覚めし我ならば<br>いつかの後の秋の夜に<br>また語らはむことあらめ<br>友情燃ゆる我が酒を<br>あふるるばかりに注がむかな | 10 遠く出で来し君が故郷<br>いざうち揃い尋ねばや<br>幼き頃の山や川<br>花の祭りが里の道<br>君が育ちし風の色<br>我が友情よ我が友よ      | 11 人恋う宵の岸辺には<br>名もなき野草流れけり<br>想いの限り汝れの名を<br>呼ぶで三年の春秋に<br>架けし想いの旅衣<br>別離語るも寂びしけれ   | 12 想ひはめぐり尽きぬ時<br>緑が原に人訪へば<br>希望も高き語らいに<br>憂愁の声いまはなく<br>新たに目覚む同胞の<br>微笑は花に映ずなり     |

「昭和29年12月、逍遙歌歌詞の甚だしく誤伝しありて歌意通じ難きを惜しみ、作詞者を尋ね求めてその原作者中村氏なるを知り、同氏に求めて正しき歌詞を得たり」 秋本 吉郎 記

2001年12月 当時を回想し記録に止めることを思い立ち、過ぎ日のことなど想起しながら一部加筆し、記述したものである。

後援会×大樟会×母校の連携で開催

# 煎茶道体験教室

## ～煎茶と和の作法～

煎茶道二條流家元・二條雅瑛氏(58回)を講師とする

「煎茶道体験教室」が、2023年12月2日、  
母校体育館内の和室で開かれました。

在学生の保護者で組織する後援会および大樟会による共催で、  
留学生を含む在学生と保護者の計約40人が参加しました。

(2023年12月2日取材、敬称略)



煎茶道二條流 七世家元  
二條 雅瑛氏(58回)

講師略歴 1970年、京都市生まれ。本学経済学部卒業後、京都中央信用金庫に入庫。4店舗で支店長を務め、45歳で退職。1996年、煎茶道二條流の若宗匠として修行を始める。2021年10月、家元に就任。



煎茶道は総合芸術。まず気軽に楽しんで

後援会と大樟会が連携し、今回の企画につながりました。募集は在学生・保護者・卒業生を対象に行われ、40人(20人×2回)の定員は、先着順でたちまち満席に。当日、1回目は高橋正美後援会会長、2回目は角脇忠行大樟会会長の挨拶で開会。各回、茶室(和室)への入り方、立ち居振る舞いといった「和の礼儀作法」を学び、煎茶のお点前(てまえ)を体験して「おいしい煎茶の淹れ方」を学びました。

煎茶道二條流は、日常に欠かせない煎茶を通じて、日本古来の礼法を重んじ、和の道、真心の道を培います。煎茶だけでなく、玉露や番茶、香煎などバリエーション豊富で、多種多様なお点前があるとのこと。家元は「お点前、振る舞い、道具やしつらえ、花・香・書・画など、煎茶道は総合芸術ですが、まずは『おいしいお茶と、お菓子を味わいたい』『掛け軸に書いた字は何と読むんだろう』と、ご自身が心惹かれる部分を楽しんでください。煎茶道の入口は広く多様です」。

例えば、この日の掛け軸は「仁風導和氣(書・黄檗山主 道元親下)」。参加者を仁風(思いやりの風)になぞらえ、「皆さんの来訪が、この和室を和やかな雰囲気へ導く」との意を込めて、ご持参いただきました。盛物(もりもの=生け花の一種で、根付きの植物や野菜などを盛り付ける)は、水仙と蘭、百合根です。

蘭は気品高く「君子」の別名を持っています。また、水仙は徳の高い人物になぞらえられてきました。百合根は「和合」を意味し共に寄り添い助け合う意を持っています。気品や徳の高い2つのものを百合根が「和合」(引き合わせる)させるという意味があるそうです。「共に和合し互いを高め合えることを念じています」と教えていただきました。

参加者それぞれが、笑顔で学ぶ

「和室での歩き方、ふすまの開け方など、知識を学ぶのが『礼儀(礼法)』、それを実際に体験するのが『作法』です」と家元。前半は、和室に入って席に座るまでの立ち居振る舞いを教わり、全員で実践しました。例えば、擦り足で和室を歩くのは、畳を擦る音で、ふすまの向こうにいる亭主に来訪を知らすため。すべての振る舞いに相手への敬意、心配りが込められ、その動きは合理的です。

そして後半は、卓上お点前の実践です。お茶碗のサイズは小さく、濃い目に淹れて煎茶の味わいを楽しみます。二條流のお点前は、種類のお茶が最もおいしく淹れられることを前提に考えられているそうです。

参加した足立茂奈美さん(経営学部4回生)は「煎茶道の家元に教わるができる、貴重な経験なので参加しました。1煎目のあとに和菓子を味わうことで、2煎目の味が変化したように感じられて興味深かった。機会があればまた参加したいです」。茶道部所属の佐竹克斗さん(経済学部1回生)は「抹茶のお点前では、お客様に2煎ずつ淹れることがないので難しかったが、新鮮な体験でした」。人間科学部2回生の保護者・北村志生さんは「娘が通う大学を訪問する機会として、保護者同志で誘い合わせて参加。和室の歩き方からお点前まで、家元のお手本を見て、いざ自分でやってみると体が思うように動きませんね(笑)。知らないことをたくさん学べて良かったです」と話してくださいました。





2023年度大樟会理事会総会

# 支部活動活性化のため 会則を改正し支援策を拡充



D館第10教室に多数の理事が集合

梅雨入り目前の5月27日、2023年度大樟会理事会総会が母校D館で開催され、卒回代表の理事らが参加しました。理事会終了後、80周年記念ホールで親睦会が開かれました。

(2023年5月27日取材。肩書は当時)

午後1時、D館1階第10教室にて理事会総会が開催され、127名の理事らが参加しました。角庵勝巳事務局長(43回)による司会のもと、足立徳太郎副会長(36回)が開会宣言を行い第1部がスタート。角脇忠行会長(34回)が登壇し「昨年は大学が創立90周年を迎えましたが、大樟会も2025年に90周年を迎えます。新入学生を獲得する『入口』、就職に関する『出口』への取り組みを充実させて母校をサポートしたいと考えています。理事の皆さまのご協力をお願いします」と挨拶しました。

その後、議長に田中伸治常務理事(45回)、副議長に飯田政信常務理事(35回)を選出し議案の審議に入りました。

第1号議案は「常務理事及び監事の選任について」。

3月25日の次期役員選考委員会にて新任11名を含む常

務理事・監事が選任され、互選により角脇会長の再任が報告され、承認されました。

第2号議案は「2022年度の事業報告及び収支計算書等の承認を求める件並びに監査報告について」。

総務部から、3年ぶりの大樟会総会開催などについて、次に広報部から「澗江」58号の編集・発行などについて、会計等を担う財務部、新支部の設立や支部総会開催等を支援する組織部、支部等の調整・相談などを担う渉外部がそれぞれの活動を報告しました。

さらに、財務部から収支決算書等について説明ののち、監事から監査の結果、事業・予算の執行が適正であることが報告されました。

第3号議案は「2023年度大樟会事業計画(案)について」。

支部活動活性化への支援、在学生へのスポーツ・文化芸術活動支援など、各部の事業計画について角庵事務局長から説明があり、財務部から収支予算案の説明が行われました。



挨拶する角脇会長



第2部で挨拶する藤本理事長



大学の現況を報告する山本学長



司会の角庵事務局長

選出された議長・田中常務理事(左)と副議長・飯田常務理事

第4号議案は「大樟会会則及び会則(内規)の一部改正について」。

総務部から会則の改正について、説明が行われました。特に、支部活動の活性化を支援する目的で、支部総会案内の郵送経費をすべて本部が負担し、支部総会開催援助金を大幅に増額する等の内容で、2023年度はテストケースで課題を検証し、2024年度から全支部で実施する計画など詳細について説明があり、活発な審議が行われました。

それぞれの議案ごとに質疑応答が行われたのち、4議案はすべて原案通り承認されました。

最後に、あらためて角脇会長から前任期3年間の活動について総括があり、第1部が終了しました。

休憩を挟んで、午後3時から第2部がスタート。角脇会長の挨拶に続いて、藤本二郎理事長が挨拶し、5つ目の学部として準備中の国際共創学部などについて述べたあと、山本俊一郎学長が「生き続ける学びが創発する場となるために」と題して講話を行い、進路支援部長による就職状況、入試



熱心に本部の説明に耳を傾ける理事ら

部長による2023年度入試結果について報告がありました。第2部終了後、午後4時からD館8階の80周年記念ホールに会場を移し、親睦会が行われました。角脇会長の挨拶、山本学長の乾杯の発声ではじまり、ジョン・道阪さん(76回)によるマジックショーで盛り上がりました。最後に、與世田正雄組織部長(34回)のリードで学歌斉唱、山本隆造渉外部長(37回)の音頭で万歳三唱し、閉会となりました。



会議を終えてにぎやかに。親睦会にて

## 2023年度全国支部長会議

### 支部活動活性化のため

### 本部からの支援拡充策を議論



真剣な議論を交わす支部長ら



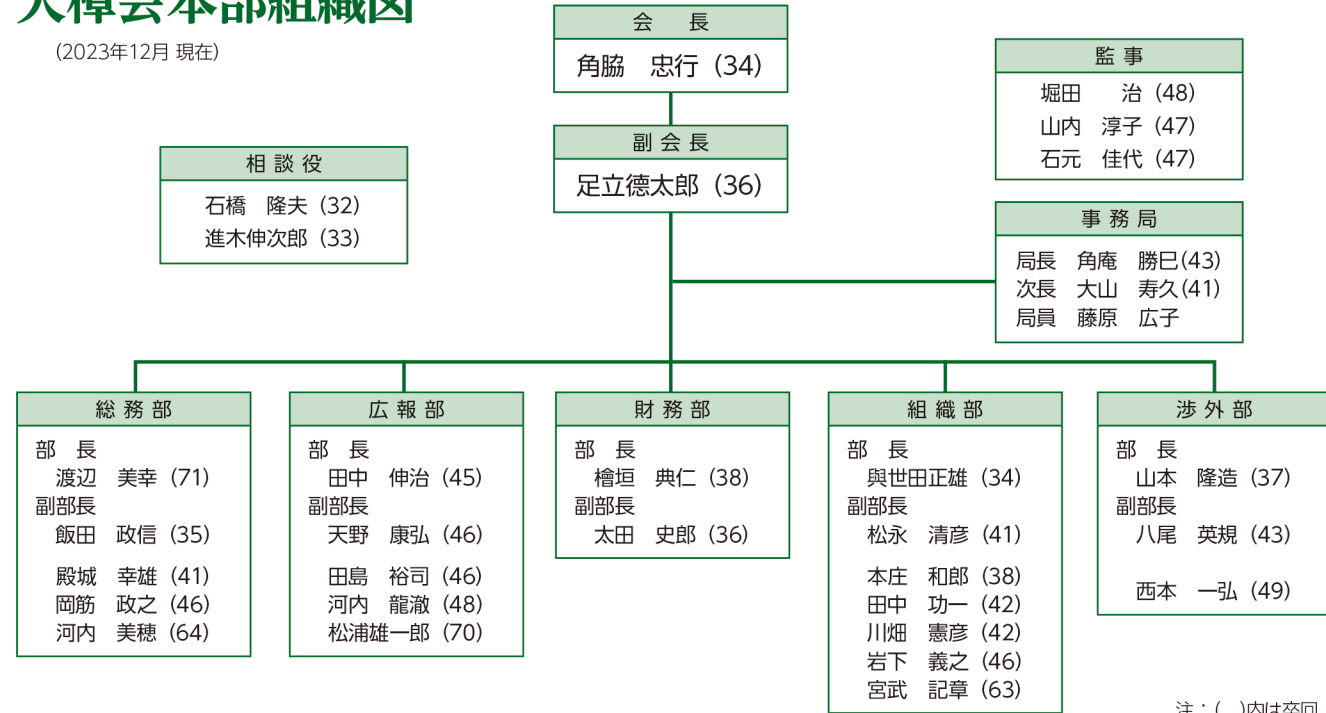
質疑に応える本部役員

理事会総会に先立って、5月27日午前11時からJ館第1会議室で、全国の支部長・部会長ら69名(代理を含む)の参加により全国支部長会議が開かれました。あらたに就任された支部長・部会長が紹介され、支部活動活性化を目的に、支部総会開催援助金の拡充や総会案内の郵送経費をすべて本部が負担する会則改正について、活発な議論が交わされました。



大樟会本部組織図

(2023年12月現在)



注：( )内は卒回

2022年度収支決算書

自2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	76,052,145	76,052,145	総会費	2,044,193	4,000,000
会費収入	54,548,000	55,000,000	役員会費	536,431	900,000
總會収入	0	500,000	支部費	10,053,725	11,000,000
利息収入	38,332	50,000	事務費	3,574,351	1,500,000
濠江収入	1,563,200	1,500,000	消耗品費	498,713	700,000
広告料収入	957,000	1,000,000	通信費	1,074,121	300,000
奨学金収入	1,870,400	1,600,000	人件費	7,054,600	7,500,000
雑収入	36,400	50,000	旅費交通費	2,953,370	2,500,000
特別基金引当金取崩収入	10,000,000	10,000,000	広報活動費	16,707,123	17,000,000
			名簿調査費	0	300,000
			学対費	9,850,290	11,000,000
			学生支援費	2,236,600	10,000,000
			諸会助成金	2,164,190	1,300,000
			新聞図書費	61,434	0
			寄付金	20,000	0
			慶弔費	122,105	200,000
			大学90周年記念寄付金	9,503,890	10,000,000
			雑費	192,481	500,000
			予備費	0	200,000
			次期繰越金	76,417,860	66,852,145
合計	145,065,477	145,752,145	合計	145,065,477	145,752,145

2023年度収支予算書

自2023年4月1日 至2024年3月31日

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	76,417,860		総会費	5,000,000	同窓会総会・理事会
会費収入	58,000,000	在校生	役員会費	1,000,000	常務理事会・各部会
總會収入	500,000	総会会費等	支部費	14,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入	50,000	預金利息等	事務費	3,000,000	日常業務・備品等
濠江収入	1,600,000	購読料	消耗品費	500,000	
広告料収入	1,000,000	濠江広告料	通信費	1,000,000	郵送・ネット等
奨学金収入	1,800,000	奨学金	人件費	7,500,000	事務局人件費
雑収入	50,000		旅費交通費	3,500,000	出張費等
特別基金引当金取崩収入	10,000,000		広報活動費	17,000,000	濠江作成費・取材費
			名簿調査費	300,000	会員名簿整理
			学対費	12,000,000	大学祭・クラブ活動援助他
			学生支援金	10,000,000	コロナ禍支援
			諸会助成金	2,000,000	各種部活動他援助
			慶弔費	200,000	会員等慶弔
			雑費	200,000	
			予備費	200,000	
			次期繰越金	72,017,860	
合計	149,417,860		合計	149,417,860	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

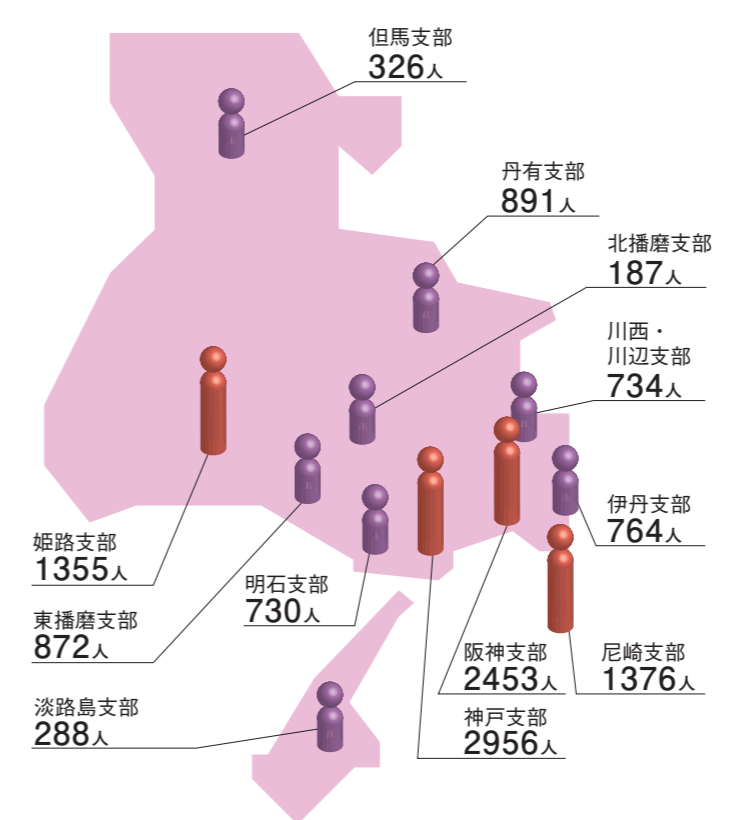
2023年12月現在

支部・部会名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	池田 正勝	34		
東京都	木村 義美	50		
富山県	浦辺 則一	47		
石川県	鍛冶 一英	36		
福井県	田安 敏男	38		
岐阜県	山根 一男	46		
静岡県	大塩 博喜	40		
愛知県	三津 辰雄	65		
三重県	池山 英典	57		
滋賀県	殿城 幸雄	41		
京都府	柴田 俊彦	50		
大阪市淀川	杉山 幹人	76		
大阪市北	小原 宏夫	38		
大阪市南	吉川 進	41		
大阪市住吉	山本 岩雄	33		
大阪市役所				
北大阪	角野 力	41		
北摂	細井 三郎	35		
北河内	山西 喜久	44		
豊中	田中 功一	42		
池田	平井 裕能	38		
箕面・豊能	畑岸 隆一	44		
泉南	塩谷善一郎	39		
南大阪	藤田 鉄夫	40		
堺	岩下 義之	46		
尼崎	松浦雄一郎	70		
伊丹	本庄 和郎	38		
川西・川辺	宮東 豊一	55		
阪神	大山 寿久	41		
神戸	正岡 健二	36		
丹有	足立徳太郎	36		
明石	池上 照夫	40		
北播磨	小塩 慶明	35		
但馬	中川 茂	40		
東播磨	宮崎 善人	43		
姫路	芦田 雄二	45		
淡路島	喜田 憲康	40		
奈良	樋口清二郎	79		
和歌山	岩田 弘彦	48		
鳥取	本庄 克則	46		
島根	山本 篤治	42		
岡山	岡本紳一郎	47		
津山	藤井 治則	46		
福山	岡崎 正廣	37		
広島	飯田 徹	57		
山口	藤原 俊明	37		
徳島	榎本 孝	35		
香川	高木 新	35		
愛媛	二宮 克郎	40		
高知	南 宏道	52		
北九州	植田 達三	52		
大分	寒田 陽	40		
熊本	坂本 純夫	39		
宮崎	富永喜美夫	37		
鹿児島	前園 博隆	34		
沖縄	西里 喜明	48		
大樟春秋会	森田 俊作	45		
大樟体育会	山本 隆造	37		
池田泉州銀行大樟会	山中 康史	58		
日立大樟会	山下 徹男	37		
税理士大樟会	堀田 治	48		
大樟教育研究会	八木 大輔	79		
社労士大樟会	飯田 政信	35		
大学院大樟会				
大樟樟政会	西 恵司	35		

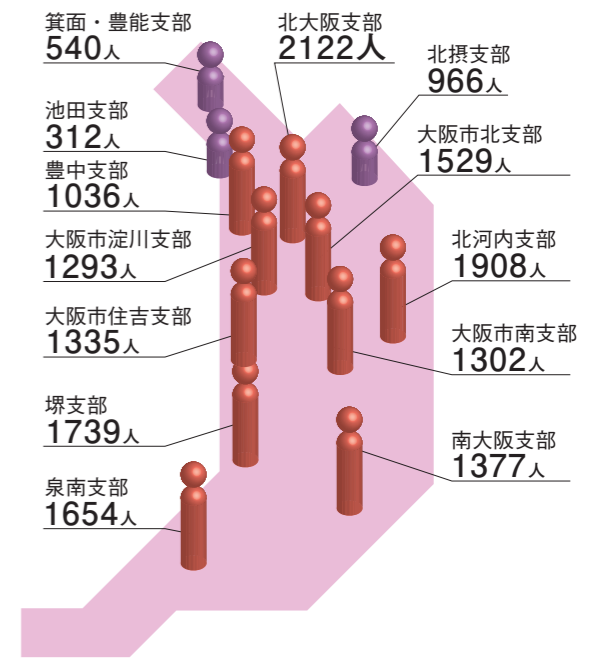


卒回	氏名									
14	柴田 悦子	藤川 玲子								
23	西本 集一									
24	上野 晃司	大場 謙二	多賀 平							
25	中平 秀寛	水納 敏也	森川 義一							
26	坂井田雄賢									
27	松田 英志									
28	大久保儀臣	鶴谷 利一	平尾 哲男							
29	国西 良昌	米村紀代孝								
30	柏原 知博	佐藤 武司	田村 正晴	橋本 庫一						
31	木谷 正雄	中村 敏啓	平田 義行	安田 秀雄	山崎 敏輝					
32	石橋 隆夫	五十榎保彦	植村 祐三	桑原 勇臣	小池 勝章	小林 真人	竹中 亨	中嶋 肇		
33	新田 和弘	春木 洋次								
33	進木伸次郎	西川 嘉紀	本郷 公夫	松竹 喜満						
34	岡田 輝夫	◎角脇 忠行	竹内 通弘	廣野 義直	藤本 二郎	松田今朝男	◎與世田正雄			
35	◎飯田 政信	大西 健介	小野 隆	木戸 淳一	近藤 靖太	佐藤 和夫	竹本 勇	谷丸 八郎		
35	濱 忍	堀内 健一	三木 泰	南 和男	山本 憲章					
36	青木 正道	◎足立徳太郎	◎太田 史郎	片山 剛征	木岡 良郎	下垣 恒彦	鈴木 澄夫	田淵 善人		
37	赤松 慶久	秋山 治信	老月 邦夫	梶村 貞男	竹本 巧	福田 敏裕	淵上 清二	◎山本 隆造		
38	植田 富雄	岡本 久	田安 敏男	橋本 廣	原田 猛	◎檜垣 典仁	◎本庄 和郎	松田敬一郎		
38	森友 通夫									
39	秋口 政俊	内田 敏雄	大河内徹心	大隅たつみ	北川 茂	西出 省三	福地 利仁	松本 辰郎		
39	矢倉 英一									
40	上野 隆裕	木村 健治	齊藤 敏明	佐藤 英夫						
41	◎大山 寿久	奥村 勝茂	川口 正義	小谷 融	高塚 邦夫	田中 良和	◎殿城 幸雄	中坪 健治		
41	松尾 洋助	◎松永 清彦	森 義晴	安原 教夫	山田 正人					
42	市原 幸恵	◎川畑 憲彦	◎田中 功一							
43	◎角庵 勝巳	刀根 唯誌	中嶋 閔一	西村 幸雄	廣嶋 健次	南 正治	◎八尾 英規			
44	陰山 秀明	山田 栄宏								
45	坂本 勝宣	◎田中 伸治	森田 伯幸							
46	◎天野 康弘	◎岩下 義之	◎岡筋 政之	上甲 宣史	◎田島 裕司	大門 由秀	竹本 善久	前田 基美		
46	安田 太	吉田 敏明								
47	◎石元 佳代	河野 順一	西野 宗一	◎山内 淳子						
48	上畑 雅之	◎河内 龍澈	川田 直嗣	西平 綾太	◎堀田 治	山崎 正順				
49	◎西本 一弘	畠山 昌憲	林 日出夫	翠 紀雄	森村 信治	山田 増人				
50	今井 正弘	柴田 俊彦	山本陵太郎							
51	大谷 忠久	吉里 香織								
52	青山 栄三	上田敬二郎	原田かおり							
53	倉橋 幸三	竹内 秀樹	安村 和久							
54	岡田 隆義	藤原広太郎								
56	久保 雅則	山本 充子								
57	能多 英明	陸野 敬	湯村 徳光							
58	浦尾 雅文	齋 哲弘	中尾 篤也							
59	菊川 和義	米原 秀雄								
61	上田平元茂	衛藤 重豪	竹原林太郎	藤井 茂雄						
62	梅原 猛	山下 一佳								
63	◎宮武 記章									
64	◎河内 美穂	浪花 拓也								
65	石橋佳世子	二宮 勉	三津 辰雄							
66	加藤 正憲	辻 大輔	寺西 博文							
67	伊藤 和人									
68	坂口 達也	吉仲美智子								
69	上西 政則	棟近有美子								
70	徳重 和寛	富山 芳勝	藤田 尚毅	◎松浦雄一郎						
71	林 辰郎	◎渡辺 美幸								
72	大井 順平	岡村 志穂	岡本 圭秀	波多 朋美						
73	阪口 美和	松井 啓子								
74	藤田絵里菜	山田 武								
75	佐々木奈美	谷 力	高田 友美	原田有紀子						
76	服部 貴志	道阪 友裕								
77	久郷 健									
79	八木 大輔									
81	岸 孝雄									
82	上山 直城									
85	平田 直哉									

兵庫県

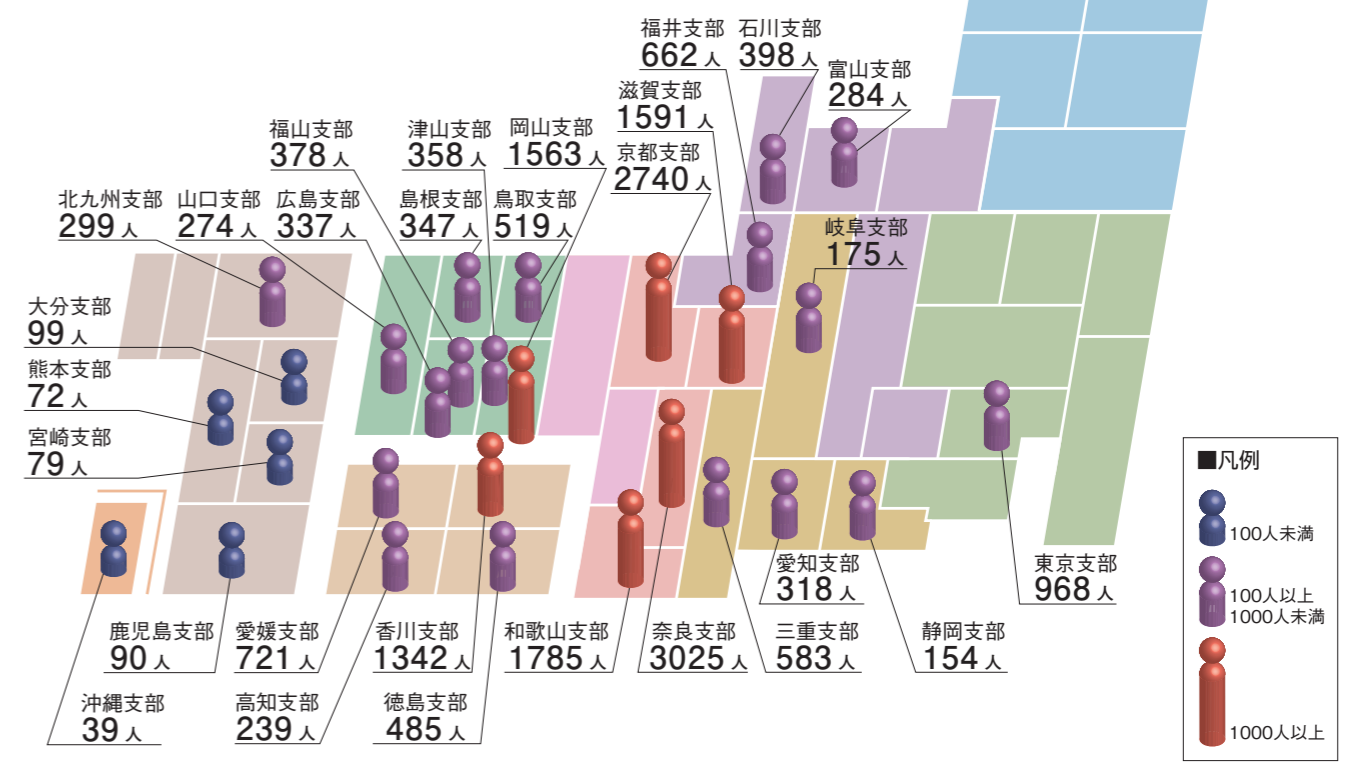


大阪府



都道府県別(地区別)支部会員数

(2023年12月現在)



凡例  
 ● 100人未満  
 ● 100人以上 1000人未満  
 ● 1000人以上



こどもきょうしつミラコロ

**ふじた いちろう** (57回)

子供教室ミラコロ  
藤田 一郎  
直通 090-3568-0160  
(事務局) 〒515-0065 三重県松阪市五月町 1505-3  
TEL.FAX 0598-25-0007  
mail:positivo.miracolo@gmail.com

大阪土産の新革命

みどり製菓株式会社 大阪市東住吉区東田辺 3-2-2  
HP「みどり製菓」で検索 TEL.06-6691-6186

代表取締役 翠 紀雄(49回)  
専務取締役 翠 大輔(78回)

32期生(昭和41年卒業)の皆さん 元気ですか!!

**集おう32期同期会!!**  
【多くの方のご出席お待ちしております】  
※2024年総会(開催日決まりましたら後日にご案内させていただきます)

OSAKA

2023年11月3日32期生21名集会しました

32期同期会世話人 竹中 亨 携帯 090-5093-5026

**37期生会**

今年は総会で集まりましょう!!

Mail: ryuzou.yamamoto@ezweb.ne.jp  
携帯: 090-3702-9608  
世話人代表 山本 隆造

**経翔会総会のご案内**  
(独立総部ワンダーフォーゲル部OB・OG会)

日時 2024年6月16日(日) 午前11時開会  
場所 大阪経済大学E館7階 会議室・大樟会ラウンジ

お問い合わせは  
実行委員長 須河和夫(41回) 090-1676-0050  
副実行委員長 岡野勝則(40回) 090-7895-1165

**大樟春秋会に是非、ご入会下さい!**

大樟春秋会は、大阪経済大学を卒業した人(大樟会会員)で企業の経営者、及び企業の将来の幹部候補生の方々で組織し、母校の支援や学生支援、並びに春秋会会員相互の情報交換等を目的としております。

2023年度の主たる活動  
●寄付講座開講 ●企業セミナー開設 ●就職支援 ●懇親ゴルフ

●お問い合わせ先  
大阪経済大学「大樟春秋会」  
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8  
電話 06-6328-2431(大学代表)  
携帯電話 090-5093-5026(事務局局長竹中)  
FAX 06-6328-4564(大樟会事務局)  
MAIL okusuharuaki@osaka-ue-denko.com

大樟春秋会 ホームページ  
入会申込ページ

**大阪経済大学グリーンクラブOB会**

グリーンOBの親睦と現役グリーンクラブ応援のために活動しています。本会と連絡のついていないグリーンクラブOBの方ご連絡下さい。

OB会会長 八尾英規(43回)  
090-9879-7663  
hideki-s290304@k.vodafone.ne.jp

**大樟体育会**

みんなで応援に行きましょう!!

応援部 事務局長 田島 裕司(46回) 携帯: 090-8754-1790

Mail: okusutaiukai@osaka-ue-denko.com  
携帯: 090-3702-9608  
会長 山本 隆造(37回)

日本FP協会員  
日税理士  
檜垣典仁(38回)

経営革新等支援機関認定  
**檜垣会計事務所**

〒556-0016  
大阪市浪速区元町1丁目10番6号 堤ビル  
TEL (06) 6649-0677(代)  
FAX (06) 6649-5220  
MOBILE 090-1480-4246  
E-MAIL: higakikaikai@gmail.com  
http://www.higaki-kaikai.jp/

**絵画・美術品の修復  
ギャラリー中**

代表 中 三郎(51回)

〒546-0014 大阪市東住吉区鷹合1-1-17  
mobile:090-2105-4289  
fax:06-6607-2447  
e-mail:g-naka@dab.hi-ho.ne.jp  
https://www.g-naka.com

**大樟会 阪神支部**

4年ぶりに支部総会を開催しました。  
一回開催時も皆様のご参加をお待ちしております。

2023年度大阪経済大学 大樟会阪神支部総会

ジョン・道飯さんのマジックショー  
2023年9月9日 ホテルビューイット甲子園

芦屋 宝塚 西宮

**神戸で会いましょう!!**

神戸支部  
支部長 正岡健二(36回卒)  
mobile:090-5903-2408  
※対象地域(神戸市内全区)

**大阪市淀川支部**

支部長 杉山 幹人 76回卒  
mobile: 090 - 7109 - 0507

**地元で母校を盛り上げよう。**

\*対象地域  
<西淀川区・淀川区・東淀川区>

**大阪市北支部**

支部長 小原 宏夫 38回卒  
mobile: 090 - 3274 - 3063

**一度はおいでよ北支部  
未来を語ろう!!**

\*対象地域  
<此花区・福島区・北区・都島区・旭区・城東区・鶴見区>

**京都支部の皆さん、お元気ですか!!**

昨年の11月18日(土)に支部総会を開催しました。初参加の方6名を含む25回卒から87回卒まで総勢33名の参加をいただきました。本年も11月に開催しますので、ぜひご参加ください。

京都支部長 柴田俊彦(50回)

**未来を創るつながる力。**

愛知支部 総会・懇親会

日程: 2024年8月29日(日)  
開会: 13時00分(受付12時30分より)  
場所: 名古屋オリオンホテル  
51階 デザインコート

愛知支部長: 三浦 伸一(56回卒)  
E-mail: tatsuo@aisai.ne.jp

**大阪市南支部**

支部長 吉川 進 41回卒  
mobile: 090 - 1719 - 3184

**青春がよみがえる場所こそ  
南支部、集まれ語れ!!**

\*対象地域  
<港区・大正区・西区・中央区・浪速区・西成区・天王寺区・阿倍野区・東成区>

**大阪市住吉支部**

支部長 山本 岩雄 33回卒  
mobile: 090 - 1071 - 0821

**いつまでも元気なOB・OGが  
楽しく集う住吉支部!**

\*対象地域  
<住之江区・住吉区・東住吉区・平野区・生野区>

**大樟ひろば 広告募集!!**

新しいタイプの広告枠「大樟ひろば」を新設しました。小型サイズで、価格も3千円とお手頃なので、小規模な企業・商店のほか、OB会などグループや個人の伝言板としてもご利用いただけます。経大卒業生ならどなたでも申し込み可能です。ぜひ、お気軽にご利用をお願いします。「大樟ひろば」の広告には、次の3つのタイプがあります。

タイプ(A)名刺広告: 企業・店舗など  
タイプ(B)情報広告: OB会、同期会、支部など  
タイプ(C)自由広告(オリジナル・デザイン)  
※サイズは、1/10P(縦51×横88mm)の1種のみです。詳細は、事務局までお問い合わせください。



わらび餅カステラ わらかす (笑かす)

大阪銘菓 みすたあわらかす

大阪住吉 黒胡麻くず餅 墨よし

2013年・広島 全国菓子大博覧会 「名誉総裁賞」受賞

大阪産 空港、駅、土産店にて販売中 イベント等特注承ります

みどり製菓株式会社 HP「みどり製菓」で検索

大阪市東住吉区東田辺3-2-2 TEL.06-6691-6186 代表取締役 翠 紀雄(49回) 専務取締役 翠 大輔(78回)

庭・No.1

やすらぎのある空間づくり

Takasho  
https://takasho.co.jp

株式会社タカショー

本社：和歌山県海南市南赤坂20-1 TEL.073-482-4128  
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9 TEL.03-5244-5650  
国内16支店・営業所、海外6支店  
タカショーグループ21社 (国内8社・海外13社)

ガーデン&エクステリアで世界のステージへ

お気軽にご相談ください♪

池田泉州銀行

上新庄支店・豊里支店 淡路支店

大阪市東淀川区上新庄2-24-23 (阪急京都線・上新庄駅阪急プラザ1F) TEL 06-6328-2761

大阪市東淀川区東淡路4-18-9 (阪急淡路駅 南東 50m) TEL 06-6322-9240

関西・東海に幅広く展開

農業と園芸、家庭菜園の専門店

農業屋

「豊かなみのにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。主に農業屋では農家さんの「つくる」を、産直市場のみりでは「売る」をサポートしています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。

つくる人とたべる人をつなぐ農産物直売所 農家の産直市場のみり

日本最大級の種の通販サイト 農業屋.com http://www.nogyoya.com

防獣バスターズ

クラギ株式会社

三重県松阪市川井町花田539 電話：0598-26-1111(代) HP：https://nogyoya.jp FAX：0598-26-1113(代)

社史・記念誌・自叙伝 出版サービス

安全手帳 CSR・SDGs 会社案内 カタログ

社史・記念誌 写真集 作品集 ハンドブック

出版 自叙伝 書籍 教育・学校関連 情報誌

旅行記 寺社・教会 システム手帳 デザイン

企画 イラスト ダイアリー テキスト 広報

多言語・翻訳 手帳 ファイル 約款 販促物

キーワード選択で制作実績の数々をご覧ください

大信印刷株式会社 tel.06-6451-7631

〒531-0076 大阪市北区大淀中4丁目13-11 fax.06-6451-3735 畠山昌憲 (S58卒)

https://dprint.co.jp

いい明日を、この手から。暮らしを豊かに、しなやかな社会へ。

THE CDE<sup>3</sup> COMPANY

CONSTRUCTION ⊕ DEVELOPMENT ⊕ ENGINEERING ⊕ ENERGY ⊕ ENVIRONMENT

地図に残る仕事。大成建設グループ

大成建設 大成ロテック 大成有楽不動産 大成ユーレック  
大成設備 成和リニューアルワークス 大成有楽不動産販売 大成建設ハウジング 他21社

企画・デザインから印刷・製本・加工まで

名刺、ショップカード、ロゴカード、小ロット冊子印刷、伝票、封筒、大判ポスター出力、挨拶状の印刷、記念誌、アルバム印刷など。色々な印刷物のご注文承ります。

To new age of the creation ~100周年に向かって~

OSHIWA PRINTING www.oshima-p.com

大島印刷株式会社

〒554-0012 大阪市此花区西九条3丁目2番16号 TEL:06-6462-0521 FAX:06-6468-3606 E-mail: info@oshima-p.com

企画・制作・印刷・製本・加工まで社内で一括管理! コスト削減・短納期を実現!! まずはお気軽にお問い合わせ下さい。





## 日本のインフラを支え 成長を続ける ジッコウグループ



コンクリート関連資材の総合販売

### 日本ジッコウ株式会社

TEL / 078-974-1141 FAX / 078-974-7786 URL / <http://www.jikkou.co.jp>



機能性モルタル類の総合メーカー

### テクノスジャパン株式会社

TEL / 078-924-1234 FAX / 078-924-0050 URL / <http://www.technosjapan.com/>



コンクリート構造物の劣化調査・診断  
建設コンサルタント登録No. 建 27 第 6748 号

### エースコンサルタント株式会社

TEL / 078-920-2251 FAX / 078-920-2253 URL / <http://www.ace-con.co.jp>



代表取締役 佐藤武司 (昭和39年 30回卒業)



あらゆる生活シーンで  
安心と安全を  
提供したい  
それが私たち  
エースグループの  
テーマです。

## ACE GROUP SINCE 1992

株式会社 **エース警備保障**

【本社】  
〒660-0815 兵庫県尼崎市杭瀬北新町4-9-7  
TEL:06-6481-0055 FAX:06-6481-0011

【大阪支店】  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル303  
TEL:06-6446-0500 FAX:06-6446-0501

【神戸西支店】  
〒673-0891 明石市大明石町1-1-20 美田ビル401  
TEL:078-939-2588 FAX:078-939-2568

会 長 河内龍激 大阪経済大学ラグビー部 昭和55年卒

株式会社 **エース警備保障**

<http://www.ace-guard.com>



## かがやく未来へ 全速前進!

かなえない想いととともに

信頼で地域とつながる  
**大阪シティ信用金庫**

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4  
TEL. (06) 6201-2881 (代表)  
<https://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に87店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。

令和6年1月1日現在

## 祖谷庄千寿庵



私ども千寿庵は四季それぞれの食材を菓子にすることにより、  
色鮮やかな日本の春夏秋冬を和菓子を通じて  
視覚・味覚共に和を感じて頂けるよう日々邁進しております。

祖谷庄千寿庵発祥「祖谷だんご」は、  
栄養価の高い餅きびを使用し素朴な味わいを楽しめることができます。  
定番の人気商品「庄わらび餅」は、  
わらび粉と阿波和三盆糖を長時間炊き上げるわらび餅。  
もちもち食感と上品な甘味が特徴です。  
また、日本の四季の美しさを表現した季節商品もございます。  
千寿庵自慢の和菓子をぜひご賞味ください。



〒569-0046  
大阪府高槻市登町27-1  
株式会社 千寿庵  
第41回生 代表取締役 五十嵐伸行  
TEL 072-671-3333  
FAX 072-671-1455  
<https://senjuan.co.jp/>



ウエルシアホールディングス  
 総店舗 2,801店 (2023年8月31日現在)

-- グループ企業 --

ウエルシア薬局株式会社 (東京都)  
 総店舗 2,177店

シミズ薬品株式会社 (京都府)  
 総店舗 70店

株式会社よどや (高知県)  
 総店舗 25店

株式会社ププレひまわり (広島県)  
 総店舗 134店

株式会社コクミン (大阪府)  
 総店舗 160店

株式会社ふく薬品 (沖縄県)  
 総店舗 26店

株式会社丸大サクラ中薬局 (青森県)  
 総店舗 99店

株式会社クスリのマルエ (群馬県)  
 総店舗 59店

株式会社 MASAYA (岡山県)  
 総店舗 40店

Welcia-BHG (Singapore) Pte.Ltd.  
 総店舗 11店

ウエルシア介護サービス株式会社  
 ウエルシアオアシス株式会社  
 ウエルシアリテールソリューション株式会社

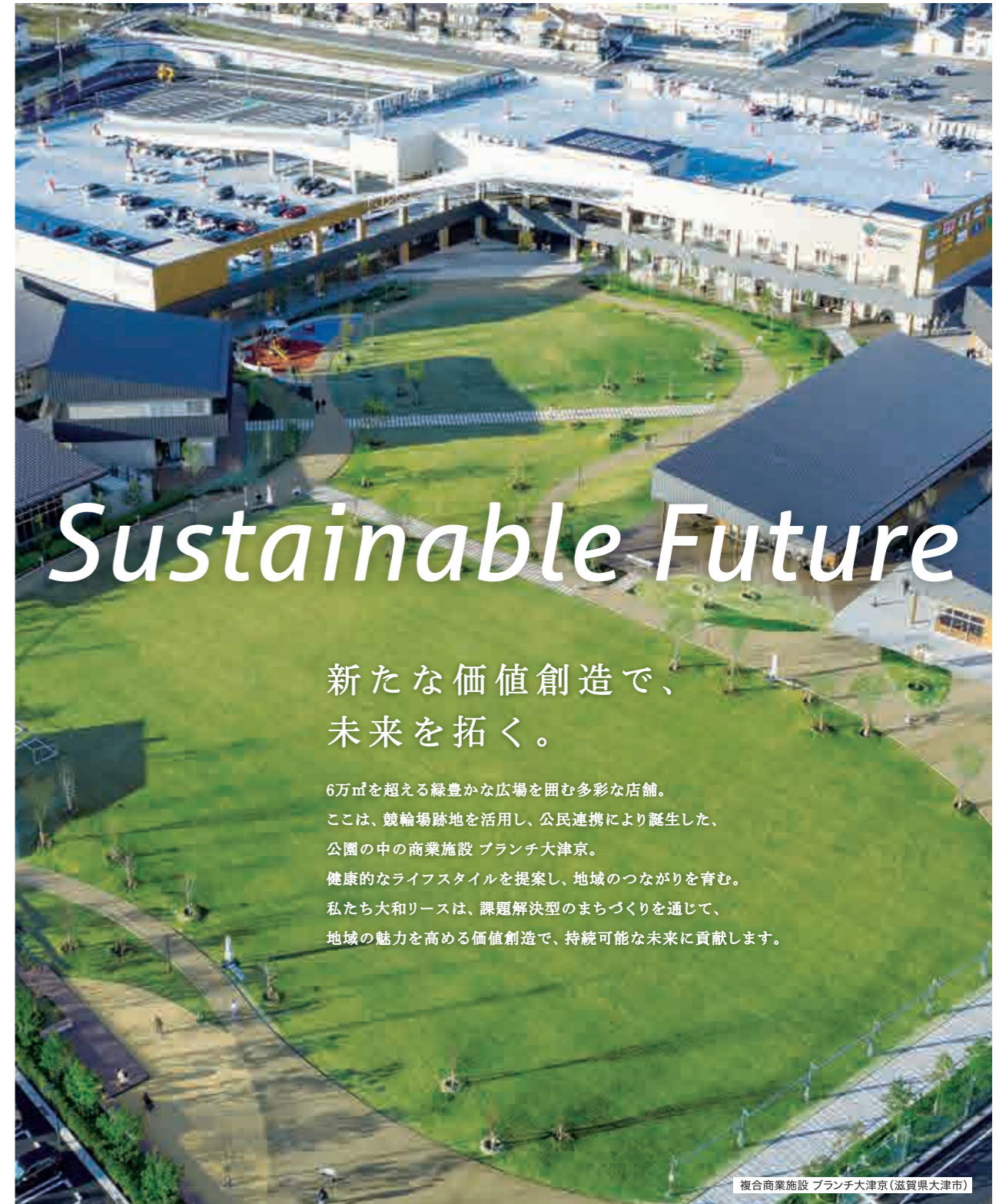
1兆円突破！ 地域とともに発展する  
 ウエルシアホールディングス



大阪経済大学 経済学部卒業  
 ウエルシアホールディングス株式会社  
 代表取締役会長 池野隆光



ウエルシアホールディングス株式会社  
 〒101-0021 東京都千代田区外神田二丁目2番15号  
<https://www.welcia.co.jp/>

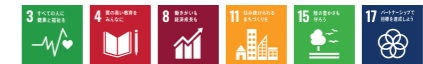


Sustainable Future

新たな価値創造で、  
 未来を拓く。

6万㎡を超える緑豊かな広場を囲む多彩な店舗。  
 ここは、競輪場跡地を活用し、公民連携により誕生した、  
 公園の中の商業施設 ブランチ大津京。  
 健康的なライフスタイルを提案し、地域のつながりを育む。  
 私たち大和リースは、課題解決型のまちづくりを通じて、  
 地域の魅力を高める価値創造で、持続可能な未来に貢献します。

複合商業施設 ブランチ大津京(滋賀県大津市)



大和リース株式会社  
 本社 大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ビップビル 〒540-0011  
[www.daiwalease.co.jp](http://www.daiwalease.co.jp)

